

Open Source Conference 観光ガイド

オープンソースカンファレンス 福岡

NetBSD



日本 NetBSD ユーザーグループ

Japan NetBSD Users' Group

2023

*Current-Users archive*

---

[\[Date Prev\]](#)[\[Date Next\]](#)[\[Thread Prev\]](#)[\[Thread Next\]](#)[\[Date Index\]](#)[\[Thread Index\]](#)[\[Old Index\]](#)

# NetBSD 10.0 timeline and branch status

---

- **To:** [netbsd-users%NetBSD.org@localhost](#), [current-users%NetBSD.org@localhost](#)
  - **Subject:** NetBSD 10.0 timeline and branch status
  - **From:** Martin Husemann <[martin@duskware.de@localhost](#)>
  - **Date:** Sun, 20 Aug 2023 14:07:25 +0200
- 

Hey folks,

after some unusual rough days for the netbsd-10 branch last week, we now have a state that is building fine again and all tests look as expected. We also made great progress on the icky DRM/KMS issues and overall stability.

The tricky pullups are done (thanks to everyone who helped with it), and package builds are going - so now it looks like we will be able to switch from BETA to release candidate state soonish.

See

<https://wiki.netbsd.org/releng/netbsd-10/>

for the current list of bad bugs we are facing and the amount we dealt with already. Quite a lot of the DRM/KMS related ones are in feedback state and have just been pinged - hopefully more of them will be closed soonish.

Realistically this is close to as good as we will get the branch for a 10.0 release - so we are now looking at a release date very early in october.

Martin

---

---

- Prev by Date: [daily CVS update output](#)
- Next by Date: [Re: builds fail w/undef ref in rump tests](#)
- Previous by Thread: [builds fail w/undef ref in rump tests](#)
- Indexes:
  - [reverse Date](#)
  - [reverse Thread](#)
  - [Old Index](#)

[Home](#) | [Main Index](#) | [Thread Index](#) | [Old Index](#)

# NetBSD について

## NetBSD とは？

NetBSD は、国際的なコミュニティによって開発された、完全に無料でオープンソースの UNIX ライクなオペレーティング システムです。これは「ディストリビューション」でもバリエーションでもありませんが、数十年にわたって進化し、BSD ファミリーの中で完全かつ独自のオペレーティング システムになりました。

NetBSD が最初にリリースされたのは 1993 年です。そのコードは、品質、清潔さ、および安定性の長い歴史に基づいて、時間の経過とともに多くの驚くべき環境に浸透してきました。NetBSD コードは、もともとカリフォルニア大学バークレー校の 4.4BSD Lite2 から派生したものです。

NetBSD は、完全に再現可能なバイナリーのセットとして配布されています：

- **リリース** は、一定期間のテストの後、安定したブランチから定期的に削除され、数年間サポートされます。
- **NetBSD-stable** は、最新のリリース ブランチのナイトリー ディストリビューションであり、次のポイントリリースに含まれる修正と改善が含まれています。同じブランチからのリリースのバイナリと互換性があります。
- **NetBSD-current** は、最新の開発ブランチの夜間配布であり、最新の機能が含まれていますが、実験的な変更やバグが含まれている可能性もあります。現在、-current 用の公式パッケージビルドは作成されていません。

## なぜ NetBSD を使うのですか？

NetBSD ユーザーは、シンプルで十分に文書化された、完全に統合された UNIX ライクなシステムを楽しんでいます。このシステムは最小限で、多くの点で伝統的でありながら、多くの現代的で興味深い機能と最近のハードウェアのサポートを含んでいます。

コミュニティとして、NetBSD を作成する人々は幅広い関心を持っており、その結果、いくつかの多様な機能を備えたシステムが生まれました：

- セキュリティおよびメモリ強化機能- デフォルトでグローバルに適用される PaX MPROTECT (W^X) を含み、バイナリを除外するオプションなどがあります。ファイルの整合性保護は **verifexec** によって提供され、従来の BSD は、スーパーユーザーでさえ実行できる操作がさらに制限されます。NetBSD には独自のネイティブ ファイアウォールである **NPF** が含まれており、セキュリティ クリティカルなネットワーク デバイスで正常に使用されています。NetBSD のカーネルとユーザー空間は、コード サニタイザーと自動テストによる広範なチェックを受けています。
- 強力なパッケージ管理- NetBSD の **pkgsrc** には、四半期ごとの安定版ブランチと「ローリング リリース」ブランチの独自のリリース スケジュールがあり、NetBSD ベース システムと任意の方法で組み合わせることができます。 **pkgin** は、pkgsrc 用のユーザー フレンドリーなバイナリ パッケージ マネージャーですが、pkgsrc 自体を使用すると、パワー ユーザーは非常に柔軟に操作できます。 **pkgsrc** は、NASA を含む高性能科学計算コミュニティで広く採用されており、他のプラットフォームをサポートしていますが、NetBSD が優先されます。
- 最新のストレージ機能- **ZFS** ファイル システム、 **RAIDframe** ソフトウェア RAID システム、 **cgd** ディスク暗号化など。 **Logical Volume Manager** だけでなく、従来の BSD ファイルシステム (ロギング拡張機能付き) およびディスクラベル システムもサポートされて
- ARM ハードウェアは、強力な SBBA/SBBR サーバー、オープン ハードウェア ラップトップ、ポケットサイズの開発ボードなど、オープンで低コストのハイエンド デバイスを幅広くサポートし完全にメインライン カーネルにあり、単一のイメージでサポートされ、長期サポートを念頭に置いて NetBSD 開発者によって維持されます。
- 仮想化のサポート- **Xen** で確立されたエンタープライズ ソリューション、およびネイティブの NetBSD カーネル モジュールとライブラリを含み、 **NVMM** ハイパーバイザーを構成します。これにより、クリーンで安全な方法で **QEMU** のハードウェア アクセラレーションが提供されます
- NVMe、UEFI、高速化されたグラフィックス、さまざまな **ラップトップ** など、最新の x86 ハードウェアのサポート。
- 幅広い「レガシー」ハードウェアと ABI の安定したサポートを継続します。64 ビット時間などの機能に妥協することなく、初期の NetBSD リリースに対しても長期的な後方互換性があります。これらのシステムは、2038 年以降も稼働し続ける予定です。

## NetBSD プロジェクトの目標

目標がなければ、プロジェクトは意味がありません。ありがたいことに、NetBSD プロジェクトには、かなり長い間忙しくしておくだけの十分な目標があります。一般的に言えば、NetBSD プロジェクトは：

- よく設計された、安定した、高速な BSD システムを提供します。
- ライセンスの煩わしさを回避し、
- 多くのハードウェア プラットフォームで動作するポータブル システムを提供します。
- 他のシステムとの相互運用性が高く、
- 可能な限りオープン システム標準に準拠します。

要約: NetBSD プロジェクトは、専門家、愛好家、研究者が好きなように使用できる、無料で再配布可能なシステムを提供します。

## なぜ名前？

NetBSD は、ネットワーク接続されたバージョン管理システムを使用して OS を開発し、1993 年以来電子メールでプロジェクトを組織することで、完全にインターネット上で共同で組織された最初の主要なオープンソース プロジェクトの 1 つでした。インターネットは、NetBSD を可能にした実現技術でした。このように、私たちの名前の「ネット」は、インターネットへのオマージュとして選ばれました。

私たちの名前の「BSD」は、4.4BSDおよび386BSDの派生物としての私たちの伝統を明確に認識しています。

[NetBSD の歴史](#)についてもっと読んでください。

## NetBSD を実現する人々

多くの人々が、システム自体の開発、開発のサポート、または単に使用することによって、NetBSD オペレーティング システムを今日の状態にするために多くの時間と労力を費やしてきました。これらの人々は、次のグループに分類できます。

- [NetBSD 開発者](#)
- [NetBSD コアグループ](#)
- [The NetBSD Foundation, Inc.](#)
- [NetBSD ポートメンテナ](#)
- [NetBSD プロジェクト内の他のグループ](#)
- [NetBSD に寄付または融資を行った組織および人々](#)

さらに、カリフォルニア大学バークレー校の [Computer Systems Research Group](#) と [Berkeley Software Distributions](#) への多くの貢献者がいなければ、NetBSD プロジェクトは確実に存在しませんでした。彼らの努力に感謝します。

[NetBSD Foundation](#) は、NetBSD プロジェクトの伝統的な目標と精神に専念する免税法人（米国内国歳入法のセクション 501(c)(3) に基づく）として米国で法人化されており、次の商標を所有しています。「NetBSD」という言葉。



目次:

- I. クイックスタート
  1. バイナリパッケージをインストール (NetBSD)
  2. バイナリ パッケージのインストール (illumos, macOS, Enterprise Linux)
  3. ソースパッケージをインストールする
- II. コミュニティとサポート
- III. 安全
- IV. 問題の解決
- V. pkgsrc が実行されるプラットフォーム
  1. 主な焦点
  2. その他のサポートされているプラットフォーム
- VI. 開発者向け情報
- VII. その他のリンク

## クイックスタート

### バイナリパッケージをインストール (NetBSD)

を設定し、まだインストールされていない場合はPKG\_PATHインストールします。pkgin

```
# PKG_PATH="http://cdn.NetBSD.org/pub/pkgsrc/packages/NetBSD/${uname -p}/${uname -r|cut -f '1 2' -d.}/All/"
# export PKG_PATH
# pkg_add pkgin
```

URL の「リリース」フィールドは、9.2.STABLE ではなく、9.2 のようにする必要があることに注意してください。

pkgin は、pkgsrc バイナリ パッケージを管理するための主要な高レベル ツールであり、aptなどの他のパッケージ マネージャーのユーザーが使い慣れるように設計されています。

```
# pkgin search nginx
nginx-1.19.6      Lightweight HTTP server and mail proxy server
nginx-1.18.0nb8  Lightweight HTTP server and mail proxy server
# pkgin install zsh nginx-1.19.6 vim
# pkgin upgrade
```

NetBSD パッケージのブラウズ可能な Web インデックスが利用可能です。

### バイナリ パッケージのインストール (illumos, macOS, Enterprise Linux)

SmartOS/illumos, macOS, NetBSD current, および Enterprise Linux のバイナリ パッケージ セットは、MNX から入手できます。

### ソースパッケージをインストールする

pkgsrc を入手する

CVS で pkgsrc HEAD をチェックアウトできます。

```
$ CVS_RSH=ssh cvs -danoncv@anoncv.NetBSD.org:/cvsroot checkout -P pkgsrc
```

または pkgsrc の安定版ブランチ:

```
$ CVS_RSH=ssh cvs -danoncv@anoncv.NetBSD.org:/cvsroot checkout -r pkgsrc-2022Q4 -P pkgsrc
```

または、HTTP から pkgsrc をダウンロードします。

- 現在のブランチを tarball としてダウンロードする
- 安定版ブランチを tarball としてダウンロードします

### ブートストラップ

NetBSD 以外のオペレーティング システム、およびデフォルト以外の設定 (異なるインストール PREFIX など) の NetBSD では、pkgsrc は最初にブートストラップ (ツールのビルドとインストール) を行う必要があります。

```
$ cd pkgsrc/bootstrap
$ ./bootstrap --prefix /opt/pkg-2022Q4 --prefer-pkgsrc yes --make-jobs 4
```

### パッケージをビルドする

依存関係は自動的にダウンロード、ビルド、およびインストールされます。

```
$ cd pkgsrc/devel/memcached
$ bmake install clean
```

ブートストラップされていない NetBSD インストールでは、bmake単にmake.

ビルドされたパッケージは、バイナリ パッケージ (pkgin, pkg\_info など) とまったく同じツールで管理できます。

pbulk, pkg\_chk, pkg\_rolling-replaceなど、pkgsrc パッケージのビルドとインストールを自動化するさまざまなツールが存在します。

自分でパッケージングを開始する

自分でソフトウェアをパッケージ化して貢献したい場合は、pkgsrc-wipを見てください。



# The NetBSD Project

## "Of course it runs NetBSD"

ホーム | [RSS](#) | [リリースエンジニアリング](#) | [開発](#) | [NetBSD 財団](#) | [ネットワークング](#) | [一般](#) | [ポート](#) | [セキュリティ](#) | [イベント](#) | [パッケージ](#) | [ログイン](#)

### ブックマーク

[NetBSD プロジェクト](#)  
[NetBSD ウィキ](#)

### フィード

全て  
[/リリースエンジニアリング](#)  
[/発達](#)  
[/NetBSD 財団](#)  
[/ネットワークング](#)  
[/全般的](#)  
[/ポート](#)  
[/安全](#)  
[/イベント](#)  
[/パッケージ](#)  
[コメント](#)

## NetBSD 10.0 ベータ版が利用可能

2022 年 12 月 20 日 投稿者 *Nia Alarie*

ほぼ3年間の開発（作業は 2019 年後半に NetBSD 10 で開始されました）を経て、興味のあるユーザーがテストできるように BETA スナップショットがすぐに公開されました。最終リリースにタグを付ける前に、今後数か月以内にわたって開発ブランチからさらに多くの変更がバックポートされるため、ベータ イメージは更新され続けます。

### 何を期待します

NetBSD 10.0 は、特にマルチコア システムでのパフォーマンスの主要なマイルストーンであると予想されますが、現在、ベータ ビルドではいくつかの追加のカーネル診断が有効になっているため、パフォーマンスが多少低下する可能性があります。

NetBSD 10 で期待できる機能には、WireGuard® との互換性、自動スワップ暗号化、新しいディスク暗号化方式、およびカーネルでの CPU アクセラレーションを含む、再加工された暗号化があります。ハードウェア サポートでは、Linux 5.6 から更新された GPU ドライバー、より多くの ARM ハードウェア (Rockchip RK356X、NXP i.MX 8M、Amlogic G12、Apple M1 を含む) のサポートがあります。、および Raspberry Pi 4)、最新の ARM CPU に見られる新しいセキュリティ機能のサポート、Realtek 2.5 ギガビットおよび新しい Intel 10/25/40 ギガビット イーサネット アダプターのサポート、compat\_linux は AArch64 に移植され、DTrace は MIPS に移植されました。レトロコンピューティング愛好家向けには、Alpha でのマルチプロセッサ サポートが改善され、iMac G5 のサポートが強化されています。Xen ハイパーバイザーのサポートが大幅に変更されました。手動でディスクを TRIM する blkdiscard(8)、オーディオ ボリュームを制御する aiomixer(1)、realpath(1)、fsck\_udf(8) など、さまざまな新しいユーザー空間プログラムがあります。そして、さらにロード...

管理者が NetBSD 9 からアップグレードする際に関連する可能性のある小さな詳細が多数あるため、実験システムをアップグレードする前に、最終リリースの発表を待って読んでください。ブリッジ エンドポイントとして tap(4) を使用するネットワーク設定は、代わりに vether(4) を使用するように変更する必要があることに注意してください。また、セキュリティ上の理由から、compat\_linux はカーネルに組み込まれなくなりました（代わりにモジュールとしてロードします）。DisplayPort と HDMI オーディオがデフォルトの x86 カーネルで有効になっているため、サウンド出力が得られない場合は、audiocfg(1) を使用してデフォルトのオーディオ デバイスを変更する必要がある場合があります。blacklistd(8) は、blocklistd(8) に名前が変更されました。

### ダウンロード

- [インストール / 64 ビット x86 用の USB スティック イメージ \(ハイブリッド UEFI/BIOS イメージ\)](#)。Gunzip と dd を使用して、Unix では .img.gz ファイルを、Windows では Rawrite32 を書き込みます。
- [Installation / USB stick image for 64-bit x86 \(legacy BIOS only\)](#)
- [Installation / USB stick image for 32-bit x86](#)
- [For images for various ARM devices, see armbsd.org](#). All Arm boards without UFEI or Raspberry Pi firmware also require U-Boot to be written the SD card separately when using a generic image.
- [Live image for Raspberry Pi 0 or 1](#)
- [Live image for Cavium Octeon \(also needs U-Boot\)](#)
- [CD/DVD image for 64-bit x86 \(for actual CD/DVDs and virtual machines only\)](#)
- [CD/DVD image for 32-bit x86](#)
- [CD/DVD image for 64-bit Arm virtual machines](#)
- [CD/DVD image for SPARC64](#)
- [CD/DVD image for Alpha](#)
- [More? \(e.g. Apple PowerPC/68K, Amiga, Dreamcast, PA-RISC, SGI MIPS, SPARC32, VAX...\)](#)

### Packages

サードパーティのソフトウェアは、これまでどおり `pkgsrc` から入手できます。amd64 用のバイナリパッケージを利用できます。i386 用のバイナリも近日中に公開したいと考えています。

### バグの報告

[ここでバグを報告できます!](#)

[ 7 コメント ]

◀ [Oracle 上の NetBSD Arm...](#) | [メイン](#) | [再現可能なビルド...](#) ▶

コメント:

NetBSD-Announce archive

[[Date Prev](#)][[Date Next](#)][[Thread Prev](#)][[Thread Next](#)][[Date Index](#)][[Thread Index](#)][[Old Index](#)]

## Announcing the pkgsrc-2023Q3 branch

- **To:** [netbsd-announce@netbsd.org](mailto:netbsd-announce@netbsd.org)
- **Subject:** Announcing the pkgsrc-2023Q3 branch
- **From:** Greg Troxel <[gdt@NetBSD.org](mailto:gdt@NetBSD.org)>
- **Date:** Thu, 28 Sep 2023 09:29:13 -0400

The pkgsrc developers are proud to announce the 80th quarterly release of pkgsrc, the cross-platform packaging system. pkgsrc contains over 27,000 packages, with varying support across 23 distinct operating systems. More information on pkgsrc itself is available at <https://www.pkgsrc.org/>

Since the pkgsrc-2023Q2 release, 199 packages were added, 174 removed, and 2199 updates (to 1503 distinct packages) were processed. These included 27 Go, 101 Perl, 558 Python, and 263 Ruby package updates.

For the 2023Q3 release we welcome the following notable package additions:

- hwprobe 1.6
- opensmtpd 7.3.0p1 (and opensmtpd-filters meta-package)
- spotifyd 0.3.5
- qt6-qtwayland 6.5.2
- wxPython 4.2.1
- a large number of KDE packages associated with 23.04.3

We welcome the following notable updates:

- boost 1.83.0
- CMake 3.27.6
- Emacs 29
- Firefox 117.0.1
- Ghostscript 10.01.2
- Go 1.21.0 (default version remains 1.20)
- HarfBuzz 8.1.1
- MariaDB 10.11.4
- matrix-synapse 1.91.2
- MongoDB 6.0.8
- NodeJS 20.7.0
- pkgin 23.8.1
- Postgis 3.4.0
- PostgreSQL 16.0
- Thunderbird 115.1.1
- Rust 1.70.0
- SQLite 3.43.1
- Squid 6.3
- timescaledb 2.11.2

As always, many packages have been brought up to date relative to upstream micro releases. Examples include:

- Firefox ESR 102.13.0
- Go 1.19.13, 1.20.8
- MariaDB 10.5.21, 10.6.14
- Nextcloud 27.0.2 (and 26.0.5 for use in upgrading)
- NodeJS 16.20.2, 18.18.0
- PostgreSQL 11.21, 12.16, 13.12, 14.9, 15.4
- Python 3.8.17, 3.9.17, 3.10.12, 3.11.4
- qgis 3.28.11
- Qt6 6.5.2
- Xfce4 (some core and plugin components updated)

This branch we say notable goodbyes to:

- Django 1.4 and 2
- Firefox 91
- gst-plugins0.10
- KDE Telepathy
- Python 3.7
- Ruby 3.0
- Ruby on Rails 5.2 and 6.0
- wxGTK28 and py-wxWidgets

Changes to the pkgsrc infrastructure and notes:

- The default version of emacs is now 28.
- The default version of PostgreSQL is now 14.
- The default version of Python is now 3.11.
- Compiler selection logic was substantially improved, separating the concepts of needing a language variant (e.g., C++17), needing other features (e.g. std::filesystem), needing to force --std= because upstream fails to, and needing a specific gcc version for other

Port-arm archive

[Date Prev][Date Next][Thread Prev][Thread Next][Date Index][Thread Index][Old Index]

## 2023-12-05-netbsd-raspi-earmv6hf.img (Re: Raspberry Pi update please.)

- To: **port-arm%NetBSD.org@localhost**
- Subject: **2023-12-05-netbsd-raspi-earmv6hf.img (Re: Raspberry Pi update please.)**
- From: **Jun Ebihara <jun@soum.co.jp@localhost>**
- Date: Tue, 05 Dec 2023 20:45:41 +0900 (JST)

I've updated 2023-12-05-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz for RPI.

<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2023-12-05-earmv6hf/2023-12-05-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz>  
<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2023-12-05-earmv6hf/MD5>

Update:

- NetBSD 10.99.10 evbarm-earmv6hf 202312041140Z rpi.img from nyftp.
- add pkgsrc/net/sayaka : SNS called Misskey client support to show misskey.io timeline with sayaka:  
# mlterm-wscons  
# sayaka --local misskey.io
- fix PR57565  
<https://gnats.netbsd.org/cgi-bin/query-pr-single.pl?number=57565>  
/usr/share/mk/sys.mk  
ARFLAGS=?=rl to ARFLAGS=?=r
- rust build failed in earmv6hf  
rust-1.66.1 works.
- armv6 on QEMU (was Re: armv6 support for rust)  
<http://mail-index.netbsd.org/tech-pkg/2022/10/21/msg026888.html>
- armv6 support for rust?  
<http://mail-index.netbsd.org/tech-pkg/2022/10/19/msg026864.html>

- Re: Raspberry Pi camera under NetBSD current  
<http://mail-index.netbsd.org/current-users/2021/11/16/msg041683.html>

1. firmware copy start\* and fix\*

2. sync dtb

- Firmware update  
#commit 5ffb2e29c0e14dede001447a6977e126e950cf3e (HEAD -> master, origin/master, origin/HEAD)  
#Author: Dom Cobley <popcornmix@gmail.com@localhost>  
#Date: Wed Nov 29 14:33:09 2023 +0000

- Raspberry PI zero 2 W  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2022/02/14/msg007593.html>  
earmv7hf works well.earmv6hf not yet.

- Raspberry Pi [0-3] have been supported in big-endian mode (Rin Okuyama)  
XXX: should test big-endian image and pkgsrc

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/06/17/msg007310.html>  
"earmv7hfeb works fine so far, pkgsrc included. aarc64eb doesn't boot on a Raspberry Pi 3,"

- Fw: gstreamer1 updated, raspberry help needed  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/11/17/msg007498.html>
  - multimedia/gst-plugins1-egl-glib
  - multimedia/gst-plugins1-egl-opengl
  - multimedia/gst-plugins1-omx

PR

- #55505 RaspberryPi3A+ can't find Wi-Fi module  
<http://gnats.netbsd.org/cgi-bin/query-pr-single.pl?number=55505>

#54941

- Raspberry Pi Zero W serial console corrupted when CPU frequency changed  
<http://gnats.netbsd.org/54941>

- RPI4: testing on NetBSD/aarch64  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/aarch64/README>

Changes from 2021-09-18 version

<https://github.com/ebijun/NetBSD/commit/4b4566c7b33b38a9aa9b3ae7326d069d431a1d63>

- pkgin support  
check /usr/pkg/etc/pkgin/repositories.conf.  
I add  
<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/earmv6hf/2021-1>  
for testing, with pkg\_summery.gz .

sysinfo:

sh-20220122-20231204014929Z

pkgsrc:

bash-5.2.21nb1 giflib-5.2.1nb6 git-base-2.43.0 gobject-introspection-1.78.1nb2



```
harfbuzz-8.3.0 libcrypt-1.10.3 libotf-0.9.16nb4 libxkbcommon-1.6.0nb1
libxslt-1.1.38nb2 m17n-lib-1.8.0nb15 mozilla-rootcerts-1.0.20231115
p11-kit-0.25.3 ruby31-base-3.1.4nb2 ruby31-mini_portile2-2.8.5
ruby31-public_suffix-5.0.4 wayland-1.21.0nb3
```

#### Need Checking:

- bluetooth keyboard/mouse setting
- RPI camera module

<http://mail-index.netbsd.org/current-users/2021/11/16/msg041683.html>

#### Got Reports:

- HDMI output works very well however I wanted to change the resolution into 800x600 both tty console and X Window graphical modes. Where should I change it? As config.txt with hdmi\_group=1, hdmi\_mode=1 or hdmi\_safe=1 didn't work.
- USB input devices seem to work fine as well with my USB keyboard, mouse and barcode reader. However for my USB output device such as my Xprinter printer didn't work with device driver of ulpt(4). It is detected and working in OpenBSD.[9.0 release also occurs same error]

```
[ 195.114857] ulpt0 at uhub1 port 5 configuration 1 interface 0
[ 195.114857] ulpt0: Xprinter (0x0483) USB Printer P (0x5743), rev 2.00/1.00, addr 5, iclass 7/1
[ 195.114857] ulpt0: using bi-directional mode
```

```
rpi# cat myfile.txt > /dev/ulpt0
```

- sh: cannot create /dev/ulpt0: error 16
- with my Raspberry Pi 3B because every time I invoked this command "shutdown -h now" a kernel panic occurs relating to usb\_d\_transfer.
- After shutting-down leaving the system unplugged, this will turn it's processor very very hot and seems harmful to the system.

#### pre-installed packages:

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/pkgsrc/pkginfo>

#### Keyboard layout checkpoint:

<http://www.netbsd.org/docs/guide/en/chap-cons.html>

#### /etc/wscons.conf

```
#encoding sv
#encoding us.swapctrlcaps
encoding jp
```

#### System Update:

<http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/distrib/sets/lists/base/shl.mi>

#### RPI Wifi:

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2019/08/31/msg006102.html>

#### Overview:

[http://wiki.NetBSD.org/ports/evbarm/raspberry\\_pi/](http://wiki.NetBSD.org/ports/evbarm/raspberry_pi/)

#### QEMU,with GENERIC kernel : vexpress to GENERIC: testing

<https://github.com/ebijun/NetBSD/tree/master/vexpress/Boot>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/tree/master/vexpress-v2p-ca15-tc1.dtb>  
<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2023-12-05-earmv6hf/QEMU/netbsd-GENERIC.ub.gz>  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2017/06/02/msg004154.html>

#### dmesg:

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv6hf/RPI>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv6hf/RPI0>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv6hf/RPI0W>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv6hf/RPI2>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv6hf/RPI2-1.2>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv6hf/RPI3>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv6hf/RPI3A+>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv6hf/RPI3B+>

#### Problem:

- CPUFLAGS=-mfpu=neon-vfpv4 breaks some programs  
<http://gnats.netbsd.org/52528>
- webkit24-gtk-2.4.11nb9 compile failed.
- dillo-3.0.5nb2 works with -00  
thanx Jared McNeill.

#### security.pax.mprotect.enabled

[http://netbsd.org/gallery/presentations/msaitoh/2016\\_BSDCan/BSDCan2016-NetBSD.pdf](http://netbsd.org/gallery/presentations/msaitoh/2016_BSDCan/BSDCan2016-NetBSD.pdf)  
man security  
man paxctl  
sysctl -a |grep pax  
If application failed, such as omxplayer.  
try to test  
sysctl -w security.pax.mprotect.enabled=0

#### Automatic resize partition: see /etc/rc.conf and /etc/fstab

1. copy image to SD/MicroSD
2. Boot
3. Calculate and resize ld0 partition and automatic reboot
4. after the reboot,root partition fit for your card.  
<http://movapic.com/pic/20150416115108552fa22c4f225>  
In this image, ld0a re-created with newfs -b 4096.

#### pkgsrc:

```
# cd /usr
```

Port-arm archive

[\[Date Prev\]](#)[\[Date Next\]](#)[\[Thread Prev\]](#)[\[Thread Next\]](#)[\[Date Index\]](#)[\[Thread Index\]](#)[\[Old Index\]](#)

## 2023-12-05-netbsd-raspi-aarch64.img

- **To:** [port-arm%NetBSD.org@localhost](mailto:port-arm%NetBSD.org@localhost)
- **Subject:** 2023-12-05-netbsd-raspi-aarch64.img
- **From:** Jun Ebihara <[jun%soum.co.jp@localhost](mailto:jun%soum.co.jp@localhost)>
- **Date:** Tue, 05 Dec 2023 10:00:15 +0900 (JST)

I've updated 2023-12-05-netbsd-raspi-aarch64.img.gz for RPI4.

<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2023-12-05-aarch64/2023-12-05-netbsd-raspi-aarch64.img.gz>  
<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2023-12-05-aarch64/MD5>

Topics:

- [Researching] RPI5: not booting yet
- [Test] RPI4 8GB  
It works on my RPI8GB, please report port-arm@ if not works.
- add pkgsrc/net/sayaka : SNS called Misskey client support to show misskey.io timeline with sayaka:  
# mlterm-wscons  
# sayaka --local misskey.io
- [Test] Firmware update /boot/fixup4\*.dat,start4\*.elf  
#git show HEAD |head  
#commit 5ffb2e29c0e14dede001447a6977e126e950cf3e (HEAD -> master, origin/master, origin/HEAD)  
#Author: Dom Cobley <[popcornmix@gmail.com](mailto:popcornmix@gmail.com)@localhost>  
#Date: Wed Nov 29 14:33:09 2023 +0000

FIRMPATH=/usr/local/NetBSD/RPI/Firmware/firmware/boot

- fix PR57565  
<https://gnats.netbsd.org/cgi-bin/query-pr-single.pl?number=57565>  
/usr/share/mk/sys.mk  
ARFLAGS=?=rl to ARFLAGS=?=r

- SD/MMC Configuration  
Switch Default uSD/eMMC Routing: Arasan SDHCI -> EMMC2  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/08/08/msg007393.html>  
the Arasan SDHCI is used to connect bwfm(4).

In this image, a symbolic link added

```
/libdata/firmware/if_bwfm:
ln -s brcmfmac43455-sdio.raspberrypi,4-model-b.txt "brcmfmac43455-sdio.Raspberry Pi 4 Model B.txt"
to avoid
bwfm0: autoconfiguration error: NVRAM file not available
```

- only for RPI4  
(fill dtb for RPI3?)
- build script  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/tree/master/RPI/RPIimage/Image/aarch64>
- [Issue] Can't recognize DOS partition from Windows  
Should I Use MBR version image?

- rpi cm4 + waveshare mini base board B seems stop after kernel load  
fixed: To use USB,set UEFI+FDT  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/06/30/msg007343.html>  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2022/10/03/msg007875.html>

- pkgin support  
edit /usr/pkg/etc/pkgin/repositories.conf  
cf.  
<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/aarch64/2023>  
and pkgin update

```
sysinfo:
sh-20220122-20231203143554Z
```

```
pkgsrc:
bash-5.2.21nb1 cairo-1.18.0nb1 gobject-introspection-1.78.1nb2
mozilla-rootcerts-1.0.20231115 ruby31-mikutter-5.0.5nb4
```

```
RPI4 status:
- boot via UEFI VER=v1.35
https://github.com/pftf/RPi4/releases
```

In this image,pre-setted /boot/RPI\_EFI.fd

1. Advanced Configuration  
-> Limit RAM to 3GB Disabled
2. Boot order, from microSD

- HDMI: works
- audio: vcaudio  
<http://mail-index.netbsd.org/source-changes-d/2021/01/22/msg013133.html>
- USB device: works

Port-arm archive

---

[[Date Prev](#)][[Date Next](#)][[Thread Prev](#)][[Thread Next](#)][[Date Index](#)][[Thread Index](#)][[Old Index](#)]

## 2023-12-06-netbsd-armv7-earmv7hf.img

---

- **To:** [port-arm%NetBSD.org@localhost](mailto:port-arm%NetBSD.org@localhost)
  - **Subject:** 2023-12-06-netbsd-armv7-earmv7hf.img
  - **From:** Jun Ebihara <[jun%soum.co.jp@localhost](mailto:jun%soum.co.jp@localhost)>
  - **Date:** Wed, 06 Dec 2023 11:30:24 +0900 (JST)
- 

I've updated 2023-12-06-netbsd9-armv7-earmv7hf.img.gz for RPI Zero2W/2/3.

<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/armv7/2023-12-06-earmv7hf/2023-12-06-netbsd-armv7-earmv7hf.img.gz>  
<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/armv7/2023-12-06-earmv7hf/MD5>

Update:

```
- NetBSD 10.99.10 evbarm-armv7hf 202312050520Z armv7.img from nyftp.  
- Raspberry PI zero 2 W support  
  need internal Wi-Fi support  
- Firmware:  
# git log HEAD |head  
#commit 5ffb2e29c0e14dede001447a6977e126e950cf3e (HEAD -> master, origin/master, origin/HEAD)  
#Author: Dom Cogley <popcornmix@gmail.com@localhost>  
#Date:   Wed Nov 29 14:33:09 2023 +0000
```

```
- fix PR57565  
https://gnats.netbsd.org/cgi-bin/query-pr-single.pl?number=57565  
/usr/share/mk/sys.mk  
ARFLAGS=?=rl to ARFLAGS=?=r
```

sysinfo:

```
sh-20220122-20231204014929Z
```

pkgsrc:

```
bash-5.2.21nb1 cairo-1.18.0nb1 git-base-2.43.0 gobject-introspection-1.78.1nb2  
libproxy-0.5.3nb3 mozilla-rootcerts-1.0.20231115
```

- packages:

```
http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/earmv7hf/2023/
```

- pre-installed packages:

```
https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/earmv7hf/pkginfo
```

Keyboard layout checkpoint:

```
http://www.netbsd.org/docs/guide/en/chap-cons.html
```

/etc/wscons.conf

```
#encoding sv  
#encoding us.swapctrlcaps  
encoding jp
```

System Update:

```
http://cvswb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/distrib/sets/lists/base/shl.mi
```

dmesg:

```
https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPIZero2W  
https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI2  
https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI2-1.2  
https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI3  
https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI3A+  
https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI3B+
```

--  
Jun Ebihara

---

---

- Prev by Date: [apple m1 status update \(20231206\)](#)
- Previous by Thread: [apple m1 status update \(20231206\)](#)
- Indexes:
  - [reverse Date](#)
  - [reverse Thread](#)
  - [Old Index](#)

[Home](#) | [Main Index](#) | [Thread Index](#) | [Old Index](#)

Port-arm archive

[[Date Prev](#)][[Date Next](#)][[Thread Prev](#)][[Thread Next](#)][[Date Index](#)][[Thread Index](#)][[Old Index](#)]

# pinebook status update (20231206)

- **To:** [port-arm%netbsd.org@localhost](mailto:port-arm%netbsd.org@localhost)
- **Subject:** pinebook status update (20231206)
- **From:** Jun Ebihara <[jun%soum.co.jp@localhost](mailto:jun%soum.co.jp@localhost)>
- **Date:** Wed, 06 Dec 2023 20:56:28 +0900 (JST)

NetBSD Arm Bootable Images: NetBSD9/NetBSD10/NetBSD-current  
<https://www.armbsd.org>

#### Update:

```

libssh-45.1
openssh-9.5
openssl-3.0.12
firefox-119.0.1 <- firefox-120 later can't start
icu-74.1
llvm-16.0.6nb1
mate-1.26.1nb4
mlterm-3.9.3nb6
nodejs-21.2.0
nss-3.95
python311-3.11.6nb4
rust-1.73.0
samba-4.19.3

```

#### Problems:

- pinebook:  
Using audio interface, rebooting.  
PR port-arm/57111
- Pinebook Pro graphics noticeably slower since DRM update  
fixed: PR port-arm/56596  
<http://gnats.netbsd.org/cgi-bin/query-pr-single.pl?number=56596>
- gimp with -python option: don't depends on python27 packages
- seamonkey 2.53.10 can't start
- gnuCash build failed
- USB Audio 2.0 Support  
<http://mail-index.netbsd.org/current-users/2022/06/03/msg042467.html>  
<https://raw.githubusercontent.com/openbsd/src/master/sys/dev/usb/uaudio.c>

#### Topics:

- Tow-Boot on Pinebook Pro  
<https://tow-boot.org/devices/pine64-pinebookPro.html>  
need more testing on NetBSD.
- Pinebook GPU  
"I think I am making a bit of progress with the DRM driver for the Pinebook."  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2022/05/12/msg007650.html>
- pkgsrc update as after 2022Q1.  
firefox 98.0.2 and libreoffice 7.3.1.3  
<https://twitter.com/ebijun/status/1513773516402790403>
- graphical mixer for NetBSD audio.

#### on pinebook:

```

Select a mixer device:
[*] /dev/mixer0: sun50i-a64-audio ausoc
[ ] /dev/mixer1: hdmi-audio ausoc

```

#### on pinebook pro:

```

XXX: [inputs] tab controls audio output level.
https://twitter.com/ebijun/status/1395184397599469568

```

#### - Audio CD with wavpack

##### Encode:

On Windows: Exact Audio Copy & foobar2000

##### On pkgsrc:

1. pkg\_add abcde; pkg\_add glyr  
abcde -d /dev/rcd0a -B -o wav -l -a default,cue  
-> wav,cue,jpg file created.
2. pkg\_add wavpack  
wavpack -h .wav --write-binary-tag "Cover Art (Front)=@.jpg" -w "cuesheet=@.cue"  
-> wav file created.

#### Play:

```

qmp: can play wavpack file with cue. How can I show Cover Art?
Setting->Output->OSS plugin(liboss.so)

```

#### - audio0 input issue

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/02/22/msg007185.html>

Port-arm archive

[Date Prev][Date Next][Thread Prev][Thread Next][Date Index][Thread Index][Old Index]

## apple m1 status update (20231206)

- To: **port-arm%netbsd.org@localhost**
- Subject: **apple m1 status update (20231206)**
- From: **Jun Ebihara <jun@soum.co.jp@localhost>**
- Date: Wed, 06 Dec 2023 07:43:11 +0900 (JST)

Install:

<https://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/apple/>

pkgsrc:

```
boost-libs-1.83.0nb1
cairo-1.18.0nb1
cmake-3.27.9
emacs28-28.2nb15
firefox-119.0.1
libreoffice-7.6.3.2
mate-1.26.1nb4
mlterm-3.9.3nb6
nss-3.95
python311-3.11.6nb4
qmp-1.6.5nb3
rust-1.73.0
samba-4.19.3
sylpheed-3.7.0nb15
xfce4-4.18.1nb5
```

Topics:

- USB2 audio

works ok

```
uaudio0 at uhub5 port 1 configuration 1 interface 0
uaudio0: LUXMAN LXU-OT2 (0x08bb) LUXMAN LXU-OT2 (0x2704), rev 1.10/1.00, addr 17
uaudio0: audio rev 1.00
audio0 at uaudio0: playback
audio0: slinear_le:16 2ch 48000Hz, blk 11520 bytes (60ms) for playback
```

recognize ok ,but sound output awful just like boss overdrive compressor.

```
uaudio0 at uhub5 port 1 configuration 1 interface 0
uaudio0: Topping (0x152a) D10s (0x8750), rev 2.00/1.04, addr 5
uaudio0: ignored setting with format 0x80000000
uaudio0: audio rev 2.00
audio0 at uaudio0: playback
audio0: slinear_le:16 2ch 48000Hz, blk 11520 bytes (30ms) for playback
```

- pkgsrc/textproc/ruby-nokogiri

```
make package
ok with ar 2.34
failed with ar 2.39
```

- X

```
startx failed with signal 11,
till NetBSD-10.99.2-evbarm-aarch64-202302150640Z
```

X.Org X Server 1.21.1.7

```
[ 40.591] (EE) Backtrace:
[ 40.592] (EE) 0: /usr/X11R7/bin/X (xorg_backtrace+0x3c) [0x9761b8c]
[ 40.592] (EE) 1: /usr/X11R7/bin/X (os_move_fd+0x78) [0x975d4f8]
[ 40.592] (EE) 2: /usr/lib/libc.so.12 (__sigtramp_siginfo_2+0x0) [0xf7d48807e1e8]
[ 40.592] (EE) 3: /usr/X11R7/bin/X (CreateColormap+0x418) [0x9644a68]
[ 40.592] (EE) 4: /usr/X11R7/bin/X (miCreateDefColormap+0x84) [0x96b7744]
[ 40.592] (EE) 5: /usr/X11R7/lib/modules/drivers/wsfb_drv.so (+0x147c) [0xf7d4874e322c]
[ 40.592] (EE) 6: /usr/X11R7/bin/X (AddScreen+0xac) [0x9639c6c]
[ 40.592] (EE) 7: /usr/X11R7/bin/X (InitOutput+0x26c) [0x967616c]
[ 40.592] (EE) 8: /usr/X11R7/bin/X (dix_main+0x1a0) [0x9608fd0]
[ 40.592] (EE)
[ 40.592] (EE) Segmentation fault at address 0xf7d487aa07f0
[ 40.592] (EE)
```

Fatal server error:

```
[ 40.592] (EE) Caught signal 11 (Segmentation fault). Server aborting
```

startx but colormap

<https://twitter.com/ebijun/status/1583622834990956545>

startx -- -depth 30

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/10/21/msg007458.html>  
<https://twitter.com/ebijun/status/1480042814704873473>

application checked via tigervnc.

<https://twitter.com/ebijun/status/1615544069161357314>

- pkgsrc/net/tigervnc build failed depends:

x11/libXfont2:



```
ERROR: This package has set PKG_SKIP_REASON:
ERROR: Package set is using native X11 component
works with comment out
#.include "../x11/libXfont2/buildlink3.mk"
```

```
- pkgsrc/x11/xterm failed
ld: fontutils.0: undefined reference to symbol 'FT_Load_Char'
ld: /usr/X11R7/lib/libfreetype.so.19: error adding symbols: DSO missing from command line
```

## Hardware:

```
Apple Mac mini M1 2020 A2348
USB SSD 512GB BUFFALO SSD-PGM2.0U3-BC
```

Filesystem	1M-blocks	Used	Avail	%Cap	Mounted on
/dev/dk6	480587	266179	190378	58%	/
/dev/dk5	79	34	44	43%	/boot
ptyfs	0	0	0	100%	/dev/pts
procfs	0	0	0	100%	/proc
tmpfs	1913	4	1908	0%	/var/shm

## ToDo:

```
- audio
- Wireless LAN
```

## pkgsrc:

```
- pkgsrc packages:
http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/aarch64/aarch64/2022/
pkgin support
```

## System Updates:

## sysinfo:

```
sh-20220122-20231204014929Z
```

## pkgsrc:

```
GConf-3.2.3nb18 ImageMagick-7.1.1.21nb1 ImageMagick6-6.9.12.91nb6
SDL_ttf-2.0.11nb6 apache-2.4.58nb2 apr-util-1.6.3nb3 asciidoc-10.2.0nb6
atril-1.26.1nb7 babl-0.1.106nb2 base64-1.5 bash-5.2.21nb1 boost-libs-1.83.0nb1
cairo-1.18.0nb1 cairomm-1.14.5nb2 caja-1.26.3nb3 caja-dropbox-1.26.0nb6
caja-extensions-1.26.1nb9 clang-16.0.6nb1 cmake-3.27.9 dconf-0.40.0nb6
deforaos-browser-0.5.5nb7 deforaos-camera-0.3.0nb10 deforaos-editor-0.4.1nb10
deforaos-keyboard-0.4.0nb10 deforaos-libdatabase-0.1.0nb3
deforaos-libdesktop-0.4.1nb7 deforaos-mixer-0.4.1nb6 deforaos-panel-0.4.3nb7
deforaos-pdfviewer-0.1.0nb22 deforaos-phone-0.6.0nb12 dillo-3.0.5nb14
emacs28-28.2nb15 enchant2-2.6.2 engrampa-1.26.1nb3 eom-1.26.1nb5 exiv2-0.28.1
faad2-2.11.0 farstream-0.2.9nb18 ffmpeg4-4.4.4nb6 ffmpeg5-5.1.4 ffmpeg6-6.1
ffmpeghumbnailer-2.2.2nb5 firefox-119.0.1 firefox-l10n-119.0.1 fltk-1.3.8nb3
fontconfig-2.14.2nb3 fossil-2.22nb2 freetype2-2.13.2nb1 gallery-dl-1.25.8nb1
gawk-5.3.0 gconfmm-2.28.3nb33 gcr-3.38.1nb11 gd-2.3.3nb12 gdbus-codegen-2.78.1
gegl-0.4.46nb6 geocode-glib-3.26.2nb9 gettext-lib-0.22.3 gettext-m4-0.22.3
gettext-tools-0.22.3 gexiv2-0.14.1nb4 ghostscript-9.05nb35
ghostscript-appl-10.02.1nb2 giflib-5.2.1nb6 gimp-2.10.36nb4 git-base-2.43.0
glib-networking-2.76.1nb3 glib2-2.78.1nb1 glib2-tools-2.78.1
gnome-desktop-44.0nb2 gnome-icon-theme-symbolic-3.12.0nb25
gnome-keyring-3.36.0nb7 gnome-themes-standard-3.20.2nb26 gnupg2-2.4.3nb2
gnutls-3.8.2 gobject-introspection-1.78.1nb2 gpgme-1.23.2 graphene-1.10.8nb1
graphite2-1.3.14nb3 graphviz-8.1.0nb7 gspell-1.8.4nb3 gssdp-1.6.2nb2
gst-plugins1-bad-1.22.7 gst-plugins1-base-1.22.7 gst-plugins1-good-1.22.7
gststreamer1-1.22.7 gtk-doc-1.32nb15 gtk2+-2.24.33nb16 gtk2-engines-2.20.2nb35
gtk2-engines-murrine-0.98.2nb18 gtk3+-3.24.38nb6 gtk4-4.12.4
gtksourceview3-3.24.1nb17 gtksourceview4-4.8.4nb4 gtkspell-2.0.16nb40
gupnp-1.6.6nb2 gupnp-igd-1.6.0nb1 gvfs-1.6.7nb66 harfbuzz-8.3.0
harfbuzz-icu-8.3.0 icu-74.1 imlib2-1.9.1nb4 jasper-4.1.0 jwm-2.4.3nb8 ldb-2.8.0
libXft-2.3.8nb1 libabw-0.1.3nb18 libappindicator-12.10.0nb21 libass-0.17.1nb1
libbluray-1.3.4nb4 libcanberra-0.30nb13 libcdr-0.1.7nb11 libcroco-0.6.13nb9
libcups-2.4.6nb4 libdbi-driver-sqlite3-0.9.0nb17 libdbusmenu-glib-16.04.0nb1
libdbusmenu-gtk3-16.04.0nb2 libde265-1.0.14 libdeflate-1.19 libe-book-0.1.3nb27
libetonyek-0.1.10nb11 libfreehand-0.1.2nb19 libgcrypt-1.10.3 libgit2-1.7.1nb2
libglade-2.6.4nb47 libgsf-1.14.50nb2 libgweather-40.0nb19 libgxps-0.2.2nb31
libheif-1.17.3 libical-3.0.17nb1 libindicator-12.10.1nb19 libksba-1.6.5
liblangtag-0.6.4nb3 libmatekbd-1.26.1nb4 libmatemixer-1.26.1nb3
libmateweather-1.26.2nb3 libmspub-0.1.4nb26 libnice-0.1.21nb2
libnotify-0.8.1nb4 libofx-0.9.15nb13 libotf-0.9.16nb4 libpeas-1.26.0nb11
libproxy-0.5.3nb3 libpurple-2.14.12nb5 libqxp-0.0.2nb20 libreoffice-7.6.3.2
librsvg-2.56.3nb4 libsecret-0.20.4nb9 libsexy-0.1.11nb46 libsixel-1.8.6nb18
libsoup-2.74.3nb4 libsoup3-3.4.4nb1 libspectre-0.2.9nb3 libuniquel-1.1.6nb38
libuv-1.47.0 libva-2.20.0 libvisio-0.1.7nb21 libwmf-0.2.8.4nb27
libwnck-2.30.7nb7 libwnck3-3.36.0nb8 libxfce4ui-4.18.4nb3
libxfce4util-4.18.1nb4 libxkbcommon-1.6.0nb1 libxklavier-5.4nb12
libxml++-2.40.1nb15 libxml2-2.10.4nb4 libxslt-1.1.38nb2 libzip-1.10.1nb2
libzmf-0.0.2nb28 llvm-16.0.6nb1 ltm-1.2.1 luatex-1.17.0nb2 m17n-lib-1.8.0nb15
marco-1.26.2nb3 mate-1.26.1nb4 mate-applets-1.26.1nb8
mate-backgrounds-1.26.0nb6 mate-calc-1.26.0nb7 mate-common-1.26.0nb5
mate-control-center-1.26.1nb4 mate-desktop-1.26.2nb3 mate-icon-theme-1.26.0nb6
mate-icon-theme-faenza-1.20.0nb16 mate-indicator-applet-1.26.0nb5
mate-media-1.26.1nb4 mate-menus-1.26.1nb3 mate-netbook-1.26.0nb5
mate-notification-daemon-1.26.1nb4 mate-panel-1.26.3nb4 mate-polkit-1.26.1nb5
mate-power-manager-1.26.1nb3 mate-screensaver-1.26.2nb4
mate-sensors-applet-1.26.0nb5 mate-session-manager-1.26.1nb3
mate-settings-daemon-1.26.1nb4 mate-terminal-1.26.1nb3 mate-themes-3.22.24nb3
mate-utils-1.26.1nb3 medit-1.2.0nb29 mlterm-3.9.3nb6
mozilla-rootcerts-1.0.20231115 mozilla-rootcerts-openssl-2.13 mozo-1.26.2nb6
mpv-0.36.0nb3 neon-0.32.5nb3 netpbm-10.86.34nb7 nghttp2-1.58.0nb1
```

# 1. 福岡

Maps:

<https://maps.google.co.jp/maps/ms?msa=0&msid=208676479199435389545.0004bfa3226ff3f4d1763>

このドキュメント:

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/Place/fukuoka.rst>

## 1.1. 福岡でのオープンソースカンファレンス

開催年	開催日	参加者	参加グループ	会場
2007	12/8	250	23	アスクビル
2008	12/13	450	28	福岡大学 文系センター棟
2009	12/5	430	14	九州産業大学 情報科学部棟
2010	12/11	520	30	福岡工業大学 α棟
2011	12/3	420	26	筑紫女学園大学
2012	12/8	550	38	KCS福岡情報専門学校
2013	11/16	500	25	福岡ソフトリサーチパーク センタービル
2014	11/21-22	500	23	福岡ソフトリサーチパーク センタービル
2015	10/3	400	30	九州産業大学 2号館
2016	11/19	300	29	福岡ソフトリサーチパーク センタービル
2017	10/7	400	21	福岡大学 18号館
2018	12/8	380	24	福岡ソフトリサーチパーク センタービル
2019	11/9	350	24	九州産業大学
2020	11/28	240	14	オンライン
2021	11/20	135	11	オンライン
2022	11/26	126	14	オンライン
2023	12/9			福岡ソフトリサーチパーク センタービル

## 1.2. 観光ガイドバックナンバー

これまですべてのバックナンバーは <https://github.com/ebijun/osc-demo> にあります。

No	イベント	URL
195	OSC2023福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023fukuoka.pdf</a>
183	OSC2022福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022fukuoka.pdf</a>
173	OSC2021福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2021fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2021fukuoka.pdf</a>
161	OSC2020福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2020fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2020fukuoka.pdf</a>
151	OSC2019福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2019fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2019fukuoka.pdf</a>
136	OSC2018福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2018fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2018fukuoka.pdf</a>
114	OSC2017福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2017fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2017fukuoka.pdf</a>
99	OSC2016福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2016fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2016fukuoka.pdf</a>
79	OSC2015福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2015fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2015fukuoka.pdf</a>
66	OSC2014福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2014fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2014fukuoka.pdf</a>
51	OSC2013福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2013fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2013fukuoka.pdf</a>
37	OSC2012福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2012fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2012fukuoka.pdf</a>
20	OSC2011福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2011fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2011fukuoka.pdf</a>
4	OSC2010福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2010fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2010fukuoka.pdf</a>

## 1.3. togetherまとめ

OSC2023 Online/Fukuoka NetBSDのご紹介 の記録	<a href="https://together.com/li/2271317">https://together.com/li/2271317</a>
OSC2022 Online/Fukuoka NetBSDのご紹介 の記録	<a href="https://together.com/li/1977568">https://together.com/li/1977568</a>
OSC2021 Online/Fukuoka NetBSDのご紹介 の記録	<a href="https://together.com/li/1803990">https://together.com/li/1803990</a>
OSC2020 Online/Fukuoka NetBSDのご紹介 の記録	<a href="https://together.com/li/1627360">https://together.com/li/1627360</a>
OSC2019福岡 NetBSDブース展示の記録	<a href="https://together.com/li/1428096">https://together.com/li/1428096</a>
OSC2018福岡 NetBSDブース展示の記録	<a href="https://together.com/li/1296258">https://together.com/li/1296258</a>

OSC2017福岡 NetBSDブース展示の記録	<a href="https://togetter.com/li/1158733">https://togetter.com/li/1158733</a>
OSC2016福岡 NetBSDブース展示の記録	<a href="https://togetter.com/li/1050258">https://togetter.com/li/1050258</a>
OSC2015福岡 NetBSDブース展示の記録	<a href="http://togetter.com/li/881732">http://togetter.com/li/881732</a>
OSC2014福岡 NetBSDブース展示の記録	<a href="http://togetter.com/li/748237">http://togetter.com/li/748237</a>
OSC2013福岡 NetBSDブース展示の記録	<a href="http://togetter.com/li/590835">http://togetter.com/li/590835</a>
OSC2012福岡 NetBSDブース展示の記録	<a href="http://togetter.com/li/419569">http://togetter.com/li/419569</a>

## 1.4. よく行く店

PADDY	渡辺通	地ビール。おつまみは麦烈。木屋とpigaleにもある。
あすなるブルワリー	千代県庁口	ぶどうエールとちよIPA。17:00-23:00 日月休。2023/11/27 5周年。
ドライブイン鳥	伊万里	加布里。いまりタクシー0955-23-8181。
北九州市漫画ミュージアム	北九州	乙嫁語り展 2023/12/16-2024/1/28まで
遊戯三昧	小倉	チャーリーブラウンから変遷。シナロケサイン入りギターはどこに。
まるけん	黒崎	おでんは味噌／しょうゆ味。
能古島	能古島	意外と近い。ノコリータを飲もう。
楽天地	春吉	もつ鍋 山本昌のサイン席
ブルーマスター	別府	あまおうエール 12:00-18:00 日祝休
スナックなう	別府	泥酔通りにあるスナックなうなう。
CLURIAUNE	別府	注ぐのが最高にうまいマスターが
莞	清川	「げん」。とんちピクルスさん 19:00-2:00
一楽	九産大	NARUTOに出てくるラーメン店。オリジナル店消失。名島？
照和	天神	陽水とか甲斐バンドとか
ハムジン	小倉	九州の秋葉原 博多になくなってしまった。
五郎山古墳	原田	横穴式石室と歴史博物館
カホパーツセンター	天神	博多最大のパーツショップ
大賀酒造	二日市	玉出泉。福岡で一番古い酒蔵
CRAIC AND THE PORTER	天神	ギネス&ポークスのビデオで合唱
テムジン	大名など	梅田にもできてしまった。
ウエスト	全域	朝4時に丸天うどん
志免鉱業所竪坑櫓	志免	福岡空港からバスで行くと近い。たこ焼き屋は閉店。
不思議博物館	那珂川町	サターン入り実物大デスクリムゾンで一面クリアだ！ 天神西一出口松屋裏3F
art space tetra	須崎町	アーティスト共同経営のアートスペース あこイラスト展
Off Broadway	天神	ルイスさんのバー。牛丼があったりして。ホテルリファレンス天神3。
ALACOFFEE	別府	スタンド+座席形式のコーヒー。
Bon Vivant	大橋	赤木酒店奥に広がるバー 17:00-23:00 日祝休
鳥蔵	大橋	地酒充実の焼き鳥屋 17:00-24:00 日休
信長本家	筑紫口	やきとりもつなべ大人数可
旭軒駅前本店	博多駅	ハードコア餃子
海風土	博多駅	寒北斗には、たにいさんのおじさんが作った米が
JAB	渡辺通	ジャズ喫茶 12:00-24:00 日曜休
珈琲美美	赤坂	11:00-19:30
珈琲花坂	赤坂	10:00-17:30
夢のちまた	長浜	11:00-16:00 17:00-22:00
門司港地ビール工房	門司港	11:00-22:00

## 1.5. OSC福岡発表

pkgsrc とは何か OSC2013福岡 おばたさん

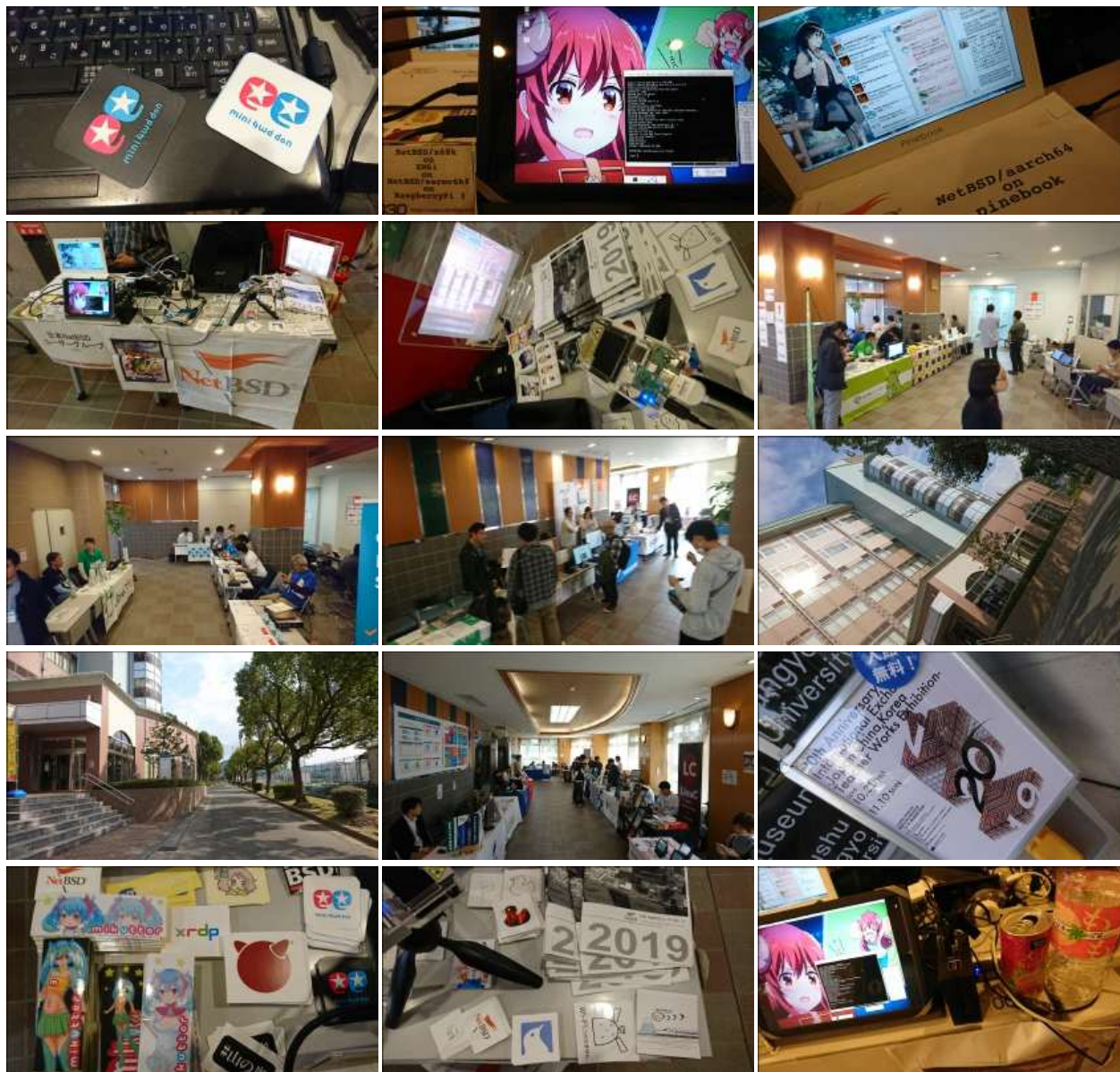
## 1.6. OSC福岡主な展示物

2019/11/9	九州産業大学	RPI3+XM6i pinebook
2018/12/8	福岡ソフトリサーチパーク	RPI3+XM6i
2017/10/7	福岡大学 18号館	RPI3+XM6i OrangePi One
2016/11/19	福岡ソフトリサーチパーク	RPI3+XM6i NetWalker WZero3



2015/10/3	九州産業大学	Raspberry Pi2 mikutter NetWalker ZAURUS WZero3
2014/11/21	福岡ソフトリサーチパーク	RPI Netwalker XM6i Cubieboard2
2013/11/16	福岡ソフトリサーチパーク	RPI Netwalker XM6i
2012/12/8	福岡情報専門学校	WZero3 Zaurus XM6i
2011/12/3	筑紫女学院	hpcmips/hpcarm/Jornada680/WZero3/Xen4+teokure
2010/12/11	福岡工業大学	hpcmips/hpcarm/Jornada680/WZero3
2009/12/5	九州産業大学	hpcmips/hpcarm/Jornada680/WZero3
2008/12/13	福岡大学	hpcmips/hpcarm/Jornada680/WZero3/USBカメラ
2007/12/8	ASCビル	hpcmips/hpcarm/Jornada680

## 1.7. 2019年



## 1.8. 2018年







### 1.9. 2017年



### 1.10. 2016年







## 1.11. 2015年



## 1.12. 2014年



## 2. 2013年





### 3. 2012年



### 4. 2011年





## 5. RaspberryPIのNetBSDイメージ2023進捗どうですか

### 5.1. RaspberryPIのNetBSDイメージについて

今年もオープンソースカンファレンスごとにRaspberryPI用のNetBSDイメージを作って配布しています。この一年、どんなことがあったのか表にしてまとめてみました。

年月	NetBSD	mikutter	mlterm	OpenSSL	ネタ	OSC	URL
2019/8/3	8.99.51→9.99.1	3.9.2			9.0_BETA	OSC 京都	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2019/07/31/msg005994.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2019/07/31/msg005994.html</a>
2023/1/28	10.99.2	5.0.4nb2	3.9.2		10ブランチ	OSC 大阪	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/01/19/msg008093.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/01/19/msg008093.html</a>
2023/2/17	10.99.2	5.0.4nb3	3.9.2nb10	1.1.1t		NBUG2月	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/02/17/msg008116.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/02/17/msg008116.html</a>
2023/3/11	10.99.2					OSC 東京春	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/03/04/msg008133.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/03/04/msg008133.html</a>
2023/4/19	10.99.3		3.9.3			NBUG4月	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/04/19/msg008212.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/04/19/msg008212.html</a>
2023/5/16	10.99.4			3.0.8	twitterAPI	OSC 名古屋	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/05/16/msg008251.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/05/16/msg008251.html</a>
2023/6/17	10.99.4		3.9.3nb2	3.0.9		OSC 北海道	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/06/10/msg008272.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/06/10/msg008272.html</a>
2023/7/18	10.99.5	5.0.4nb4				OSC 京都	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/07/18/msg008300.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/07/18/msg008300.html</a>
2023/8/26	10.99.7	5.0.5				ODC	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/08/23">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/08/23</a>

2023/9/30	10.99.9				certctl	OSC 東京	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/09/28/msg008364.html">/msg008364.html</a> <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/09/28/msg008405.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/09/28/msg008405.html</a>
2023/10/19	10.99.10				misskey.io	OSC 島根	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/10/19/msg008416.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/10/19/msg008416.html</a>
2023/11/25	10.99.10	5.0.5nb4	3.9.3nb3	3.0.12	OpenSSH9.5	OSC 長岡	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/11/24/msg008433.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/11/24/msg008433.html</a>
2023/12/9	10.99.10					OSC 福岡	<a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/12/05/msg008449.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/12/05/msg008449.html</a>
年月	NetBSD	mikutter	mlterm	OpenSSL	ネタ	OSC	URL

OSCはほぼ毎月のように日本各地で行われています。前に、OpenBSDのTheoさんに、自分のノートPCのアップデートをどのくらいの周期でやってるのかきいてみました。2週間くらいごとなんと答えてくれて、ああだいたいそんなものなのかと思っていました。

NetBSDのイメージを配るとしたとき、どのくらいの周期でアップデートしていけばいいのでしょうか？イメージを配る理由は、何かソフトウェアが新しくなって新しい機能が入ったとか、ハードウェアのサポート種類が増えたとか、ソフトウェアの脆弱性が出たとか、理由はいくつかあると思いますが、試しにずっと更新して配りつづけることにしてみました。

イメージのサイズは2GBにしてみました。ダウンロードにかかる時間とか考えると、これ以上でっかくすると使ってもらえません。2GBのカードのサイズはこんくらいにすればいいよとFreeBSDのワーナーさんに教えてもらってずっとそのサイズにしていたのですが、手狭になったので増やしました。

イメージに入れるソフトを何にするか考えたんですが、mikutterとmltermにしてみました。RubyのGUI環境+ネットワーク認証を使うソフトと、基本的なターミナルソフトで、sixelグラフィックも表示できるのでおもしろそうです。

作り方は

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/RPI/RPIImage.rst>

みたいに作って、あらかじめ作っておいたパッケージを組み込んで動作テストをします。mikutterで「あひる焼き」とつぶやいて返事が帰ってくればネットワーク認証と画面表示とRubyまわりと漢字入力がかまくまいていきます。

## 5.2. 新しいハードウェア対応

1. RPI5:2023/10末出荷開始 Broadcom BCM2712 64-bit quad-core Arm Cortex-A76 2.4GHz
2. RPI4:OSC2019島根から：<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2019/10/03/msg006208.html>

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/aarch64/README>

1. RPI3/RPI0WのBluetooth/無線LAN:OSC2019広島版からテストをはじめました
2. Raspberry PI zero 2 W earmv7hf版で動きます。

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/armv7hf/README>

## 5.3. ソフトウェア配布方法

NetBSDのftpサイトはCDN対応のところからダウンロードできるようになりました。漫喫でも楽勝です。 - <http://cdn.netbsd.org/> - <http://nycdn.netbsd.org/>

## 5.4. OSCでやっているデモ

RaspberryPIっぽいなにかということで、omxplayerを使って動画を流すデモと、nonoで NetBSD/x68k,OpenBSD/luna88k,NetBSD/luna68kを動かすデモをやっています。



## 5.5. security.pax.mprotect.enabled

---

```
man security
man paxctl
sysctl -a |grep pax
If application failed, such as omxplayer.
try to test
sysctl -w security.pax.mprotect.enabled=0
```

---

## 5.6. GPIOのドキュメント

---

GPIOの使い方をまとめてくれた方が。

- NetBSD GPIO DOC by Marina Brown <https://github.com/catskillmarina/netbsd-gpio-doc/blob/master/README.md>

## 5.7. 64bit対応

---

ryo@netbsd さんによる rpi64wip実装が進み、NetBSD/aarch64としてRPI3/4で利用できます。

- <https://github.com/ryo/netbsd-src>
- <http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2018/02/20/msg004631.html>
- <http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2018/12/03/msg005297.html>

## 5.8. RPI4

---

- pinebookとpkgsrcを共用しています。
- <http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2020/11/18/msg007066.html>
- <https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/aarch64/README>

## 5.9. armv7のいろいろ

---

NetBSD ARM Bootable Imagesがあります。

- <https://nycdn.netbsd.org/pub/arm/>

## 5.10. ご注文はなんとかですか（弱点）

---

- RPI4のGPUとか

## 5.11. まとめ

---

OSCごとにイメージをつくっていると、だいたいBINDとOpenSSLの脆弱性に対応できていい感じです。なんでOSCの直前になると脆弱性がみつかるのでしょうか。たまにBSD自体の10年もののバグとかも発掘されて楽しいです。リリース間隔があげばあくほど、ひとりで対応できる作業量を越えてしまう気がするので、いまんとここれでいいのかほんとうに。

## 6. RaspberryPIでNetBSDを使ってみる

---

### 6.1. 特徴

---

- NetBSDをRaspberryPIで利用するために、ディスクイメージを用意しました。
- Xが動いて、ご家庭のテレビでmikutterが動きます。
- うまく動いたら、動いた記念写真をツイートだ！
- fossil(<http://www.fossil-scm.org/>)も入れてあります。家庭内Webサーバとかチケットシステムとかwikiサーバになるんじゃないかい。

### 6.2. 準備するもの

---



- RaspberryPI本体
- HDMI入力のあるテレビ／ディスプレイ
- USBキーボード
- USBマウス
- 有線ネットワーク

ケースは Geekworm Raspberry Pi 3/4ケースをそれぞれ使っています。

## 6.3. 起動ディスクの作成

- ディスクイメージのダウンロード

```
earmv6hf
# ftp http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/
2016-11-12-earmv6hf/2016-11-12-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz
```

- 2GB以上のSDカードを準備します。
- ダウンロードしたディスクイメージを、SDカード上で展開します。

```
disklabel sd0 ..... 必ずインストールするSDカードか確認してください。
gunzip < 2016-11-12-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz|dd of=/dev/rsd0d bs=1m
```

## 6.4. NetBSD Arm Bootable Images

NetBSD Arm Bootable Images が、<https://nycdn.netbsd.org/pub/arm/> 以下にあります。RPIと同じ手順で起動できます。

## 6.5. RaspberryPIの起動

1. HDMIケーブル／USBキーボード／USBマウス／有線ネットワークをRPIにさします。
2. 電源を入れてRPIを起動します。
3. 少し待つと、HDMIからNetBSDの起動メッセージが表示されます。
4. メモリカードの容量にあわせたサイズまでルートパーティションを自動調整します。(現在、RPI2では自動調整プログラムの起動が失敗します)
5. 容量調整後に再起動します。再起動した後は、起動プロセスが最後まで進み、ログインできる状態になります。
6. 起動しない場合、まず基板上のLEDを確認してください。

赤いランプのみ点灯している場合

- OSを正しく読み込めていません。
- 少なくともMSDOS領域に各種ファームウェアファイルが見えていることを確認する。
- SDカードの接触不良の可能性があるので、SDカードを挿しなおしてみる。
- ファームウェアが古いため起動しない

緑のランプも点灯している場合

- OSは起動しているのに画面をHDMIに表示できていません。
- HDMIケーブルを差した状態で電源ケーブルを抜き差しして、HDMIディスプレイに何か表示するか確認する。
- HDMIケーブル自体の接触不良。ケーブルを何度か差し直してください。
- 電源アダプタ容量には、少なくとも800mA程度の容量を持つアダプタを使ってみてください。スマートフォン用のアダプタならまず大丈夫です。起動途中で画面が一瞬消えたり、負荷をかけるといきなり再起動したりする場合は、電源やUSBケーブルを気にしてみてください。

## 6.6. ログイン

rootでログインできます。rootアカウントではリモートからログインすることはできません。

```
login: root
```

```
startxでicewmが立ち上がります。
```

```
# startx
```

## 6.7. mikutterを使ってみよう

- xtermからdilloとmikutterを起動します。

```
# dillo &
# mikutter &
```

- しばらく待ちます。
- mikutterの認証画面がうまく出たら、httpsからはじまるURLをクリックするとdilloが起動します。
- twitterのIDとパスワードを入力すると、pin番号が表示されます。pin番号をmikutterの認証画面に入力します。
- しばらくすると、mikutterの画面が表示されます。表示されるはずですが、落ちてしまう場合は時計が合っているか確認してください。
- 漢字は[半角/全角]キーを入力すると漢字モードに切り替わります。anthyです。
- 青い鳩を消したいとき：mikutterのプラグインを試してみる

```
% touch ~/.mikutter/plugin/display_requirements.rb
```

すると、鳩が消えます。mikutterはプラグインを組み込むことで、機能を追加できる自由度の高いtwitterクライアントです。プラグインに関しては、「mikutterの薄い本 プラグイン」で検索してみてください。

## 6.8. fossilを使ってみよう

fossilは、Wiki/チケット管理システム/HTTPサーバ機能を持つ、コンパクトなソースコード管理システムです。fossilバイナリひとつと、リポジトリファイルひとつにすべての情報が集約されています。ちょっとしたメモをまとめたりToDoリストを簡単に管理できます。

```
% fossil help
Usage: fossil help COMMAND
Common COMMANDs: (use "fossil help -a|--all" for a complete list)
add changes finfo merge revert tag
addremove clean gdiff mv rm timeline
all clone help open settings ui
annotate commit import pull sqlite3 undo
bisect diff info push stash update
branch export init rebuild status version
cat extras ls remote-url sync
% fossil init sample-repo
project-id: bcf0e5038ff422da876b55ef07bc8fa5eded5f55
server-id: 5b21bd9f4de6877668f0b9d90b3cff9baecea0f4
admin-user: jun (initial password is "f73efb")
% ls -l
total 116
-rw-r--r-- 1 jun users 58368 Nov 14 18:34 sample-repo
% fossil server sample-repo -P 12345 &
ブラウザでポート12345にアクセスし、fossil initを実行した時のユーザとパスワードでログインします。
```

## 6.9. キーマップの設定を変更する

- ログインした状態でのキーマップは/etc/wscons.confで設定します。

```
encoding jp.swapctrlcaps .... 日本語キーボード, CtrlとCAPSを入れ替える。
```

- Xでのキーマップは.xinitrcで設定します。

```
setxkbmap -model jp106 jp -option ctrl:swapcap
```

## 6.10. コンパイル済パッケージをインストールする

- コンパイルしたパッケージを以下のURLに用意しました。

```
% cat /etc/pkg_install.conf
```

```
PKG_PATH=http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/earmv6hf/2016-11-12
```

- パッケージのインストール

pkg\_addコマンドで、あらかじめコンパイル済みのパッケージをインストールします。関連するパッケージも自動的にインストールします。

---

```
# pkg_add zsh
```

---

- パッケージの一覧

pkg\_infoコマンドで、インストールされているパッケージの一覧を表示します。

---

```
# pkg_info
```

---

- パッケージの削除

---

```
# pkg_delete パッケージ名
```

---

## 6.11. /usr/pkgsrcを使ってみよう

たとえばwordpressをコンパイル／インストールする時には、以下の手順で行います。

---

```
# cd /usr/  
# ls /usr/pkgsrc      ... 上書きしてしまわないか確認  
# ftp http://cdn.netbsd.org/pub/pkgsrc/current/pkgsrc.tar.gz  
# tar tzvf pkgsrc.tar.gz |head ... アーカイブの内容確認  
# tar xzvf pkgsrc.tar.gz  
# ls /usr/pkgsrc  
# cd /usr/pkgsrc/www/php-ja-wordpress  
# make package-install
```

---

```
# cd /usr/pkgsrc  
# cvs update -PA
```

---

## 6.12. パッケージ管理

pkg\_chk コマンドを使って、インストールしたパッケージを管理してみましょう。あらかじめpkgsrcの内容を更新しておきます。どこからパッケージファイルを取得するかは、/etc/pkg\_install.confのPKG\_PATHに書いておきます。

---

```
# pkg_info ... インストールしているパッケージ名と概要を出力します。  
# pkg_chk -g ... 使っているパッケージの一覧を/usr/pkgsrc/pkgchk.confに作ってくれます。  
# pkg_chk -un ... パッケージをアップデートします。(nオプション付きなので実行はしません)  
# pkg_chk -u ... パッケージをアップデートします。
```

---

## 6.13. ユーザー作成

---

```
# useradd -m jun  
# passwd jun
```

---

root権限で作業するユーザーの場合：

```
# useradd -m jun -G wheel
```

```
# passwd jun
```

## 6.14. サービス起動方法

/etc/rc.d以下にスクリプトがあります。dhcpクライアント(dhcpd)を起動してみます。

---

```
テスト起動：  
/etc/rc.d/dhcpd onestart  
テスト停止：
```

```
/etc/rc.d/dhccpd onestop
```

正しく動作することが確認できたら/etc/rc.confに以下のとおり指定します。

```
dhccpd=YES
```

/etc/rc.confでYESに指定したサービスは、マシン起動時に同時に起動します。

起動:

```
/etc/rc.d/dhccpd start
```

停止:

```
/etc/rc.d/dhccpd stop
```

再起動:

```
/etc/rc.d/dhccpd restart
```

## 6.15. vndconfigでイメージ編集

NetBSDの場合、vndconfigコマンドでイメージファイルの内容を参照できます。

```
# gunzip 2016-11-12-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz
# vndconfig vnd0 2016-11-12-netbsd-raspi-earmv6hf.img
# vndconfig -l
vnd0: /usr (/dev/wd0e) inode 53375639
# disklabel vnd0
:
8 partitions:
# size offset fstype [fsize bsize cpg/sgs]
a: 3428352 385024 4.2BSD 0 0 0 # (Cyl. 188 - 1861)
b: 262144 122880 swap # (Cyl. 60 - 187)
c: 3690496 122880 unused 0 0 # (Cyl. 60 - 1861)
d: 3813376 0 unused 0 0 # (Cyl. 0 - 1861)
e: 114688 8192 MSDOS # (Cyl. 4 - 59)
# mount_msdos /dev/vnd0e /mnt
# ls /mnt
LICENCE.broadcom cmdline.txt fixup_cd.dat start.elf
bootcode.bin fixup.dat kernel.img start_cd.elf
# cat /mnt/cmdline.txt
root=ld0a console=fb
#fb=1280x1024 # to select a mode, otherwise try EDID
#fb=disable # to disable fb completely

# umount /mnt
# vndconfig -u vnd0
```

## 6.16. HDMIじゃなくシリアルコンソールで使うには

- MSDOS領域にある設定ファイルcmdline.txtの内容を変更してください。

<https://raw.githubusercontent.com/Evilpaul/RPi-config/master/config.txt>

```
fb=1280x1024 # to select a mode, otherwise try EDID
fb=disable # to disable fb completely
```

## 6.17. 起動ディスクを変えるには

- MSDOS領域にある設定ファイルcmdline.txtの内容を変更してください。

root=sd0a console=fb ←ld0をsd0にするとUSB接続したディスクから起動します

## 6.18. 最小構成のディスクイメージ

NetBSD-currentのディスクイメージに関しては、以下の場所にあります。日付の部分は適宜読み替えてください。

```
# ftp://nyftp.netbsd.org/pub/NetBSD-daily/HEAD/201502042230Z/evbarm-earmv6hf/binary/gzimg/rpi_inst.bin.gz
# gunzip < rpi_inst.bin.gz | dd of=/dev/rsd3d bs=1m .... sd3にコピー。
```



RaspberryPIにsdカードを差して、起動すると、# プロンプトが表示されます。  
# sysinst .... NetBSDのインストールプログラムが起動します。

## 6.19. X11のインストール

rpi.bin.gzからインストールした場合、Xは含まれていません。追加したい場合は、

<ftp://nyftp.netbsd.org/pub/NetBSD-daily/HEAD/201310161210Z/evbarm-earmv6hf/binary/sets/> 以下にあるtarファイルを展開します。tarで展開するときにpオプションをつけて、必要な権限が保たれるようにしてください。

```
tar xzpvf xbase.tar.gz -C / .... pをつける
```

## 6.20. クロスビルドの方法

- ソースファイル展開
- ./build.sh -U -m evbarm -a earmv6hf release
- earmv{v[4567],}{hf,}{eb} earmv4hf
- <http://mail-index.netbsd.org/tech-kern/2013/11/12/msg015933.html>

acorn26	armv2
acorn32	armv3 armv4 (strongarm)
cats shark netwinder	armv4 (strongarm)
iyonix	armv5
hpcarm	armv4 (strongarm) armv5.
zaurus	armv5
evbarm	armv5/6/7

## 6.21. 外付けUSB端子

NetBSDで利用できるUSBデバイスは利用できる（はずです）。電源の制約があるので、十分に電源を供給できる外付けUSBハブ経由で接続したほうが良いです。動作しているRPIにUSBデバイスを挿すと、電源の関係でRPIが再起動してしまう場合があります。その場合、電源を増強する基板を利用する方法もあります。

## 6.22. 外付けSSD

コンパイルには、サンディスク X110 Series SSD 64GB（読込 505MB/s、書込 445MB/s）SD6SB1M-064G-1022I を外付けディスクケース経由で使っています。NFSが使える環境なら、NFSを使い、pkgsrcの展開をNFSサーバ側で実行する方法もあります。RPIにSSDを接続した場合、OSの種類と関係なく、RPI基板の個体差により、SSDが壊れる場合があるので十分注意してください。

## 6.23. 液晶ディスプレイ

液晶キット(<http://www.aitendo.com/page/28>)で表示できています。

aitendoの液晶キットはモデルチェンジした新型になっています。On-Lap 1302でHDMI出力を確認できました。HDMI-VGA変換ケーブルを利用する場合、MSDOS領域にある設定ファイルcmdline.txtで解像度を指定してください。

<https://twitter.com/oshimyja/status/399577939575963648>  
とりあえずうちの1024x768の液晶の場合、hdmi\_group=2 hdmi\_mode=16の2行をconfig.txtに書いただけ。なんと単純。dis

## 6.24. inode

inodeが足りない場合は、ファイルシステムを作り直してください。

```
# newfs -n 500000 -b 4096 /dev/rvnd0a
```

## 6.25. bytebench

おおしまさん(@oshimya)がbytebenchの結果を測定してくれました。

<https://twitter.com/oshimya/status/400306733035184129/photo/1/400303304573341696/photo/1>

<https://twitter.com/oshimya/status>

## 6.26. 壁紙

おおしまさん(@oshimya)ありがとうございます。

<http://www.yagoto-urayama.jp/~oshimaya/netbsd/Proudly/2013/>

--

## 6.27. パーティションサイズをSDカードに合わせる

2GB以上のSDカードを利用している場合、パーティションサイズをSDカードに合わせるすることができます。この手順はカードの内容が消えてしまう可能性もあるため、重要なデータはバックアップをとるようにしてください。

手順は、[http://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/raspberry\\_pi/](http://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/raspberry_pi/) のGrowing the root file-systemにあります。

### 6.27.1. シングルユーザでの起動

1. /etc/rc.confのrc\_configured=YESをNOにして起動します。
2. 戻すときはmount /;vi /etc/rc.conf でNOをYESに変更してrebootします。

## 6.28. 参考URL

- [http://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/raspberry\\_pi/](http://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/raspberry_pi/)
- NetBSD Guide <http://www.netbsd.org/docs/guide/en/>
- NetBSD/RPiで遊ぶ(SDカードへの書き込み回数を気にしつつ) <http://hachulog.blogspot.jp/2013/03/netbsdrpisd.html>
- <http://www.raspberrypi.org/phpBB3/viewforum.php?f=86> NetBSDフォーラム
- <http://www.raspberrypi.org/phpBB3/viewforum.php?f=82> 日本語フォーラム

## 7. ルナ式練習帳、またはLunaの薄い本2023 [1]

「私が誰かはわかっているはずだ。」その声は天使の声だった。

--- さまよえる天使 [2] [3] バーナード マラマッド [4]



## 7.1. History and Background of LUNA

The LUNA hardware had two different operating systems; a 4.3BSD derivative and a SVR3 variant. The first one, named UNIOS-B, was a port of Integrated Solution Inc. UNIX product. ISI manufactured m68k based VME UNIX boxes. Their OS had an interesting feature of TRFS (Translucent Remote File System) as well as the popular SMI's NFS. The paper of TRFS was published at USENIX Technical Conference (late '80, details unknown in this moment). [174]

## 7.2. nono - LUNA-I emulator

「nono は NetBSD とかで動作する LUNA-I とかのエミュレータです。でもまだ動きません。」 [167]

nono 0.0.3 (2020/05/16) 置いときますね。

<http://pastel-flower.jp/~isaki/nono/>

なんちゃってROM用意したので、実機ROMなくても一応起動はすると思う。けど起動しかできないのと、こっからどうしたも

「nonoさんが実機ROMなしでも起動するようなのでとりあえず最小インストールイメージを置きました」 [168]

NetBSD/luna68k 9.0 minimam liveimage 20200518版

<http://teokurebsd.org/netbsd/liveimage/20200518-luna68k/>

- pkgsrc経由でのnonoインストール

pkgsrc/emulators/nono

make package-install

<https://gnats.netbsd.org/55761>

<https://twitter.com/isaki68k/status/1315996525919518724>

<http://www.pastel-flower.jp/~isaki/NetBSD/patch/pkgsrc-nono-20201013.diff>

<http://www.pastel-flower.jp/~isaki/NetBSD/patch/nono-20201013.diff>

add /etc/mk.conf

ACCEPTABLE\_LICENSES+= nono-license

cd /usr/pkgsrc/emulators/nono;make ;make package-install

- nonoからのNetBSD/luna68k liveimage起動 [169]

1) nono-0.1.1 をダウンロード

<https://twitter.com/isaki68k/status/1261646479816404992>

2) 展開して doc/index.html を読んでビルド

3) liveimage をダウンロードして gunzip

4) nono.cfg を作って置く

<https://gist.github.com/tsutsui/340546bdc064cee786ed2473fb510463>

5) wx/nono で実行

6) Emulated ROM上で以下のコマンドを実行

k

[enter]

[enter]

d

boot

g

x

vmtype=luna

*#ethernet-hostdriver=tap*

*#prom-use-rom=0* #外部ROMを指定しなければ内蔵なんちゃってROMで上がるので指定しなくても動く

*#spc0-id6-writeprotect=1* #ディスクライトプロテクト。デモとかで^Cで落とす用。

spc0-id6-image=hd,liveimage-luna68k-raw-20200518.img

- Luna88Kの起動

「設定ファイルでvmtype=luna88kにして、O/luna88kのリリースセットの中のboot を-Aオプションで指定とかまでは出来ます。」 [170]

「it was made from scratch。」 [171]

#OpenBSD/luna88k 6.8-current runs on nono-0.1.4 on #OpenBSD/amd64. Now I can login to virtual luna88k machine! Great! [178]

For anyone interested in nono and luna88k, I put OpenBSD/luna88k live image. (990MB gzip'ed, 2.0G

uncompressed) Set this image as spc0-id6-image in nono.cfg, and start nono with OpenBSD/luna88k bootloader, i.e. "nono (other options) -A boot" [179]

```
#VER=6.8
VER=snapshots
ftp https://cdn.openbsd.org/pub/OpenBSD/${VER}/luna88k/miniroot68.fs
ftp https://cdn.openbsd.org/pub/OpenBSD/${VER}/luna88k/bsd
ftp https://cdn.openbsd.org/pub/OpenBSD/${VER}/luna88k/bsd.rd
nono -A bsd.rd
```

```
vmtype=luna88k
#luna-dipsw1=11111111 #ディップスイッチの初期値設定
#ethernet-hostdriver=tap
#prom-use-rom=0
ram-size=64
spc0-id6-image=hd,spc0-id6-image
```

うゑーい、進んだー(°▽°)ー!! [173]\_  
MFP通過した。 [175]\_  
ROMやっとな動いた(´Д`) [180]\_

- library\_aslr [181]

/etc/rc.conf.local に library\_aslr=NO と書いておくと reordering libraries をスキップします。起動後であれば、# rcctl disable library\_aslr でも良いです。man.openbsd.org/rc.conf

## 7.3. LUNA前夜 - 誕生と再生のためのテーマ

オムロン株式会社が1990年代初めに発売していたワークステーションLUNA。

「オムロンはインターネットの基礎となるUNIXにパイオニアとして取り組んできました。最初のマシンは1984年に出荷を開始した「スーパーメイト」と言うモトローラ社の68000をCPUとして使ったワークステーションでした。、当時サンマイクロシステムズが設立されたばかりで、10MHzのチップを使っていましたが、我々は国産の最新の12.5MHzのチップを使い、当時の最高速マシンとして登場しました。

当然UNIXを使うと自然にインターネットを使う事になるのですが、UNIXそのものが技術者しか使えないものだったため、技術者同士の通信手段として細々と使われていたに過ぎません。しかし、それでもUNIXの将来性に気づいていた我々は草の根的にオムロンの中でネットワークを拡大していきました。シグマワークステーション、LUNAワークステーションとマシンは進化していきましたが、その一方で「オムロン・インターネット」が着々と規模を拡大していきました。最終的には全国30個所以上、2000人が使うネットワークにまで成長しました。当時はだれもこれが「イントラネット」だと言う意識は無く、ひたすら便利なネットワークとして整備を続けました。もちろん今ではこれが典型的なイントラネットである事は間違いありません。しかし、この段階では依然として技術者専用の情報インフラでありました。草の根的な従って統率の無いものでした。」 [50]

### 7.3.1. スーパーメイト

LUNAは、SX-9100以降の愛称なのですが、その前のSX-8700の時代は、スーパーメイトという愛称でした。 [149]

そしてソースリーディングを開始して約半年後、いよいよオムロン標準の16ビットボード(68000MPU)を改造して68451MMUを追加したボードコンピュータに、UNIXを移植する作業がスタートしました。開発環境は、EXORmacs上のIdrisを用い、移植中のOSのロードモジュールは、RS-232C接続で、実機にダウンロードしました。

そして、AH(アドバンストハード)プロジェクトと合流して開発したのが、68000搭載のUNIXワークステーションSX-8700でした。当時はUNIX System III注19であり、開発環境としてVAX-780上のSystem IIIを使用しました。VAXと68000のバイトオーダーが逆だったので苦労しました。このマシンがスーパーメイトという商品名で、1984年春のマイコンショーで、オムロンのコンピュータとして華やかにデビューしたのです。そして間もなく発表されたUNIX System Vを移植し直し、その年の秋に出荷が開始されました。 [150]

### 7.3.2. トラッカー台分

引越しのため、収集していた古いワークステーションを廃棄している(しようとしている)ところです。そんななか、希少マシン?はNetBSDの移植に使用されていることを知り、事務局様を通じて、junk-jaへのポストをお願いしました。 [11]



### 7.3.3. 1985年12月20日

SEA設立総会の夜。「1985年12月20日という日付は、日本のソフトウェアの歴史に永久に記録されよう。」(c)岸田さん 「詳しくはシグマせんとのこと」 [54]

### 7.3.4. 1986年10月

「SIGMA サイドで作っていたオムロンのLUNA マシンは、そのころ、まだ影も形もなかった。わたしがソニーにアドバイスしたマーケティング戦略は、とりあえず最初のロットでできた何十台かのマシンを日本全国の大学の研究者に無料で配って使ってもらおうというもの。これもみごとに図にあたってと思います。」 [53]

### 7.3.5. 1982年

「一九八二(昭和五七)年頃の話。ワークステーション開発部長をしていた市原達朗は、その利用法を考えているうちに、ワークステーションを使った産学連携を思いついた。数学のノーベル賞とも言われるフィールズ賞の受賞者・広中平祐をトップに、全国から一〇〇人の教授を選んで、一人一〇大、合計一〇〇〇台のワークステーションを寄付し、それをネットワークで結んで研究成果を無償解法してもらう。そしてそれを企業が事業に活用するというのがその趣旨だった。協力してもらうのは立石電機のほかに、東芝、日立製作所、IBMといった企業四社を想定していた。」 [156]

## 7.4. LUNAシリーズ概要

### 7.4.1. SX-9100

1987年発表 for  $\Sigma$ プロジェクト [36] [51] [86] 「札幌 $\Sigma$ サブセンターに設置されて、地場企業による $\Sigma$  CAI ソフトウェアの開発に利用されていた。」 [52]

### 7.4.2. LUNA [13]

- 1989年発表 MC68030 20MHz
- 起動動画 [45] [46] [38]

#### シリーズ構成 [65]

ディスクレス	ベーシック	スタンダード	スタンダード	ファイルサーバ	ハイエンド
DT10	DT20/25	DT30/35	DT32/37	DT40/45	DT50/55
4MB	4MB	4MB	8MB	4MB	8MB
•	70MB	100MB	100MB	172MB	172MB
LAN	•	LAN	LAN	LAN	LAN
ブラック	ブラック	ホワイト	ホワイト	ホワイト	ホワイト
55万円	88/103万	115/135万円	140/160万円	165/185万円	190/210万円

- PC98インターフェースはホワイトタイプに装備,DT20/25はオプション
- DT25,35,37は、フロッピーの代わりにテープストリーマ付き

### 7.4.3. オプション

- ビットマップボード:モノクロ:2048x1024,1プレーン
- ビットマップボード:カラー:2048x1024,4プレーン,4096色中16色/16階調同時表示
- 増設メモリボード:最大4MBx2枚
- LANボード:イーサネット,チーパネット(DT20/25)
- PC-98インターフェースボード
- GPXボード: X.25,GP-1B

### 7.4.4. UNI-OS [37]

#### UniOS-B

Unix4.3BSDを移植したもの。Lunaで稼動。

#### UniOS-U

UnixAT&TSystemV R2.1をベースに4.2BSDの機能等を付加し、移植したもの。Luna、Luna-IIで稼動。

## UniOS-Σ

ΣOS-VOR1準拠したもの。Luna-Σで稼動。(要出典:Luna-Σという呼び方) [83]

## UniOS-Mach

Machをベースに移植したもの。Luna-II、Luna-88Kで稼動。

---

本校のワークステーションはオムロン株式会社の「LUNA」(DT65及びFS180)というもので、CPUに「MC68030」(メインメモリー16MB)を、基本ソフトウェアに統合化OS(後述します)である「Unios-U」を採用した高性能なものです。(注釈:この部分を読めば、最近のコンピュータの進化が実感できますね) [66]

## 7.4.5. LUNAI

- 1991/6 MC68040 25MHz
- 68040を搭載したワークステーションLUNA - IIのハードウェア
- 互換性を重視し,CISC CPUを採用したワークステーションについて [21]
- カーネル起動問題

### シリーズ構成 [73]

DT2460	DT2465	DT2660	DT2665
8/16MB	8/16MB	8/16MB	8/16MB
250MB	250MB	250MB	250MB

- PC98インターフェースを2スロット装備
- DT2465,2665は、フロッピーの代わりにテープストリーマ付き
- イーサネット/チーパネット(標準)+イーサネット(オプション)

1. ビットマップボード:モノクロ:2048x1024,1プレーン
2. ビットマップボード:カラー:2048x1024,4プレーン,4096色中16色同時表示
3. ビットマップボード:カラー:2048x1024,8プレーン,1670万色中256色同時表示

88Kでも88K2でも、hwplanebits(=ROMモニタのワークエリアの値)は、PW7131(8bpp) → 8 PW7102(4bpp) → 1となる。 [101] [102] [103]

## 7.4.6. LUNA88k [10]

1. モトローラRISC CPU MC88100(m88k)を採用
2. マルチCPU対応(最大4つ) 1CPU時25Mips,4CPU時100Mips
3. Mach2.5,X11.4/X11R5(Luna88K2),Wnn4.1,Motif1.1.4
4. PC-98用バス対応
5. OpenBSDはm88kの実機とtoolchainがメンテナンスされている唯一のBSD
6. 1992/9 「マルチRISCワークステーションLUNA - 88K2 - 33MHz MC88100 CPUを最大4個搭載したマルチRISCワークステーションについて」 [16]
7. 88Kと88K2ではNVRAM/Timekeeperが違う。 [84]
8. 起動動画 [30] [48] [49]
9. ユニマガ紹介記事 [74] と、製品仕様 [75] と、まとめ [71]
10. [miod@openbsd.org](mailto:miod@openbsd.org) さんのOpenBSD/luna88k ページ [90]
11. LUNA-88K2 姉妹生存報告。10月にリリースされた #OpenBSD 6.8 [176]
12. MC88100 バグ対応の一部 [177]

### シリーズ構成 [73]

DT8840	DT8860
8/16MB	32/64MB
250MB	250MB
270万円	350万円

## 7.4.7. omron3

omron3.sp.cs.cmu.edu (オムロン製 LUNA88k) は 1990年から1997年の間 CMU の日本語コンピュータ環境を提供するべくボランティア達によって運用されてきた計算機です。1997年5月をもって komachi.sp.cs.cmu.edu (Intel Pentium 120Mhz FreeBSD) に役目を引き継ぎ引退しました。 [68]

## 7.4.8. OEM版

「LUNAのシグマOSのやつで日本無線からでていたOEMのワークステーションというやつを使っていたことがあります。なんか日本語フォントがX-Window立ち上げなくても使えたようなおぼろげな記憶。銀座にあったオムロンのセミナー会場で講習を受けたのだけど、そこではOEMでなくて普通のLUNAだったからなんかちがってとまどったような...」 [64]

## 7.4.9. LUNA2010 [78]

Introduces Omron Electronic BV's Luna 2010, a multiprocessor Unix workstation that supports configurations of up to four 88110 CPUs. Compatibility with Data General's DG/UX 5.4 Release 2.10 operating system; Other features; Prices. [79]

そして、新しいワークステーション用のチップセットのコードネームにAsteroidという名前をつけました。火星と木星の間にある無数にある小惑星群のことです。今から考えると、何でこんな名前を付けたのだろうを反省してしましますが、とにかくそういう名前をつけてしまいました。 [77]

- 88110
- 1993/9ごろ
- DC/UX5.4.X

## 7.5. OSCを中心とするイベント駆動開発

1. 動きそうなLUNAを探す
2. ハードウェアを整備する
3. ソフトウェアを書くために必要な情報を交換する
4. 行き詰ったらツイッターで相談する
5. 定期的にイベントで展示する
6. 昔使っていた人に直接話を聞く
7. 集めた情報を整理して、公開する

### 7.5.1. OSC2011Kansai@kyoto - LUNA復活

NetBSD/m68k will never die!

当日いきなりSun/NEWS/Luna展示 [31]

2011/7/16のコミットメッセージ [35]

---

Revive NetBSD/luna68k.

Even after almost a lost decade since NetBSD/luna68k was switched to using ELF format by default back in 2001, actually only one fix (bus.h) is required for a GENERIC kernel itself to get multiuser login: prompt on a real hardware. Hurrah!!!

Demonstrated with a working Xorg mono server on the NetBSD booth at Open Source Conference 2011 Kansai @ Kyoto:  
<http://www.ospn.jp/osc2011-kyoto/>

"Very impressed," commented by Tomoko YOSHIDA, Program Committee Chair of the Conference, and some other OMRON guys.

Special Thanks to Tadashi Okamura, for providing a working SX-9100/DT "LUNA" for this mission.

---

### 7.5.2. なぜNetBSD/luna68kなのか

LUNAを使っていたわけでもないのになぜNetBSD/luna68kにこだわるのか。それはNetBSDのyamt-kmemブランチマージ作業の際の話にまで遡る。 [91] [92]

違った yamt-km のほうだった orz [93] [94] yamt-km では hp300由来の m68k pmap でカーネルKVA用のセグメントテーブルをKVAの最上位に移動する必要があった。大部分のm68kではKVA空間上位は空いていたが luna68kだけは 0x40000000以降のデバイスアクセスにTTレジスタを使っていた。 [95] で、hp300由来のpmapのセグメントテーブルとページテーブルの初期化

は壮絶に何をやっているのかさっぱりわからない記述になっていて、かつ030と040は別の初期化が必要で、yamt-kmマージ当初はyamtさんがそれなりに書き換えたけれど誰もテストしていなかったわけですよ [96] その後 NetBSD 4.0 が出る前に yamt-km マージで動かなくなっていた atari を修正して、そのあとをm68k全部のpmap初期化をすべて読み解いてそれぞれのpmap\_bootstrap.cを初期化意図が読み取れるようにゴリゴリ書きなおしたわけなんですよ [97] 実機テストできない機種のソースを4つも5つも書きなおして、1年後に見直すと致命的なtypoがあったりして、誰も持ってないマシンのコードなんか何の意味があるのか消してしまえなどと言われて、でもOSC2011京都で入手したluna68k実機ではそのままのソースで起動した、というお話 [98]

### 7.5.3. OSC2011Kansai@kyotoの波紋

---

- 「オムロンからLUNA88Kが発掘された」 from よしだともこ先生 [29]
- 「LUNA88KはOpenBSD開発者の方へ」 → あおやさんと連絡がとれる
- 「ツイッターで『LUNA-IIはありませんか』とつぶやくと」
- 「ふと、横を見ると『LUNA II』と書いたマシンが。。。」

### 7.5.4. LunaII対応

---

1. 同じオペランドで68030と68040で違う命令の罫
2. %tt1 (PA/VA透過変換レジスタ)設定値修正
3. M68040共通部分の修正適用
4. 外付けSCSIアタッチ追加
5. LCD表示を「SX-9100/DT2」に変更

### 7.5.5. KOF2011 - LUNAII展示

---

- 「NetBSDが謎マシンを動かす理由＝そこに山があるからw」 [24]
- 「明日11日(金)からのKOFのNetBSDブースでOSC京都のOMRON LUNA展示の後に発見されたLUNA-IIで動くNetBSD/luna68kを展示します。」
- 「LUNA資料は手書きだ」
- 「NetBSD/luna68k画面表示の裏でひっそりと活躍する自作LUNA-II内蔵型B/WビデオtoVGA変換。」
- 「「そんなことよりそれはなんだ」と言われそうなLUNAならぬ初代SX-9100 Mr.文具セット。裏によしだ先生サイン(?)入りの貴重品。」

### 7.5.6. isibootd(8)

---

LUNA専用ネットブートサーバプログラムisibootd(8)をNetBSDツリーにコミット。

### 7.5.7. FPU判別ルーチン

---

1. ローエンド、ベーシックタイプは68881
2. サーバタイプは68882

### 7.5.8. OSC2012Kansai@Kyoto

---

1. NetBSD/luna68k近況 [58]
2. wsconsコンソールフレームバッファ修正 (OpenBSD/luna88kから)
3. オムロンフォントで表示
4. 電源トラブル：電解コンデンサ全交換
5. PROM起動仕様 HDDから起動する条件調査
6. bootarg問題
7. SSD on LUNA
8. Xorgサーバ

### 7.5.9. 円頓寺LUNAエンカウント

---

NBUG2013/2月例会。いきなりLuna68K/Luna88k/BigNEWSがNBUG例会にタクシーで持ち込まれる。「掲示板でLUNA88kをNBUG例会に持ち込もうか聞いている人がいる」と噂になっていたその人だった。 [56]

### 7.5.10. OSC2013Tokushima

---

1. NetBSDこの20年 [55]



## 2. NetBSD/luna68kブートローダー起動展示 [8]

---

Module Name: src  
Committed By: tsutsui  
Date: Sat Jan 5 17:44:25 UTC 2013

### Added Files:

```
src/sys/arch/luna68k/include: loadfile_machdep.h
src/sys/arch/luna68k/stand/boot: Makefile autoconf.c bmc.c bmd.c boot.c
boot.ldscript conf.c cons.c device.h devopen.c disklabel.c font.c
getline.c init_main.c ioconf.c kbd.c kbdreg.h locore.S machdep.c
omron_disklabel.h parse.c preset.h prf.c rcvbuf.h romcons.c
romvec.h samachdep.h sc.c screen.c scsi.c scsireg.h scsivar.h sd.c
sio.c sioreg.h status.h stinger.h trap.c ufs_disksubr.c vectors.h
version
```

### Log Message:

First cut at NetBSD/luna68k native bootloader.

Based on 4.4BSD-Lite2/luna68k "Stinger" loader revision "Phase-31"  
<http://svnweb.freebsd.org/csrq/sys/luna68k/stand/>  
and MI libsa glue stuff are taken from hp300 etc.

Tested on LUNA-I and old DK315C SCSI disk drive.

LUNA's monitor PROM can load only an a.out binary in 4.3BSD FFS partition  
(i.e. created by "newfs -O 0") on disks with OMRON's UniOS disklabel,  
but now we can load an ELF kernel in root partition via this bootloader.  
(See luna68k/disksubr.c for details of UniOS label)

### TODO:

- LUNA-II support (check 68040 to adjust cpuspeed for DELAY())
  - secondary SCSI support for LUNA-II
  - netboot via le(4) (should be trivial)
  - support boot options on bootloader prompt
  - bootinfo (passing info about booted device and kernel symbols)
  - support "press return to boot now, any other key for boot menu" method  
like x86 bootloader (needs cnscan() like functions)
  - tapeboot (anyone wants it?)
- 

## 7.5.11. OSC2013Nagoya - Luna88K&Luna68K

---

- あおやまさんと江富さんによるLuna88K/Luna68K完全動態展示 [57]
- Luna88K2 & Luna68K プロトタイプ7号機
- OpenBSD/luna88k開発者あおやまさんによるプレゼンテーション [10]

## 7.5.12. OSC2013 Kansai@Kyoto

---

非力なマシンで最新のOSを動かすためには、大変な努力と工夫が必要です。その展示を実現させた方は、その努力と工夫を楽しんでおられたというわけです。 [100]

## 7.5.13. NBUG 2013/9

---

- OpenBSD/luna88k 近況報告

## 7.5.14. KOF2013

---

- 関西オープンソース2013NetBSDブースの記録 [117]

## 7.5.15. OSC2014 Kansai@kyoto

---

- OSC2014京都 NetBSDブース展示への道 [134]
- OSC2014京都 NetBSDブースの記録 [135]

## 7.5.16. LUNAグッズ

---

- LUNAグッズ持参でブースに遊びに来てくれる元関係者の方が！
- シールとフロッピー [59]
- たれまく
- ペンセット [60]
- ペンケースとバンダナ [76] [121] [130]
- dpNote - 図形グッズ：シール・定規
- ホッチキス [133]
- トレーナー [144]
- LUNAII ボールペン

### 7.5.17. LUNA関連書籍

---

LUNAユーザーグループとは何か - mikutterの薄い本 [81] を会場に忘れたら、なぜか一緒に送られてくる  
UNIXワークステーションがわかる本 [61]

@tsutsuii LUNAの薄い本2013作れってことすね [7]

## 7.6. LUNAについて私が知っている二、三の事柄

---

### 7.6.1. Project Mach

---

Project Mach was an operating systems research project of the Carnegie Mellon University School of Computer Science from 1985 to 1994.

*"It's never too late. When it's over, you get to tell the story"* -- Garrison Keillor [67]

- luna88kカーネルソース [72]

### 7.6.2. LUNAインストール方法

---

- インストールマニュアル [27]
- NetBSD/luna68kの起動ディスク作り方メモ [28]

### 7.6.3. NetBSD/luna68Kのブート方法 [13]

---

2種類のブート方法： [27]

1. PROMがUNIOS-B /a.outをロードする
2. PROMが独自プロトコルでサーバからカーネルロード

- NetBSD1.5以降 m68kはELFフォーマット移行：どうやって起動するか
- 実機がないままソースツリーはメンテされ続ける

### 7.6.4. PROMモニタ

---

1. newfs -O o で作った4.3BSD形式のFFS上のa.outカーネルは読める。
2. LUNAIIでのネットブートは無理？
3. HDD起動時の制約は？ (SCSI ID,カーネルサイズ,ファイルシステム)
4. LUNAIIは外部SCSI HDDから起動できるか

### 7.6.5. LUNA68Kのブートローダー

---

1. NetBSD/luna68k の起動ディスクの作り方メモ [28]
2. なんか出た。これでデバッグできる [8]
3. native bootloader update for NetBSD/luna68k [116]

### 7.6.6. LUNA88Kのブートローダー

---

1. OpenBSD/luna88k standalone bootloader by @MiodVallat works fine on my LUNA-88K2! [107]

### 7.6.7. BSD広告条項

4.4BSD-Lite2由来のコードに含まれる3項目(All advertising materials ..)、広告条項削除OKについて、文書で許可を出してくれるOMRONの方がいらっしやると2-clause BSDで配布できる。

### 7.6.8. 電源問題

1. OMRONワークステーション LUNA-II 電源ユニット修理記 [25]
2. 「KOF本番週の日曜日に電源が不調になり急遽部品手配して展示直前に修理していた」
3. OSC2012京都前に再度補修 [26]
4. LUNA-II, LUNA-88K 電源ユニット(PTD573-51) 四級塩電解コンデンサー覧 [88]
5. 88K2は88Kより分解しやすいような気がする。 [127]

### 7.6.9. LUNAI

1. 1MB SIMM/4MB SIMM切替→SIMM脇に謎ジャンパが
2. 4bppフレームバッファのX11R5ソースは？ [85]

### 7.6.10. PC98-Cバス

1. 86音源ボード on LUNA [138]
2. C-bus拡張ボード on LUNA-88K2 [146]

### 7.6.11. UniOS-Machと西暦2000年問題

でも、同じマシンでUniOS-Mach立ち上げると時刻が変になる。昔調べたとおりdate(8)コマンドでは2000年以降の日付は設定できないので、OS内部で元々Y2K対応が甘いだけかもしれない。 [82] [84]

### 7.6.12. 質問日時:2009/10/28 17:51:08

会社でワークステーション（オムロン製LUNAI）を使用していますが、プリンターが不良となりました。エプソン VP-4000です。中古をさがしていますが、これと互換性のあるプリンターはないでしょうか？ [14]

もう捨てようかと思う...が、未練があり捨てられず [10]

*Sometimes you get so lonely / Sometimes you get nowhere / I've lived all over the world / I've left every place / Please be mine / Share my life / Stay with me / Be my wife* [5]

## 7.7. LUNA年表 - 月の刃

「次の日からオレとルナ先生の生活がはじまったんだ」 [62]

青：あおやまさん,江：江富さん,オ：オムロン,筒：筒井さん,菅：菅原さん,モ:モトローラ

1986/10		いけない！ルナ先生連載開始
1987	Σ	SX-9100 オムロンから発表 [47]
1988	オ	グッドデザイン賞受賞 [15]
1988/7		いけない!ルナ先生連載終了
1989	オ	SX-9100/DT LUNA MC68030 20MHz
1989/3	オ	LUNAのハードウェア Omron Tech No.29 p.8-15 [19]
1990/7	オ	Luna88k Omron Tech p.81-92 [20]
1991/6	オ	LUNA - II Omron Tech No.31 p. 91-9 [21]
1991/10/11		春奈るなさんの誕生日
1991/11	モ	MC88110の存在が明らかになる [17]
1992/12	オ	LUNA - 88K2 Omron Tech No.32 p.336-344 [16]
1992/12	オ	MC88110ワークステーション Omron Tech No.32 p.345-350 [18]
1993/9	オ	LUNA2010
1994		いけない!ルナ先生 復刻版
1994		4.4BSD Lite luna68K

1994	オ	LUNA-IIの生産終了
1994/3	オ	LUNA2010用システム診断プログラムの開発について [80]
1998/6		NetBSD/luna68k やってるひと、いますよ。[netbsd 02006] [23]
1999/12		NetBSD/news68kマージ
2000/1/6		NetBSD/luna68kマージ
2000		いけない!ルナ先生 復刻版
2000/2/18		梶田さんluna68k起動成功 [netbsd 05132] [22]
2000/08	青	LUNA-88K2入手
2001/12	青	LUNAにOpenBSD移植決意
2002/01/27	青	OpenBSD/sparc上でm88kクロス環境構築
2002/03/29	青	シリアルコンソールでカーネルCopyright表示
2002/06/05	青	network bootでIPアドレス取得 [69]
2003/08	青	コンパイラのバグがなおったようなので再開
2003/09/20	青	tarのオプションを間違えてソース消去、CVS導入
2003/10/05	青	なんとかもとの状態に戻る
2003/12/10	青	NFS rootでシングルユーザ&マルチユーザ
2004/02/17	青	SCSI動作
2004/03/21	青	Miod Vallatさん(OpenBSD/mvme88kのport maintainer)に見つかる [70]
2004/04/21	青	OpenBSD本家treeにcommit
2004/11/01	青	OpenBSD 3.6: 初の正式リリース
2007/08/31	青	LUNA-88K2の電源ユニット故障により起動できなくなる
2007/9/5	青	Luna88K検索願い [nbug:10540]
2009/10/28		Yahoo知恵袋にLUNAIIに関する]質問が [14]
2011/07	筒	OSC2011Kansai@KyotoでLUNA/NEWS/Sun3展示 [31]
2011/7	筒	NetBSD/luna68k on OMRON LUNA - Bootstrap [37]
2011/07	オ	LUNA88Kオムロンにて発掘される!
2011/08	青	ご好意により、オムロンで発掘されたLUNA-88Kが届く
2011/08/15	青	上記LUNA-88Kの電源ユニットを移植して復活
2011	筒	KOFでLUNA-II展示 [9]
2012/05/01	青	OpenBSD 5.1: 久しぶりの正式リリース
2012/02/28	青	10年目にして一応マルチプロセッサ対応
2012/08/03	筒	OSC2012関西@京都でLuna&LunaII展示 [32]
2013/01	青	OpenBSD m88k portのELF化&共有ライブラリ化
2013/01/27		Luna88k(白と黒) Luna88K2Luna2010を青山さんに送る
2013/02/16	江	Luna88K&Luna68k&BigNEWSをNBUG例会に持ち込む
2013/03/09	江	Luna88kをあおやまさんに送る
2013/03/09	筒	OSC2013徳島でLuna68K展示 [33]
2013/03/19	筒	筒井さんから江富さんにLuna68k起動ディスクが送られる
2013/04/13	青	Monochrome X serverが動作
2013/06/22	青	Luna88K OSC 2013 Nagoyaで初展示。江富さんのLuna68kも初展示。 [119]
2013/08/2	筒	OSC2013京都でLuna/Lunall tw/mikutter展示。 [120]
2013/08/24	筒	OSC2013島根でLunall+mterm-fb+mikutterd展示 [118]
2013/09/21	青	OpenBSD/luna88k近況報告 無印/4bpp/リリース [109]
2013/11/8-9	筒	KOF2013 NetBSDブースでLuna+mikutter展示 [117]
2013/12/21	青	OpenBSD/luna88k近況報告 PC98バス 音源ボード [110]
2014/01/11	筒	native bootloader update for NetBSD/luna68k [129]
2014/03/05		いけない!ルナ先生 DVD全6巻発売開始 [114] [115]
2014/04/19	青	NBUG2014/4例会 OpenBSD/luna88k 2014/4近況報告 [125]
2014/07/05	青	OSC 2014 NagoyaでLuna88K+PC98 86音源ボード展示 [122] [123] [124]
2014/07/13	筒	Lunall+8bpp ボードでカラー表示 [126]
2014/07/20	筒	LUNA's keyboard driver changes from OpenBSD/luna88k [131]
2014/07/21	筒	luna68k 4/8bpp framebuffer as a monochrome server [132]
2014/08/01	筒	lunall+mikutterd今年はカラーだ展示 [134]
2014/08/13	筒	LUNA framebuffer mod for LCDs without Sync on Green support [142]
2014/11/07-08	筒	関西オープンソース2014 NetBSDブース展示の記録 [143]
2014/11/29	青	yaft × LUNA [140]
2014/12/20	青	86音源ボード on LUNA [138]
2014/12/29	青	86音源ボードコードコミット [139]



2015/02/21	青	LUNA-88K2はPCカードの夢を見るか? [141]
2015/03/21	青	LUNA-88K2はPCカードの夢を見るか? <補遺> [145]
2015/05/01	青	OpenBSD 5.7リリース [148]
2015/05/22	青	C-bus拡張ボード on LUNA-88K2 [146]
2015/07/06		「いけない! ルナ先生」 コラボ読切で復活 [147]
2015	青	OpenBSD/luna88k移植物語 [152]
2015/10	青	FM音源の調べ on LUNA <a href="http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201510">http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201510</a>
2016/3	江	Luna68K AsiaBSDCon2016ブース展示
2016/7	筒	Luna68K PSG Z80 sound driver for PC6001 to NetBSD/luna68k OSC京都 [164]
2016/11	藤	Implimentation of 4.4BSD luna68k by Akito Fujita KOF
2016/11	筒	Luna68K PSG Z80 sound driver for PC6001 to NetBSD/luna68k OSC広島
2017/3	青 江	Luna88K&Luna68K AsiaBSDCon2017ブース展示
2018/5	筒	RaSCSI + OMRON 初代LUNA 起動
2018/5	青	LUNA-88K2 OSC2018Nagoya ブース展示
2018/8	菅	LUNA68K OSC2018Kyoto ブース展示 LUNAのPSG音源でPCM再生
2018/8	筒	LUNA68K OSC2018Kyoto ブース展示 sayaka+mlterm-fb
2018/7	青	LUNA-88K2 OSC2018Nagoya ブース展示 [165]
2020/4		オムロン元社長・立石義雄氏逝去 [172]
2020/5	井	nono-0.0.3リリース [167]
2020/7	井	nono-0.1.0リリース
2021/5	青	Here come LUNA-88K emulators! [182]
2021/6	井	nono-0.2.0リリース [181]
2022/4	井	nono-0.3.0リリース
2022/5	筒	psgpam(4)マージ [183]
2022/6	井	nono-0.4.0リリース NetBSD/x68kブート
2022/7	井	nono-0.4.1リリース [185]
2022/7	筒	NetBSD/luna88k シングルユーザブート [184]
2022/9	井	lunafb(4) improvement [186]
2022/10	井	nono-0.4.4リリース [187]
2023/1	井	nono-0.5.0リリース [188]
2023/2	井	nono-0.5.1リリース [189]
2023/2	青	LUNA88K Boot 0.8 [190]
2023/11	井	nonoの話 [191]

## 7.8. 最近のLUNA

### 7.8.1. メモリ64M

というわけで LUNA-IIの64MB設定でも NetBSD/luna68kカーネル起動した。これでしばらく耐久テストするか…  
[12] [34]

### 7.8.2. mlterm-fb & tw

ツイッタークライアント! [39] [40] [41] [42] [43] [44] [111]

### 7.8.3. mlterm-fb + mikutterd

LunaIIならmlterm-fbとmikutterdを組み合わせてタイムラインを展示できます。

### 7.8.4. 画像の2値化

モノクロ画面で効率的にデモ画面を作る方法: (サーベイする)

### 7.8.5. LUNA-88K:NVRAM and Timekeeper registers

On 'original' LUNA-88K, NVRAM contents and Timekeeper registers are

mapped on the most significant byte of each 32bit word. (i.e. 4-bytes stride) Also, add small 'Wrong year set by UniOS-Mach after Y2K' hack. [89]

### 7.8.6. LUNA88K謎ボード

---

- PWB7183 [99]
- 専用チップが載っている [102]

### 7.8.7. KOF2014におけるLUNA展示

---

LUNAフォントとSONYフォント [137]

### 7.8.8. yaft X LUNA

---

yet another frame buffer terminal [136]

### 7.8.9. 老ハード介護問題

---

- 電源修理
- SCSI HDD確保
- ブラウン管を知らない子どもたち
- 3ボタンマウスを知らない子どもたち [128]
- 液晶接続問題 [63]
- ハード保守
- 詳しい人がいなくなる

---

「それなら、なぜ、先祖代々の墓を守って山間に生活したがる農民を、ダム工事のためにおいだすんだね？それぞれの人間にそれぞれの幸福がある。それなら、なぜ、彼らを一般化の中に投げ込むんだ。君はなぜ、そういう役割をひきうけるんだ？」 [6]

---

## 7.9. 脚注

---

Luna関連コメントは筒井さんに紹介してもらったものです。

- [1] カフカ式練習帳 [http://www.bunshun.co.jp/cgi-bin/book\\_db/book\\_detail.cgi?isbn=9784163813301](http://www.bunshun.co.jp/cgi-bin/book_db/book_detail.cgi?isbn=9784163813301)
- [2] The Angel Levine: <http://www.blackmovie-jp.com/movie/angellevine.php?act=a#.Uei7I9f75z0>
- [3] Look Back in Anger: [http://en.wikipedia.org/wiki/Look\\_Back\\_in\\_Anger\\_%28song%29](http://en.wikipedia.org/wiki/Look_Back_in_Anger_%28song%29)
- [4] バーナード・マラマッドに関する研究 <http://www.ishikawa-nct.ac.jp/lab/G/koguma/www/ehp/suzukihp.pdf>
- [5] Be My Wife: [http://en.wikipedia.org/wiki/Be\\_My\\_Wife](http://en.wikipedia.org/wiki/Be_My_Wife)
- [6] 高橋和巳『散華』論 -生活人としての大家- ,東口昌央,1988, <http://ir.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/dspace/handle/123456789/15270>
- [7] <https://twitter.com/ebijun/status/231983148118970368>
- [8](1,2) NetBSD/luna68kブートローダー実装作業日記,2013/1/4 <http://togetter.com/li/433650>
- [9] NetBSDブース @ 関西オープンソース 2011,2011/11/13 <http://togetter.com/li/213724>
- [10](1,2,3) OpenBSD/luna88k on LUNA-88K2 <http://www.nk-home.net/~aoyama/osc2013nagoya/OpenBSD-luna88k.pdf>
- [11] トラッカー台分? <http://www.jp.netbsd.org/ja/JP/ml/junk-ja/201301/msg00005.html>
- [12] というわけで <https://twitter.com/tsutsui/status/357219819289985024/photo/1>
- [13](1,2) 展示マシン紹介(3) <http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2011kyoto/>
- [14](1,2) Yahoo!知恵袋 [http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q1132299146](http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1132299146) まだ動いていたのか！人々に勇気を与えた質問。
- [15] GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/award/describe/15097> … 価格にマルが一つ足りない

- [16](1,2) 「マルチRISCワークステーションLUNA - 88K2 - 33MHz MC88100 CPUを最大4個搭載したマルチRISCワークステーションについて」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902066730130379](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902066730130379) … これも1992年12月でさっきのと同じだから同時進行だったのかな
- [17] MC88110とは <http://en.wikipedia.org/wiki/MC88110> "... the MC88110 was ultimately unsuccessful and was used in few systems." 諸行無常
- [18] 「MC88110を搭載したワークステーションのハードウェア - 64bits,Superscalerを採用したMC88110 CPUを搭載したワークステーションのハードウェアについて」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902068908677809](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902068908677809) … 幻のLUNA88K3計画なのだろうか
- [19] 「LUNA(デスクトップWS)のハードウェア 従来機に比べて小形化,低価格化を実現したハードウェアについて」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902088071486407](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902088071486407)
- [20] 「マルチプロセッサワークステーションのハードウェア - RISCマルチプロセッサのワークステーションへのインプリメンテーション技術について」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902066853173587](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902066853173587) 実はLUNA88Kの設計のほうがLUNA-IIより先なんですよね
- [21](1,2) 「68040 を 搭 載 し た ワ ー ク ス テ ー シ ョ ン LUNA - II の ハ ー ド ウ ェ ア」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902048488142806](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902048488142806) … , Omron Tech 31巻 2号 91-97頁, 1991年06月
- [22] 古文書に見る現実逃避パワー <http://www.re.soum.co.jp/~fukaumi/ml/netbsd/200002/msg00122.html> …
- [23] 古文書に見る謎の痕跡 <http://www.re.soum.co.jp/~fukaumi/ml/netbsd/199806/msg00068.html>
- [24] なぜ山に登るのか <http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/kof2011/Why-enigmatic-machines.html>
- [25] OMRONワークステーション LUNA-II 電源ユニット修理記 <http://togetter.com/li/215988>
- [26] OMRONワークステーション LUNA-II 電源ユニット修理記 その2 <http://togetter.com/li/354562>
- [27](1,2) インストール方法 <http://www.jp.netbsd.org/ports/luna68k/install.html>
- [28](1,2) NetBSD/luna68k の起動ディスクの作り方メモ <https://gist.github.com/tsutsui/5196134> とかですが netboot の説明を isibootd(8) に合わせて更新するのをさぼっている (ブーメラン)
- [29] LUNA88K,オムロンにて発掘される！ <http://www.jp.netbsd.org/ja/JP/ml/port-mac68k-ja/201107/msg00011.html>
- [30] Luna88k 起 動 動 画 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/353469599871799296](https://twitter.com/ao_kenji/status/353469599871799296) [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/353476705521905664](https://twitter.com/ao_kenji/status/353476705521905664)
- [31](1,2) "NetBSD/m68k will never die!" <http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2011kyoto/NetBSD-m68k-will-never-die.html>
- [32] OSC2012京都NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/350035>
- [33] OSC2013徳島 NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/468577>
- [34] OMRONワークステーションLUNA 工作日記 <http://togetter.com/li/535307>
- [35] コミットメッセージ <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2011/07/16/msg024675.html>
- [36] Σプロジェクト <http://ja.wikipedia.org/wiki/Σプロジェクト>
- [37](1,2) [http://ja.wikipedia.org/wiki/Luna\\_\(ワークステーション\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/Luna_(ワークステーション))
- [38] NetBSD/luna68k on OMRON LUNA - Bootstrap [http://www.youtube.com/watch?v=c1\\_e-A9Osr0](http://www.youtube.com/watch?v=c1_e-A9Osr0)
- [39] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb (final) [http://www.youtube.com/watch?v=djbEw0G\\_LMI](http://www.youtube.com/watch?v=djbEw0G_LMI) 2013/5/24
- [40] mlterm-fb demonstration on NetBSD/luna68k (revised) <http://www.youtube.com/watch?v=BP8AlceWgxA> 2013/5/18
- [41] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb (take 4) [http://www.youtube.com/watch?v=yKKT\\_Z1P9Xo](http://www.youtube.com/watch?v=yKKT_Z1P9Xo) 2013/05/04
- [42] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb (take 3) <http://www.youtube.com/watch?v=Cl1CaO5scHY> 2013/05/01
- [43] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb (take 2) <http://www.youtube.com/watch?v=8sC5XpK-Hxs> 2013/04/29
- [44] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb <http://www.youtube.com/watch?v=nzD0A279mcg> 2013/04/27

- [45] NetBSD/luna68k on OMRON LUNA - Start X.Org <http://www.youtube.com/watch?v=NRh60c420Mc> 2011/07/30
- [46] mlterm-fb demonstration on NetBSD/luna68k wsfb console <http://www.youtube.com/watch?v=jHU876RexCo> 2013/04/25
- [47] Σワークステーション(SX - 9100)の概要 <http://jglobal.jst.go.jp/public/20090422/200902068890346915> 1987/9/30  
Omron Tech p.207-213
- [48] OpenBSD/luna88k on OMRON LUNA-88K2 - bootstrap screen <http://www.youtube.com/watch?v=btwiiZw3B2s> 2013/07/06
- [49] OpenBSD/luna88k on OMRON LUNA-88K2 - starting X.org [http://www.youtube.com/watch?v=\\_EUspUD0Qw](http://www.youtube.com/watch?v=_EUspUD0Qw) 2013/07/06
- [50] オムロンのイントラネットの歴史 <http://www.masuda.org/intra/rekisi.html>
- [51] 【IT】日本のITの歴史—SONY『NEWS』の戦略(3) (1989-03-20 <http://www.miraikeikaku-shimbun.com/article/13282000.html>)
- [52] さっぽろコンピュータ博物館 <http://www.sec.or.jp/electec/museum/>
- [53] 歴史的コンピュータとソフトウェアプロジェクトに関する昔話(社外公開版) <http://katsu.watanabe.name/doc/comphist/>
- [54] SEA Mail Vol.1 No.1 [http://www.sea.jp/office/seamail/1986/1986\\_1\\_honan.pdf](http://www.sea.jp/office/seamail/1986/1986_1_honan.pdf)
- [55] NetBSDこの20年 <http://www.slideshare.net/tsutsui/osc2013tokushima-net-bsd20th>
- [56] 名古屋\*BSDユーザグループ(NBUG)2013/2月例会の記録 <http://togetter.com/li/456972>
- [57] OSC2013名古屋 NBUG&NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/522396>
- [58] NetBSD/luna68k 近況 <http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2012kyoto/NetBSD-luna68k-updates.html>
- [59] LUNAシールとフロッピー <http://movapic.com/pic/2013062214270151c535a5bd627>
- [60] LUNAペンセットと本 <https://twitter.com/tsutsui/status/135565130372104192>
- [61] UNIXワークステーションがわかる本(LUNAの本シリーズ) <http://www.amazon.co.jp/dp/4526029963>
- [62] いけない!ルナ先生 全5巻 [http://www.comicpark.net/readcomic/index.asp?content\\_id=COMC\\_AKC01155\\_SET](http://www.comicpark.net/readcomic/index.asp?content_id=COMC_AKC01155_SET)
- [63] PS2Linux Kit(Sync on Green)対応モニター一覧 <http://www.ps2linux.dev.jp/monitor.html>
- [64] かやまさん [https://www.facebook.com/jun.ebihara.18/posts/692735874076690?comment\\_id=30643585&offset=0&total\\_comments=1](https://www.facebook.com/jun.ebihara.18/posts/692735874076690?comment_id=30643585&offset=0&total_comments=1)
- [65] LUNAのカタログ Holonic Workstation LUNA[マニュアル・データシート類] <http://www.h2.dion.ne.jp/~dogs/collect/ds/luna.html>
- [66] ワークステーション操作入門 [http://www.kumamotokokufu-h.ed.jp/kokufu/comp/ws\\_tx1.html](http://www.kumamotokokufu-h.ed.jp/kokufu/comp/ws_tx1.html)
- [67] "It's never too late. When it's over, you get to tell the story" -- Garrison Keillor <http://www.cs.cmu.edu/afs/cs/project/mach/public/www/mach.html>
- [68] ピ ッ ツ バ ー グ 便 利 帳 サ ー バ ー の 歴 史 <http://komachi.sp.cs.cmu.edu/benricho/Komachi#.E3.82.B5.E3.83.BC.E3.83.90.E3.83.BC.E3.81.AE.E6.AD.B4.E5.8F.B2> 「1993年、オムロンのワークステーション業務撤退に伴い藤田さんと作業マシン達に突然の引き上げ命令が下りました。」
- [69] OpenBSD/luna88k 「network bootでIPアドレス取得」(2002/06/05)の頃のページ <http://t.co/VRxXgWWpTO>
- [70] 同じく「Miod Vallatさんに見つかる」(2004/03/21)の頃のページ <http://t.co/3QmzWm7reR>
- [71] OMRON Luna88Kについてのまとめ <http://t.co/rt5kUB74VG> 作者も忘れてる説
- [72] <http://www.cs.cmu.edu/afs/cs/project/mach/public/src/mkernel/src/kernel/luna88k/>
- [73](1,2) LUNA-II スペック表というサーベイ漏れ <https://t.co/KV9f6XS8bU>
- [74] ユニマガのluna88k発売の記事。 <https://twitter.com/a1kawa/status/360427576717611008>
- [75] LUNA-88K2 の製品仕様 プロセッサ以外は同じという見方もある <https://twitter.com/tsutsui/status/361463750982778880/photo/1>



- [76] もうひとつあった。2011年OSC京都 わざわざ2日目に持ってきていただいた超重要LUNAグッズ ペンケースとバンダナ <http://movapic.com/ebijun/pic/3812352> たしか、来場者の方の奥様の所有で、「持って行くのはいいけれど絶対に持って返ってくるように」と申し渡された、というお話だったような
- [77] 名は体を表す <http://ameblo.jp/hirokun39/entry-11345138649.html>
- [78] LUNA2010 Good Design Award <http://www.g-mark.org/award/describe/20641>
- [79] Omron spins four 88110s at Data General Aviiion line <http://connection.ebscohost.com/c/articles/9402180800/omron-spins-four-88110s-data-general-aviion-line>
- [80] システム診断プログラムの開発 LUNA2010用システム診断プログラムの開発について <http://jgglobal.jst.go.jp/public/20090422/200902172571690192>
- [81] mikutterの薄い本製作委員会 <http://home1.tigers-net.com/brsywe/mikutter.html>
- [82] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/360775880198459394/photo/1](https://twitter.com/ao_kenji/status/360775880198459394/photo/1)
- [83] Wikipediaの「LUNA-Σ」という呼称は果てしなく要出典という感想。 <https://twitter.com/tsutsui/status/360430992638492672>
- [84](1,2) "RTC" の stamp のオフセットをそれぞれ x4してやればいいような気がします <https://twitter.com/tsutsui/status/360418015600312320>
- [85] まずはDIP SW操作してみて変わるかどうか <https://twitter.com/tsutsui/status/360416804876722177>
- [86] マンガソフトウェア革命—Σプロジェクトの全貌 <http://www.amazon.co.jp/dp/4339022543>
- [87] 仁和寺 <http://randen.keifuku.co.jp/map/17.html>
- [88] <https://gist.github.com/tsutsui/6203477> OMRON LUNA-II および LUNA-88K の電源ユニットに使用されている要交換な四級塩電解コンデンサのリスト。
- [89] <http://marc.info/?l=openbsd-cvs&m=137617369920936>
- [90] miod@openbsd.org さんのOpenBSD/luna88k resource page <http://gentiane.org/~miod/software/openbsd/luna88k/>
- [91] <https://twitter.com/tsutsui/status/365121355001237505>
- [92] <http://nrx.netbsd.org/xref/src/doc/BRANCHES?r=1.330#623>
- [93] <https://twitter.com/tsutsui/status/365121528309891072>
- [94] <http://nrx.netbsd.org/xref/src/doc/BRANCHES?r=1.330#1611>
- [95] <https://twitter.com/tsutsui/status/365121928526184448>
- [96] <https://twitter.com/tsutsui/status/365122443951616001>
- [97] <https://twitter.com/tsutsui/status/365122859305140225>
- [98] <https://twitter.com/tsutsui/status/365123833402896384>
- [99] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/366154076565680128/photo/1](https://twitter.com/ao_kenji/status/366154076565680128/photo/1)
- [100] 20年前のコンピュータで最新のOSを動かす意味とは？ <http://notredameningen.kyo2.jp/e422862.html>
- [101] 88Kと88K2のグラフィックボードを交換して調査。 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/366066990093303809](https://twitter.com/ao_kenji/status/366066990093303809)
- [102](1,2) 専用のゲートアレイでしょうか。 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/366056571609939968](https://twitter.com/ao_kenji/status/366056571609939968)
- [103] PWB7102 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/366009479285854208](https://twitter.com/ao_kenji/status/366009479285854208)
- [104] UniOS-Machを参考に 1bpp/4bpp/8bpp を自前で識別するようにした。 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/368294458996948992](https://twitter.com/ao_kenji/status/368294458996948992)
- [105] Luna88k マニュアル [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/395857381818519552](https://twitter.com/ao_kenji/status/395857381818519552)
- [106] Luna88k FaceBook ページ <https://www.facebook.com/Luna88k>
- [107] OpenBSD/luna88k standalone bootloader by @MiodVallat works fine on my LUNA-88K2! [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/395551245563219969](https://twitter.com/ao_kenji/status/395551245563219969)

LUNA-88KのPC-98拡張バス(Cバス)についてのメモ <https://gist.github.com/ao-kenji/7843096>

- [108] [109] OpenBSD/luna88k 近況報告 NBUG 2013/9 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/openbsdluna88k-news-at-nbug-meeting-2013](http://www.slideshare.net/ao_kenji/openbsdluna88k-news-at-nbug-meeting-2013)
- [110] OpenBSD/luna88k近況報告 NBUG 2013/12 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201312](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201312)
- [111] test tweet from OpenBSD/luna88k [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/482151248502591488](https://twitter.com/ao_kenji/status/482151248502591488)
- [112] OMRONワークステーションLUNA 工作日記 <http://togetter.com/li/535307>
- [113] OMRONワークステーション LUNA-II 電源ユニット修理記 その3 <http://togetter.com/li/548989>
- [114] 「いけない！ルナ先生」実写化！6人のアイドルが先生に <http://natalie.mu/comic/news/105048>
- [115] <http://www.cinemart.co.jp/ikenai-run/>
- [116] native bootloader update for NetBSD/luna68k <http://mail-index.netbsd.org/port-luna68k/2014/01/11/msg000038.html>
- [117](1,2) 関西オープンソース2013NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/587422>
- [118] オープンソースカンファレンス2013島根 NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/553529>
- [119] OSC2013名古屋 NBUG&NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/522396>
- [120] オープンソースカンファレンス2013関西@京都 NetBSDブース展示記録 <http://togetter.com/li/542885>
- [121] 泣いて喜びそうなもの発掘 [https://twitter.com/goinkyo\\_hacker/status/482528142930620416](https://twitter.com/goinkyo_hacker/status/482528142930620416)
- [122] OpenBSD/luna88kのご紹介 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/osc2014-nagoya](http://www.slideshare.net/ao_kenji/osc2014-nagoya)
- [123] OpenBSD/luna88kのご紹介パンフレット <http://www.nk-home.net/~aoyama/osc2014nagoya/obsd-luna88k-leaflet.pdf>
- [124] オープンソースカンファレンス2014 Nagoya&NBUG7月例会の記録 <http://togetter.com/li/688742>
- [125] OpenBSD/luna88k 2014/4近況報告 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201404](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201404)
- [126] Setup Bt458 color palette to support ANSI color text on 8bpp framebuffer. <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2014/07/13/msg056309.html>
- [127] 88K2電源交換 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/485393846314872832](https://twitter.com/ao_kenji/status/485393846314872832)
- [128] どうしてこのマウスにはボタンが3つもあるのか [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/485275421768814592](https://twitter.com/ao_kenji/status/485275421768814592)
- [129] native bootloader update for NetBSD/luna68k <http://mail-index.netbsd.org/port-luna68k/2014/01/11/msg000038.html>
- [130] 泣いて喜びそうなバンダナ [https://twitter.com/goinkyo\\_hacker/status/482528142930620416/photo/1](https://twitter.com/goinkyo_hacker/status/482528142930620416/photo/1)
- [131] LUNA's keyboard driver changes from OpenBSD/luna88k <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2014/07/20/msg056548.html>
- [132] luna68k 4/8bpp framebuffer as a monochrome server <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2014/07/21/msg056590.html>
- [133] LUNAホッチキス [https://twitter.com/goinkyo\\_hacker/status/497392417478156288/photo/1](https://twitter.com/goinkyo_hacker/status/497392417478156288/photo/1)
- [134](1,2) OSC2014京都NetBSDブース展示への道 <http://togetter.com/li/703494>
- [135] OSC2014 Kansai@Kyoto NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/700617>
- [136] yaft×Laan [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201411-yaft-42177561](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201411-yaft-42177561)
- [137] KOFにおけるLUNA展示 <https://speakerdeck.com/tsutsui/kof-and-luna-at-netbsd-booth>
- [138](1,2) PC-9801-86 sound board on LUNA [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201412](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201412)
- [139] OpenBSD/luna88k用の86音源ボードドライバを整理してcommit。 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/549203137001553921](https://twitter.com/ao_kenji/status/549203137001553921)
- [140] yaft×LUNA [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201411-yaft-42177561](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201411-yaft-42177561)
- [141] LUNA-88K2はPCカードの夢を見るか [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201502](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201502)

- [142] LUNA framebuffer mod for LCDs without Sync on Green support <http://mail-index.netbsd.org/port-luna68k/2014/08/13/msg000043.html>
- [143] 関西オープンソース2014 NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/742243>
- [144] Lunaトレーナー <http://movapic.com/ebijun/pic/5232493>
- [145] LUNA-88K2はPCカードの夢を見るか <補遺> [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201503](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201503)
- [146](1,2) C-bus拡張ボード on LUNA-88K2 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/osc2015-nagoya/](http://www.slideshare.net/ao_kenji/osc2015-nagoya/)
- [147] 伝説のHコメディ「Oh! 透明人間」×「いけない! ルナ先生」コラボ読切で復活 <http://natalie.mu/comic/news/152961>
- [148] INSTALLATION NOTES for OpenBSD 5.7 <http://ftp.openbsd.org/pub/OpenBSD/5.7/luna88k/INSTALL.luna88k>
- [149] LUNAは、SX-9100以降の愛称なのですが、その前のSX-8700の時代は、スーパーメイトという愛称でした。 <https://www.facebook.com/events/1062729970410808/permalink/1153405211343283/>
- [150] このマシンがスーパーメイトという商品名で <http://www.tomo.gr.jp/root/new/root82.html>
- [151] LUNA88Kに付属しているxzoomというデモの画像です。 <http://moon.hanya-n.org/comp/luna/luna88k.html>
- [152] OpenBSD/luna88k移植物語 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/a-story-of-porting-openbsdluna88k](http://www.slideshare.net/ao_kenji/a-story-of-porting-openbsdluna88k)
- [153] FM音源の調べ on LUNA [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201510](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201510)
- [154] PSG音源の調べ <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2016-kyoto-psg-tunes-on-netbsd-luna68k>
- [155] LUNAのPSGというか647180実装 <https://twitter.com/tsutsui/status/759793635898515456>
- [156] 「できません」と云うなーオムロン創業者 立石一真 <https://www.amazon.co.jp/dp/4478006334/>
- [157] <http://www.ustream.tv/recorded/90107872>
- [158] <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2016-hiroshima-psg-tunes-on-netbsd-luna68k-again>
- [159] <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2016-kyoto-psg-tunes-on-netbsd-luna68k>
- [160] <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2014-kansai-at-kyoto-netbsd-luna68k-report>
- [161] [http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/kof2013/NetBSD\\_bootloader.html](http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/kof2013/NetBSD_bootloader.html)
- [162] [http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2013kyoto/NetBSD-luna68k\\_mlterm-fb\\_Twitter.html](http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2013kyoto/NetBSD-luna68k_mlterm-fb_Twitter.html)
- [163] <https://twitter.com/tsutsui/status/991191717050118144>
- [164] <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2016-kyoto-psg-tunes-on-netbsd-luna68k>
- [165] [https://www.slideshare.net/ao\\_kenji/osc2019-nagoya](https://www.slideshare.net/ao_kenji/osc2019-nagoya)
- [166] <http://www.pastel-flower.jp/~isaki/nono/>
- [167](1,2) <https://twitter.com/isaki68k/status/1261646479816404992>
- [168] <https://twitter.com/tsutsui/status/1262429647364427783>
- [169] <https://twitter.com/tsutsui/status/1262430960718508033>
- [170] <https://twitter.com/isaki68k/status/1262375954883772418>
- [171] <https://twitter.com/isaki68k/status/1262949576362930180>
- [172] <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AB%8B%E7%9F%B3%E7%BE%A9%E9%9B%84>
- [173] <https://twitter.com/isaki68k/status/1317441952107827201>
- [174] [http://wiki.netbsd.org/ports/luna68k/luna68k\\_info/#behindthescene](http://wiki.netbsd.org/ports/luna68k/luna68k_info/#behindthescene)
- [175] <https://twitter.com/isaki68k/status/1322807313741148160>
- [176] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1324952816884985857](https://twitter.com/ao_kenji/status/1324952816884985857)
- [177] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1324990436390268928](https://twitter.com/ao_kenji/status/1324990436390268928)

- [178] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1330473862686003202](https://twitter.com/ao_kenji/status/1330473862686003202)
- [179] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1330504720516063235](https://twitter.com/ao_kenji/status/1330504720516063235)
- [180] <https://twitter.com/isaki68k/status/1330124516333412361>
- [180] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1330019763775365120](https://twitter.com/ao_kenji/status/1330019763775365120)
- [181](1,2) <https://twitter.com/isaki68k/status/1406522668321366022>
- [182] Here come LUNA-88K emulators! [https://www.slideshare.net/ao\\_kenji/osc2021-nagoya-248742459](https://www.slideshare.net/ao_kenji/osc2021-nagoya-248742459)
- [183] <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2022/06/10/msg139155.html>
- [184] <https://twitter.com/tsutsui/status/1551955355101691904>
- [185] <https://twitter.com/isaki68k/status/1551020192037097473>
- [186] <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2022/09/25/msg141239.html>
- [187] <https://twitter.com/isaki68k/status/1585612735932674049>
- [188] <https://twitter.com/isaki68k/status/1618215457722617856>
- [189] <https://twitter.com/isaki68k/status/1624651445684563968>
- [190] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1625846099394330625](https://twitter.com/ao_kenji/status/1625846099394330625)
- [191] <http://www.pastel-flower.jp/~isaki/NetBSD/osc23hi/>

### 7.9.1. このページ

- <https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/Luna.rst> にあります。
- /usr/pkgsrc/textproc/py-sphinx をインストールして、make htmlとか。

## 8. nono のバージョンアップ

pkgsrc/emulators/nono 以下を更新して、nonoのバージョンアップをしてみます。

### 8.1. バージョン指定

Makefile 内のバージョンをあげます。

```
DISTNAME= nono-0.6.2
```

### 8.2. チェックサム作成

```
% make makesum
-rw-r--r-- 1 root wheel 1163 Aug 17 20:25 Makefile
-rw-r--r-- 1 root wheel 558 Aug 17 20:25 distinfo
```

make package して動作を確認します。

### 8.3. pkglint

pkglint をして正しいか確認します。

```
pkg_add pkglint
pkglint .
% pkglint .
Looks fine.
```

### 8.4. commit



バージョンアップ時のアップデート内容をしらべておきます。nonoの場合は、changes.htmlに日英併記された更新内容があるので、英語部分だけを変更点とします。更新ログの一行目は「パッケージ名: Update to バージョン」の形式にします。

```
http://www.pastel-flower.jp/~isaki/nono/doc/changes.html
```

---

```
cvs commit
```

```
nono: update to 0.6.2 .
```

```
0.6.2 (2023/08/16)
```

```
m88k(Fix): "Implement that hardwired BATCs are enable even if the address translation is disabled on m88200."
m88k(Update): "Improve m88200 BATC/PATC search performance."
vm(Fix): "Negate PEDEC interrupts when resetting."
vm(Update): "Implement multicast filter on Nereid and Lance."
vm(Update): "Reorganize host file handling on LUNA-I/LUNA-88K internal PROM. It obsoletes --load-only option."
build(Update): "Search wxWidgets 3.2, 3.0 in order."
```

---

## 8.5. doc をcommit します

doc をcommit します。コメントは、「doc:Updated カテゴリー/パッケージ名 to バージョン」に設定します。

---

```
doc: Updated emulators/nono to 0.6.2
```

```
cvs diff -u CHANGES-2023
```

```
Updated emulators/nono to 0.6.2 [jun 2023-08-17]
```

---

## 9. chatgpt を使ってみる

pkgsrc/misc/chatgpt-shell-cli をインストールして、chatgptを使ってみます。

### 9.1. インストール

---

```
# cd /usr/pkgsrc/misc/chatgpt-shell-cli
# make package-install
```

---

### 9.2. 使ってみる

---

```
% bash
% chatgpt
You need to set your OPENAI_KEY to use this script
You can set it temporarily by running this on your terminal: export OPENAI_KEY=YOUR_KEY_HERE
環境変数 OPENAI_KEYにAPIキーを設定します。
% chatgpt
Welcome to chatgpt. You can quit with 'exit' or 'q'.
```

```
Enter a prompt:
what is NetBSD
```

```
chatgpt NetBSD is a free and open-source Unix-like operating system that is known for its portability across various computing architectures, including some less common ones. It was initially released in 1993 and has since become a popular choice for embedded systems, servers, and desktops. NetBSD emphasizes portability, performance, and security, and includes a number of features such as support for numerous file systems, virtual memory, and network protocols. It is maintained by a large community of developers and is available under a permissive open-source license.
```

---

## 10. sphinxのドキュメントをlatex経由でpdfに変換する

## 10.1. sphinxのインストール

---

```
# pkg_add py38-sphinx
# ln -s /usr/pkg/bin/sphinx-build-3.8 /usr/pkg/bin/sphinx-build
# which sphinx-build
/usr/pkg/bin/sphinx-build
```

---

## 10.2. sphinxに必要なlatex環境インストール

---

```
# pkg_add dvipdfmx
# pkg_add latexmk
# pkg_add tex-platex
# pkg_add texlive-collection-langjapanese
# pkg_add texlive-collection-fontutils
# pkg_add tex-cmap
# pkg_add tex-fancyhdr
# pkg_add tex-titlesec
# pkg_add tex-tabulary
# pkg_add tex-varwidth
# pkg_add tex-framed
# pkg_add tex-float
# pkg_add tex-wrapfig
# pkg_add tex-parskip
# pkg_add tex-upquote
# pkg_add tex-capt-of
# pkg_add tex-needspace
# pkg_add tex-kvsetkeys
# pkg_add tex-geometry
# pkg_add tex-hyperref
# pkg_add py-sphinxcontrib-svg2pdfconverter
# pkg_add tex-tex-gyre
# pkg_add py-blockdiag
```

---

## 10.3. dvipdfmx設定変更

---

```
# cd /usr/pkg/etc/texmf/dvipdfm
diff -u -r1.1 dvipdfmx.cfg
--- dvipdfmx.cfg 2021/02/03 08:55:35 1.1
+++ dvipdfmx.cfg 2021/02/03 08:56:21
@@ -215,7 +215,7 @@
%f psfonts.map

%% Put additional fontmap files here (usually for Type0 fonts)
-%f cid-x.map
+f cid-x.map

% the following file is generated by updmap(-sys) from the
% KanjiMap entries in the updmap.cfg file.
```

---

## 10.4. sphinxでlatexpdf起動

---

```
% gmake latexpdf
```

---

## 10.5. uplatexを使う

---

「jarticle, jreport, jbook を使用していて！LaTeX Error: Encoding scheme `JY1' unknown. と表示される場合は、それぞれ ujarticle, ujreport, ujbook という upLaTeX で使用するクラスファイルに変更します。」 [1]

---

```
--- perth.tex.org 2022-04-28 13:47:29.834982187 +0900
+++ perth.tex 2022-04-28 13:47:50.156470962 +0900
@@ -1,6 +1,6 @@
%% Generated by Sphinx.
\def\sphinxdocclass[jsbook]
```

```
-\documentclass[a4paper,10pt,dvipdfmx]{sphinxmanual}
+\documentclass[a4paper,10pt,dvipdfmx,uplatex]{sphinxmanual}
\ifdefined\pdfpxdimen
\let\sphinxpxdimen\pdfpxdimen\else\newdimen\sphinxpxdimen
\fi\sphinxpxdimen=.75bp\relax
```

[1] <https://texwiki.texjp.org/?LaTeXのエラーメッセージ>

## 10.6. pip でのモジュール追加

pip は `/usr/pkg/bin/pip3.10` にあります。pip+バージョンです。sphinxcontribに追加する場合の例です。

```
% pip3.10 install sphinxcontrib-blockdiag
% pip3.10 install sphinxcontrib-seqdiag
% pip3.10 install sphinxcontrib-actdiag
% pip3.10 install sphinxcontrib-nwdiag
```

## 11. BSDライセンス

BSDは、Berkeley Software Distributionの略称です。

1. <http://ja.wikipedia.org/wiki/BSD>
2. `/usr/src/share/misc/bsd-family-tree`

### 11.1. BSDライセンスとNetBSD

NetBSDのソースコードは、自由に配布したり売ることができます。NetBSDのソースコードから作ったバイナリを売ることができます。バイナリのソースコードを公開する義務はありません。

#### 11.2. 2 条項 BSD ライセンス

<http://www.jp.NetBSD.org/ja/about/redistribution.html>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

#### 11.3. 2条項BSDライセンス(訳)

<http://www.jp.NetBSD.org/ja/about/redistribution.html>

ソースおよびバイナリー形式の再配布および使用を、変更の有無にかかわらず、以下の条件を満たす場合に認める:

1. ソースコードの再配布においては、上記の著作権表示、この条件の列挙、下記の注意書きを残すこと。
2. バイナリー形式の再配布においては、上記の著作権表示、この条件の列挙、下記の注意書きを、配布物に附属した文書および/または他のものに再現させること。

このライセンスの前には著作権表示そのものが付きます。この後には注意書きが付き、このソフトウェアに関して問題が生じて、作者は責任を負わないと述べます。

## 12. NetBSD

NetBSDは1個のソースツリーをコンパイルすることで実行イメージを作ることができます。

### 12.1. ソースコードから作る

tar 形式のファイルをダウンロード & 展開し、`build.sh`というスクリプトでコンパイルすると、NetBSDの実行イ

メッセージができます。

このtarファイルの中には、これまでNetBSDがサポートしてきた50種類以上のハードウェアと、無数の周辺機器の仕様が含まれています。しかもコンパイルすると、実際にハードウェア上でNetBSDが動作します。

NetBSDのコンパイルはNetBSDでも、NetBSDではないOSでも、どのハードウェアでも、ほぼ同じ手順でコンパイルできます。（できるはずです）

---

```
# ftp ftp://ftp.NetBSD.org/pub/NetBSD/NetBSD-current/tar_files/src.tar.gz
# tar xzvf src.tar.gz
# ./build.sh -U -m i386 release .... -U:root以外で作成,この場合i386向け
```

---

## 12.2. Xを含んだシステムを作る

---

```
# ftp ftp://ftp.NetBSD.org/pub/NetBSD/NetBSD-current/tar_files/xsrc.tar.gz
# tar xzvf xsrc.tar.gz
# cd src
# ./build.sh -u -U -m i386 -x -X ../xsrc release ... -u:更新,-xX Xも作る
```

---

## 12.3. CD-ROMイメージを作る

---

```
# ./build.sh -m i386 iso-image ... CD-ROMイメージ作成
```

---

# 13. pkgsrc - ソースコードからソフトウェアを作る

---

世界中にあるいろいろなプログラムをコンパイル・インストールする手順は、プログラムごとにまちまちです。世界中のプログラムを、すべて同じ手順でコンパイルして、インストールするためには、どのような枠組みがあればよいでしょうか？

ソースコードからプログラムをコンパイル・インストールする時、NetBSDでは主に、pkgsrcを利用します。pkgsrcでは、13000種類以上のプログラムについて、コンパイル手順を分野ごとにまとめて、収集しています。

pkgsrcの役割を挙げてみます。

1. 適切なサイトからソースコードをダウンロード展開する。
2. 適切なオプションをつけて、コンパイルする。
3. インストールする。
4. コンパイルした結果からパッケージを作る。
5. 他のマシンにパッケージをインストールする。

それではpkgsrcを実際に使ってみましょう。pkgsrc.tar.gzというファイルを展開して利用します。ここでは、すぐれたtwitterクライアントであるmikutterをインストールします。makeコマンドを実行すると、関連するソフトウェアをインストールします。

---

```
# cd /usr
# ftp://ftp.NetBSD.org/pub/NetBSD/NetBSD-current/tar_files/pkgsrc.tar.gz
# tar xzvf pkgsrc.tar.gz
(cd /usr/pkgsrc/bootstrap;./bootstrap) .. NetBSD以外のOSで実行する
# cd /usr/pkgsrc/net/mikutter
# make package-install
```

---

pkgsrc.tar.gz ファイルの中には、12000種類以上のソフトウェアをコンパイルし、インストールする方法が含まれています。l

---

## 13.1. gitをインストールしてみる

---

```
# cd /usr/pkgsrc/devel/git-base
# make install
# which git
/usr/pkg/bin/git
```

---

## 13.2. baserCMSをインストールしてみる

---

典型的なCMSは、この手順でインストールできます。



```
# cd /usr/pkgsrc/www/ap-php ... php54+apache
# make package-install .... 関連するソフトウェアが全部コンパイル・インストール
# vi /usr/pkg/etc/httpd/httpd.conf
LoadModule php5_module lib/httpd/mod_php5.so
AddHandler application/x-httpd-php .php

# cd /usr/pkgsrc/converters/php-mbstring
# make package-install

# vi /usr/pkg/etc/php.ini
extension=mbstring.so

baserCMSはMySQLをインストールしなくても利用できますが、利用する場合
# cd /usr/pkgsrc/databases/php-mysql ... php+mysqlインストール
# vi /usr/pkg/etc/php.ini
extension=mysql.so

# vi /usr/pkg/etc/httpd/httpd.conf
DirectoryIndex index.php index.html

# vi /etc/rc.conf
apache=YES
# cp /usr/pkg/share/examples/rc.d/apache/etc/rc.d/apache
# /etc/rc.d/apache start

basercms.netからzipファイルをダウンロード
# cd /usr/pkg/share/httpd/htdocs
# unzip basercms-2.1.2.zip
# chown -R www.www basercms
# http://localhost/basercms
管理者のアカウントとパスワードがメールで飛んでくる！！

pkgsrcを使う場合：
# cd /usr/pkgsrc/www/php-basercms
# make package-install
```

### 13.2.1. SSL設定

証明書のファイルを指定して、httpd.confのコメントを外して、apacheを再起動します。

```
/usr/pkg/etc/httpd/httpd-ssl.conf
SSLCertificateFile
SSLCertificateKeyFile
SSLCertificateChainFile

/usr/pkg/etc/httpd/httpd.conf
Include etc/httpd/httpd-ssl.conf ... コメントはずす
```

### 13.2.2. 日本語Wordpress

```
# cd /usr/pkgsrc/www/php-ja-wordpress
# make package-install
```

## 13.3. LibreOfficeを動かしてみる

LibreOfficeをインストールしてみましょう。

```
# cd /usr/pkgsrc/misc/libreoffice
# make package-install
: 9時間くらいかかります。
# which libreoffice
/usr/pkg/bin/libreoffice
```

## 13.4. IRCクライアントを動かしてみる

IRCクライアントとして hexchat をインストールします。

```
# cd /usr/pkgsrc/chat/hexchat
# make package-install
# hexchat
# サーバ選択画面で http://Libera.Chat 指定します。
# チャンネルに #netbsd を指定します。
# 設定→設定→インタフェース→外観→一般→フォントでフォント選んで、右端の表示が切れるのを直します。
```

## 13.5. aws/kubectl コマンド

AWS を操作するコマンドは net/py-awscli にあります。

```
# cd /usr/pkgsrc/net/py-awscli
# make package-install
# which aws
/usr/pkg/bin/aws
% aws
Note: AWS CLI version 2, the latest major version of the AWS CLI, is now stable and recommended for general use. For more
usage: aws [options] <command> <subcommand> [<subcommand> ...] [parameters]
```

kubectl は net/kubectl にあります。

```
# cd /usr/pkgsrc/net/kubectl
# make package-install
# which kubectl
/usr/pkg/bin/kubectl
% kubectl
kubectl controls the Kubernetes cluster manager.
```

Find more information at: <https://kubernetes.io/docs/reference/kubectl/overview/>

## 13.6. 依存しているパッケージを調べる

```
cd /usr/pkgsrc/pkgtools/revbump
make package-install
finddepends lang/rust .... rust に依存しているパッケージを調べる
```

## 13.7. インストールするソフトウェアのライセンスを意識する

あるソフトウェアのソースコードをどのように取り扱えばいいのかは、ソフトウェアに含まれるライセンスに書かれています。GNU や BSD や MIT や Apache など有名なライセンスもあれば、有名なライセンスを少しだけ入れ替えて、目的にあったライセンスに作り替えたものなど、まちまちです。pkgsrc では、pkgsrc に含まれるソフトウェアのライセンスを収集しています。実際に見てみましょう。

```
% cd /usr/pkgsrc/licenses ... ライセンス条項が集まっている
% ls |wc -l
228
% ls |head
2-clause-bsd
3proxy-0.5-license
CVS
acm-license
adobe-acrobat-license
adobe-flashsupport-license
amap-license
amaya-license
amazon-software-license
amiwm-license
:
```

特定のライセンスを持つソフトウェアのインストールを許可するかどうかは、/etc/mk.conf ファイルで定義します。星の数ほどあるソフトウェアのライセンスを受け入れるかどうかを、自分で決めることができます。

---

```
% grep ACCEPTABLE /etc/mk.conf |head
ACCEPTABLE_LICENSES+= ruby-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= xv-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= mplayer-codec-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= flash-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= adobe-acrobat-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= adobe-flashsupport-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= skype-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= lha-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= opera-eula
ACCEPTABLE_LICENSES+= lame-license
```

---

## 13.8. pkgsrc/packages

コンパイルしたパッケージは、pkgsrc/packages以下に生成されます。

---

```
% cd /usr/pkgsrc/packages/All/
% ls *.tgz |head
GConf-2.32.4nb7.tgz
GConf-ui-2.32.4nb11.tgz
ORBit2-2.14.19nb4.tgz
SDL-1.2.15nb7.tgz
SDL_mixer-1.2.12nb5.tgz
acroread9-jpnfont-9.1.tgz
:
# pkg_add gedit-2.30.4nb17.tgz ... インストール
# pkg_info          ... 一覧表示
# pkg_del gedit     ... 削除
```

---

## 13.9. pkgsrcに何か追加したい

---

```
# cd /usr/pkgsrc/pkgtools/url2pkg
# make package-install
# cd /usr/pkgsrc/ジャンル/名前
# url2pkg ダウンロードURL
Makefileとかができる
```

---

## 13.10. /usr/pkgsrc以下のメンテナンス

---

```
# cd /usr/pkgsrc/pkgtools/lintpkgsrc
# make package-install
# cd /usr/pkgsrc; cvs update -PAd ... /usr/pkgsrcを最新にする
# lintpkgsrc -pr .... 古くなったバイナリパッケージを消す
# lintpkgsrc -or .... 古くなったソースファイルを消す
# lintpkgsrc -mr .... ソースファイルのチェックサムが/usr/pkgsrcと合っているか
```

---

## 13.11. pkgsrcの更新

pkg\_chkを使う方法

---

```
# cd /usr/pkgsrc/pkgtools/pkg_chk
# make package-install
# cd /usr/pkgsrc
# cvs update -PAd
# pkg_chk -u .... 古いパッケージをコンパイルして更新する
```

---

pkg\_rolling-replaceを使う方法:依存関係に従って更新する

---

```
# cd /usr/pkgsrc/pkgtools/pkg_rolling-replace
# make package-install
# cd /usr/pkgsrc
# cvs update -PAd
# pkg_rolling-replace -u
```

---

## 13.12. ソースコードの更新

---

```
http://cvsweb.NetBSD.org/  
# cd src  
# cvs update -PAd          ... 最新に更新  
# cvs update -Pd -r netbsd-7 ... NetBSD7.0  
# cd pkgsrc  
# cvs update -PAd          ... 最新に更新  
# cvs update -Pd -r pkgsrc-2015Q3 ... 2015Q3に更新
```

---

## 13.13. バグレポート・追加差分

---

<http://www.NetBSD.org> → Support → Report a bug / Query bug database.

## 13.14. The Attic Museum

---

[https://wiki.netbsd.org/attic\\_museum](https://wiki.netbsd.org/attic_museum)

メンテナンスするのがつらくなってきた機能を削除します。yurexとか。

## 14. NetBSDとブース展示

---

日本NetBSDユーザーグループは、日本各地のオープンソースイベントに参加し、ブース出展とセミナー枠を利用して、NetBSD関連の情報をまとめています。オープンソースカンファレンスへの積極的な参加が認められ、2014年2月に「第1回OSCアワード」を受賞しています。

### 14.1. ブース出展

---

オープンソース関連のイベントでは、たいてい幅1.8m程度の長机と椅子二つ程度のブースを出展します。各地域でのイベント開催に合わせて、最新の活動成果を展示しようとしています。

### 14.2. セミナー枠

---

セミナー枠では、NetBSDに関する情報を紙にまとめて配布して、出版物でカバーできないような情報をイベント毎にまとめています。開催地にある電子部品店・コンピュータショップ・古書店・クラフトビールバー等、生活に必要な情報もまとめています。

### 14.3. シール関連まとめ

---

NetBSDブースでは、NetBSDのシールや、NetBSDがサポートしている・サポートしようとしている・みんなが好きで利用しているソフトウェアに関連したシールを持ち寄って配っています。OSの展示は単調になりがちで、OS開発やNetBSDについて通りすがりの数秒で理解してもらうのは不可能でしたが、シールなら数秒で何かわかってもらえます。かさばらないので、誰にも受け取ってもらいやすく、優れたデザインのシールに人気が出ると、ブース全体に活気が生まれて、思いもよらない進展を呼ぶことがあります。

みくったーシールずかん <http://together.com/li/566230>  
らこらこシール作成の記録 <http://together.com/li/554138>

## 15. オープンソースカンファレンスNetBSDブースこの一年

---

日本NetBSDユーザーグループは2023年もオープンソースカンファレンスを中心とするイベントに参加しています。2020/1のOSC2020大阪以降はZOOMでの参加になりましたが、2023/5のOSC2023名古屋以降ZOOMと展示を分けて開催するようになりました。NetBSD/aarch64からZOOM会議に参加する試みをしました。従来、ブースへの展示機材持ち込み&差し入れに代わり、事前にtwitter上でデモ動画等を投稿されたものをtogetherでまとめておいて紹介するようしてみました。引き続きセミナー時間での参加・発表を歓迎します。

### 15.1. NetBSD環境からのZOOM会議参加

---



NetBSDからZOOM等の会議に参加するためには、以下の手順をとります。

1. rustが動くようにする。
2. audioが動くようにする。
3. 内蔵カメラが動くようにする。
4. Firefox80以降をpkgsrcからインストールする
5. FirefoxのプラグインでLinuxまたはFreeBSDからインストールしているように見せかける。

## 15.2. これまでに参加した一覧

これまでに参加した一覧は以下のとおりです。

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/OSC/OSC100.csv>

このファイルはオープンソースカンファレンス過去来場者数一覧 <http://www.ospn.jp/visitors/> を元に作成しています。

## 15.3. どのくらい参加しているか

- 2023/7/29までにOSCは221回開催されています。
- JNUGは198回参加しています。90.0%→89.5% (前年比0.5%減)

## 15.4. OSCこの一年

### 15.4.1. 2022年まとめ

- 日本全国各地で12回オンライン開催+ODC開催
- 参加者: 103,646人 年間参加者3140人(2020年)→3115人(2021年)→2383人(2022年)
- 参加団体:6198グループ 年間参加グループ 152グループ(2020) → 133グループ(2021)→127グループ(2022)

## 15.5. togetherアクセスで見たNetBSDブース

togetherのアクセスログは以下の場所にあります。

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Event/together/togetherview/view.csv>

この一年のアクセス数集計は以下の通りです。

OSC2023 Fukuoka	<a href="https://together.com/li/2271317">https://together.com/li/2271317</a>	180
OSC2023 Niigata	<a href="https://together.com/li/2260623">https://together.com/li/2260623</a>	349
KOF2023 & OSC2023 Hiroshima	<a href="https://together.com/li/2254094">https://together.com/li/2254094</a>	873
OSC2023 Shimane	<a href="https://together.com/li/2247549">https://together.com/li/2247549</a>	541
OSC2023 Tokyo/Fall	<a href="https://together.com/li/2240886">https://together.com/li/2240886</a>	468
OSC2023 Online/Fall	<a href="https://together.com/li/2231931">https://together.com/li/2231931</a>	802
ODC2023	<a href="https://together.com/li/2208216">https://together.com/li/2208216</a>	731
OSC2023 Kyoto	<a href="https://together.com/li/2189221">https://together.com/li/2189221</a>	1259
OSC2023 Online/Hokkaido	<a href="https://together.com/li/2165257">https://together.com/li/2165257</a>	1077
OSC2023 Online/Nagoya	<a href="https://together.com/li/2142714">https://together.com/li/2142714</a>	1910
AsiaBSDCon2023 & OSC2023 Tokyo/Spring	<a href="https://together.com/li/2112458">https://together.com/li/2112458</a>	2139
OSC2023 Online/Spring	<a href="https://together.com/li/2094211">https://together.com/li/2094211</a>	1202
OSC2023 Online/Osaka	<a href="https://together.com/li/2060234">https://together.com/li/2060234</a>	2300

## 15.6. netbsd-advocacyメーリングリストへの報告

netbsd-advocacyメーリングリストへの参加報告をしました。

NetBSD machines at Open Source Conference <http://mail-index.netbsd.org/netbsd-advocacy/2020/01/28/msg000823.html>  
2020 Osaka

## 15.7. NetBSD観光ガイド作成

イベント毎に観光ガイドを作っています。セミナー参加者に配布しました。

一覧：

<https://github.com/ebijun/osc-demo/blob/master/README.md>

作成方法：

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/Paper/sphinx.rst>

195	OSC2023福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023fukuoka.pdf</a>
194	OSC2023新潟	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023niigata.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023niigata.pdf</a>
193	OSC2023広島	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023hiroshima.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023hiroshima.pdf</a>
192	KOF2023	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/KOF2023.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/KOF2023.pdf</a>
191	OSC2023島根	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023shimane.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023shimane.pdf</a>
190	OSC2023 東京 秋	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyofall.pdf</a>
189	ODC2023	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/ODC2023.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/ODC2023.pdf</a>
188	OSC2023京都	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023kyoto.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023kyoto.pdf</a>
187	OSC2023 北海 道	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023hokkaido.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023hokkaido.pdf</a>
186	OSC2023 名古 屋	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023nagoya.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023nagoya.pdf</a>
185	OSC2023 東京 春	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyospring.pdf</a>
184	OSC2023大阪	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023osaka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023osaka.pdf</a>
183	OSC2022福岡	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022fukuoka.pdf</a>
182	KOF2022	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/KOF2022.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/KOF2022.pdf</a>
181	OSC2022 東京 秋	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022tokyofall.pdf</a>
180	OSC2022広島	<a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022hiroshima.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022hiroshima.pdf</a>

## 15.8. 旅費

横浜からの旅費(=交通費+宿泊費),機材配送費,資料印刷費実費をまとめています。機材配送はヤマトの「スマホでかんたん発送」サービスを利用しています。

月	イベント	旅費	機材配送
2020/1	OSC大阪	26080	1469
2023/5	OSC名古屋	19300	0
2023/6	OSC北海道	45392	3891
2023/7	OSC京都	25004	3618
2023/10	OSC島根	56603	0
2023/11	KOF/OSC広島	59459	0
2023/11	OSC新潟	20958	0
2023/12	OSC福岡		0

## 15.9. 2023年

2023年もしばらくの間はオンライン開催が続きそうですが、現地グループが集まったハイブリッド開催もできるようになってきました。OSCは2023/1/28のOSC Online大阪(<https://event.ospn.jp/osc2023-online-osaka/>)からはじまります。セミナー/ミーティング時間での発表を歓迎します。

# 16. NetBSD AGM2023: Annual General Meeting, May 13, 21:00 UTC

<http://mail-index.netbsd.org/netbsd-announce/2023/05/05/msg000348.html>

America/Los\_Angeles Sat May 13 14:00:00 PDT 2023  
America/Denver Sat May 13 15:00:00 MDT 2023

America/Winnipeg Sat May 13 16:00:00 CDT 2023  
America/New\_York Sat May 13 17:00:00 EDT 2023  
Europe/London Sat May 13 22:00:00 BST 2023  
Europe/Berlin Sat May 13 23:00:00 CEST 2023  
Europe/Sofia Sun May 14 00:00:00 EEST 2023  
Europe/Moscow Sun May 14 00:00:00 MSK 2023  
Asia/Calcutta Sun May 14 02:30:00 IST 2023  
Asia/Bangkok Sun May 14 04:00:00 +07 2023  
Asia/Manila Sun May 14 05:00:00 PST 2023  
Asia/Tokyo Sun May 14 06:00:00 JST 2023  
Australia/Adelaide Sun May 14 06:30:00 ACST 2023  
Australia/Melbourne Sun May 14 07:00:00 AEST 2023  
Pacific/Auckland Sun May 14 09:00:00 NZST 2023

---

## 16.1. Introduction

---

<Cryo> please return to your seats. The show is about to begin.  
\* Cryo opens curtains  
<leot> Welcome to The NetBSD Foundation Annual General Meeting 2023!  
<leot> .  
<leot> I will be the voice bot^W^Wmoderator for this year.  
<leot> .  
<leot> In the agenda we will have reports from:  
<leot> - board  
<leot> - secteam  
<leot> - releng  
<leot> - finance-exec  
<leot> - admins  
<leot> - pkgsrc-pmc  
<leot> - pkgsrc-security  
<leot> - gnats  
<leot> .  
<leot> If there are any last-minute additions please /msg me!  
<leot> .  
<leot> Q&A will be at the end.  
<leot> .  
<leot> When Q&A begins please /msg me "I have question for <team>"  
<leot> or "I have question for <nick>" and I will give you voice  
<leot> when it is your turn.  
<leot> .

---

## 16.2. Board of Directors

---

<leot> It's Cryo turn with welcome and board presentation. Cryo, please go ahead!  
<Cryo> -  
<Cryo> - submitted by billc for board:  
<Cryo> -  
<Cryo> Hello, and welcome to the 21st Annual General Meeting of The  
<Cryo> NetBSD Foundation.  
<Cryo> -  
<Cryo> First off, I'd like to thank leot for volunteering to  
<Cryo> handle moderating and admins for doing the behind the scenes  
<Cryo> magic to make this event (and all our communication) possible.  
<Cryo> -  
<Cryo> We are on the cusp of releasing NetBSD-10 after over 3 years of  
<Cryo> development with innovative new features, improvements, and more  
<Cryo> bug fixes. Your commits are very much appreciated, as is your  
<Cryo> continued support of the foundation.  
<Cryo> -  
<Cryo> Now on to the report from the Board of Directors:  
<Cryo> -  
<Cryo> The NetBSD Foundation Board of Directors presents a consolidated  
<Cryo> list of the relevant and major actions that occurred since last  
<Cryo> AGM. Quite a few discussions, actions, and follow-ups crossed  
<Cryo> multiple meetings. Very few meetings resulted in not reaching  
<Cryo> quorum. Check our weekly meeting minutes in:  
<Cryo> localsrc/tnf/board/minutes for the latest on our progress.  
<Cryo> During this period, new director(s) were elected by the members

<Cryo> and officers were renewed or installed.  
<Cryo> ?  
<Cryo> We continued with our Bronze level sponsorship support of  
<Cryo> BSDcan, AsiaBSDcon, and EuroBSDcon to improve our representation  
<Cryo> at conferences and developer summits.  
<Cryo> -  
<Cryo> We participated in the Google Summer of Code for 2022 and  
<Cryo> attended the virtual Google Summer of Code Mentor Summit. We  
<Cryo> are currently participating in GSoC this year with 3 students!  
<Cryo> -  
<Cryo> o - Linux Syscalls: A Tale of Two Binaries  
<Cryo> o - Update Atheros Wi-Fi driver(s) for new Wi-Fi stack  
<Cryo> o - Port the Enlightenment desktop environment to NetBSD  
<Cryo> -  
<Cryo> Like last year, we have provided core with a pre-approved,  
<Cryo> reasonable budget, to spend as they see most fit without an  
<Cryo> additional confirmation step from us.  
<Cryo> -  
<Cryo> We continued to improve our interaction and relationships with  
<Cryo> vendors, as well as participating in industry PSIRT/CSIRT  
<Cryo> with commercial vendors and other open-source projects.  
<Cryo> -  
<Cryo> The funded contracts continued for:  
<Cryo> o - improvements in release engineering  
<Cryo> o - improvements in WiFi  
<Cryo> -  
<Cryo> We are halfway through a fundraising campaign, many many other  
<Cryo> minor things like approving developer expenditures and renewing  
<Cryo> our copyright.  
<Cryo> -  
<Cryo> The new voting system was successfully used for a board seat opening.  
<Cryo> -  
<Cryo> In memoriam, we are dedicating NetBSD-10 to the memory of  
<Cryo> Ryo Shimizu (ryo@), who has passed beyond the rim this year. We are  
<Cryo> eternally grateful for all of his contributions during the last 13  
<Cryo> years. We are honored to have had his support and friendship at  
<Cryo> AsiaBSDcon and beyond.  
<Cryo> -  
<Cryo> [pausing for a moment of silence]  
<Cryo> It has been an honor and pleasure to continue working with  
<Cryo> leot, khorben, mlelstv, nia, riastradh, and wiz to accomplish all  
<Cryo> that we have in this year.  
<Cryo> -  
<Cryo> .eof  
<Cryo> -

---

## 16.3. Socialmedia

---

<Cryo> - submitted **for** socialmedia by billc:  
<Cryo> -  
<Cryo> A non-scientific representation of Social Media Presence:  
<Cryo> -  
<Cryo> Twitter: (very active)  
<Cryo> **@netbsd** still has **10,000** followers  
<Cryo> **@pkgsrc** has **704** followers up **from 685**  
<Cryo> -  
<Cryo> -  
<Cryo> We have an account on the distributed social network  
<Cryo> ActivityPub ('**the fediverse**' or better known **as** Mastodon), where we  
<Cryo> have a small but dedicated fan base:  
<Cryo> -  
<Cryo> **@netbsd@mastodon.sdf.org** has **1077** followers up **from 230** (very active)  
<Cryo> -  
<Cryo> -  
<Cryo> Facebook: **3,200** up **from 2,000** members (**not** really active)  
<Cryo> -  
<Cryo> On IRC our numbers have stabilized. To help improve connectivity, we  
<Cryo> have a Matrix bridge to our IRC channel.  
<Cryo> -  
<Cryo> irc.libera.chat users: (very very active)



```
<Cryo> #NetBSD: 276 up from 228
<Cryo> #NetBSD-code: 59 still
<Cryo> #pkgsrc: 107 up from 102
<Cryo> -
<Cryo> .eof
```

---

## 16.4. Security-team

---

```
<Cryo> - submitted by billc for secteam:
<Cryo> -
<Cryo> This is a brief report for security-team.
<Cryo> -
<Cryo> Since last AGM, there have been 4 NetBSD Security Advisories:
<Cryo> -----
<Cryo> NetBSD-SA2022-004 procfs(5) missing permission checks
<Cryo> NetBSD-SA2022-003 Race condition in mail.local(8)
<Cryo> NetBSD-SA2022-002 Coredump credential reference count leak
<Cryo> NetBSD-SA2022-001 PPPoE discovery phase memory corruption
<Cryo> -
<Cryo> There have been numerous bug fixes applied to the tree, pulled
<Cryo> up to the NetBSD-10 branch, and in the NetBSD-9 releases.
<Cryo> -
<Cryo> NetBSD continues to be represented in a product security incident
<Cryo> response working group with other operating system vendors, as well
<Cryo> as a direct contact team with other BSD projects. This framework
<Cryo> allows us to better work with vendors requiring an embargoed and/or
<Cryo> coordinated release with other operating systems. We can begin
<Cryo> working on issues that affect NetBSD much faster, instead of only
<Cryo> notified after an embargo is lifted. We are expanding the number
<Cryo> of vendors as time goes on, as well as participating in FIRST.
<Cryo> -
<Cryo> This is teaching us quite a bit of where we needed to improve our
<Cryo> process, which is currently on-going.
<Cryo> -
<Cryo> Submitted respectfully on behalf of the security-officer(s),
<Cryo> the security-team, and the sirt team.
<Cryo> -
<Cryo> .eof
```

---

## 16.5. Release Engineering

---

```
<Cryo> - submitted by martin for releng:
<Cryo> -
<Cryo> We are:
<Cryo> abs agc bouyer he jdc martin msaitoh phil reed riz
<Cryo> sborrill snj
<Cryo> -
<Cryo> Since the last meeting, we have:
<Cryo> o - Released NetBSD 9.3
<Cryo> o - Processed hundreds of pullup requests.
<Cryo> o - Branched netbsd-10 but did not get close to the 10.0
<Cryo> release yet
<Cryo> o - Continued preparations to make the build cluster
<Cryo> independent from cvs
<Cryo> -
<Cryo> We had hoped to have a 10.0 release by now, but we
<Cryo> are running into a few serious blockers, especially
<Cryo> the new DRM/KMS code does not work well on many
<Cryo> machines yet. We would like to move to a newer version
<Cryo> of OpenSSL on that branch too, the version landed in
<Cryo> -current a few days ago and is being tested on various
<Cryo> architectures. Many thanks to Christos for his great
<Cryo> (and tedious) work on this!
<Cryo> -
<Cryo> You can find details about the 10.0 release state
<Cryo> at https://wiki.netbsd.org/releng/netbsd-10/.
<Cryo> -
<Cryo> We hope to sort out the future handling of OpenSSL on
```

```
<Cryo> the netbsd-9 branch soon too, and when that works out
<Cryo> will create a 9.4 release (probably before 10.0).
<Cryo> -
<Cryo> To close, I would like to remind everyone that release
<Cryo> branches only improve because developers took the time
<Cryo> to test their changes on the branch and submit a
<Cryo> pullup request. We have been pretty good with this,
<Cryo> and pulled up lots of security and usability improvements,
<Cryo> as well as bug fixes to the various active branches.
<Cryo> This is good for our users, thank you to everyone who
<Cryo> cared and made it possible.
<Cryo> -
<Cryo> .eof
```

---

## 16.6. Finance-exec

---

```
<Cryo> - submitted by riastradh for finance-exec
<Cryo> -
<Cryo> Finance-exec maintains The NetBSD Foundation's financial records
<Cryo> and assets at the board's direction. We make sure the books are
<Cryo> balanced and we send thank-you letters to donors so they can get
<Cryo> tax deductions (in the US).
<Cryo> -
<Cryo> We are:
<Cryo> o - christos (Christos Zoulas)
<Cryo> o - reed (Jeremy C Reed)
<Cryo> o - riastradh (Taylor R Campbell)
<Cryo> -
<Cryo> We keep the books with ledger-cli <https://www.ledger-cli.org/>,
<Cryo> which we've been doing for a few years now, and use it to
<Cryo> prepare the public financial report and internal reports with
<Cryo> more detail. This way we have an audit trail, under source
<Cryo> control, for all changes to the log of all transactions by TNF,
<Cryo> which we reconcile with statements from financial institutions
<Cryo> and payment processors.
<Cryo> -
<Cryo> The NetBSD Foundation's public 2022 financial report is at:
<Cryo> https://www.NetBSD.org/foundation/reports/financial/2022.html
<Cryo> -
<Cryo> Highlights:
<Cryo> o - We have net assets of a little over 220k USD.
<Cryo> o - We took in 44k USD last year -- just short of our usual
<Cryo> fundraising target of 50k USD.
<Cryo> o - We spent only 16k USD -- which means we're not spending
<Cryo> enough! Need to fund more projects and hardware upgrades (in
<Cryo> the works).
<Cryo> o - Late 2021/early 2022 we considered investing TNF cash in index
<Cryo> funds instead of letting it languish in a bank account, but we
<Cryo> held off and, well, that was prescient of us.
<Cryo> -
<Cryo> We have also started to automate the donation thank-you process.
<Cryo> It's semiautomated right now, but still takes manual effort to
<Cryo> click a dozen different buttons to process an RT ticket, which
<Cryo> takes time away from other things like updating OpenSSL. We had
<Cryo> a GSoC student last summer to help with the automation who we'll
<Cryo> be bringing back shortly to finish the job.
<Cryo> -
<Cryo> Happy to answer any questions about what finance-exec does!
<Cryo> Thanks, -finance-exec
<Cryo> -
<Cryo> .eof
```

---

## 16.7. Admins

---

```
<Cryo> - submitted by spz for admins:
<Cryo> -
<Cryo> good localtime() all
<Cryo> ,
```

```

<Cryo> admins is the following people:
<Cryo> christos, dogcow, kim, mspo, phil, riastradh, riz, seb, soda, spz, tls
<Cryo> ,
<Cryo> Statistics:
<Cryo> - admins runs the following TNF systems:
<Cryo> @ TastyLime
<Cryo> + 8 hardware systems and 6 Xen guests
<Cryo> = 1 armv7hf, the rest amd64
<Cryo> @ Columbia University
<Cryo> + 11 hardware systems and 4 Xen guests,
<Cryo> = 2 i386 guests, the rest amd64
<Cryo> @ Washington University
<Cryo> + 7 hardware systems and 2 Xen guests
<Cryo> = 1 armv7hf and the rest amd64
<Cryo> @ Regensburg (commercial housing)
<Cryo> + 2 hardware systems, one of them with 2 Xen guests,
<Cryo> = all amd64
<Cryo> ,
<Cryo> - CDN services donated by Fastly
<Cryo> ,
<Cryo> NetBSD versions in use:
<Cryo> 1 pre-8.1 (armv7hf, a console server)
<Cryo> 1 8.1_STABLE (armv7hf, a console server)
<Cryo> 2 9.0_STABLE
<Cryo> 5 9.1_STABLE
<Cryo> 13 9.2_STABLE
<Cryo> 3 9.3_STABLE
<Cryo> 2 9.99.*
<Cryo> 4 10.0_BETA
<Cryo> ,
<Cryo> Changes:
<Cryo> tessa (@WWU) has been prepared for automated donations handling for
<Cryo> finance-exec
<Cryo> ,
<Cryo> The host that archive runs on got 15T more disk space this year,
<Cryo> 10T of which were used to expand archive; there is some still unassigned.
<Cryo> ,
<Cryo> Notable plans:
<Cryo> Get all 8.x systems updated.
<Cryo> This is a bit finicky since the console servers do not have their own
<Cryo> consoles attached, so if an update doesn't succeed (like it did for
<Cryo> nycons) there will be no console at that site until someone can organize
<Cryo> a site visit, and thus, also no further kernel updates and/or rescues
<Cryo> after panics.
<Cryo> ,
<Cryo> Also we need to start planning hardware replacements.
<Cryo> ,
<Cryo> Thanks to riz, tls and phil for their resources, time
<Cryo> and blood sacrifices, too. :)
<Cryo> ,
<Cryo> .eof

```

---

## 16.8. pkgsrc-pmc

```

<Cryo> - submitted for pkgsrc-pmc by gdt:
<Cryo> -
<Cryo> The pkgsrc team kept pkgsrc-current up to date and in good working
<Cryo> order, and delivered four -- the 75th through the 78th -- stable
<Cryo> branches, both source code and binary packages. pkgsrc having
<Cryo> on-time high-quality stable branches is routine.
<Cryo> -
<Cryo> The pkgsrc team has welcomed a number of new developers.
<Cryo> -
<Cryo> More upstream packages fail to build on some platforms. While pkgsrc
<Cryo> has attempted to mitigate this somewhat, older platforms such as
<Cryo> NetBSD 8 -- much more than a year ago -- are increasingly losing
<Cryo> packages that have complicated and difficult build requirements.
<Cryo> NetBSD 8 does appear to remain usable for servers with packages that
<Cryo> merely need C and non-bleeding-edge C++. There are few to no people
<Cryo> struggling to resolve this; pkgsrc has effectively desupported NetBSD

```

```

<Cryo> 8 despite it not being formally EOL.
<Cryo> -
<Cryo> Rust support still requires significant effort, but during the past
<Cryo> year this has been routine.
<Cryo> -
<Cryo> We continue to prune abandoned-by-upstream and long-broken packages.
<Cryo> This includes old versions of python modules added solely to support
<Cryo> python 2.7 when there are no packages in pkgsrc with that old version
<Cryo> as a dependency.
<Cryo> -
<Cryo> There are binary package builds for the upcoming NetBSD 10 for a
<Cryo> number of architectures, including over 26000 for aarch64 for 2023Q1,
<Cryo> and just under that for x86_64 for 2022Q4.
<Cryo> -
<Cryo> -- gdt, for pkgsrc-pmc
<Cryo> .eof

```

---

## 16.9. pkgsrc-security

---

```

<leot> Thanks Cryo! It's now drscream turn for pkgsrc-security! drscream please go ahead!
<drscream> The mission of the pkgsrc Security Team is to ensure that the ever-growing
<drscream> ecosystem of third party software is either safe to use or at least be sure
<drscream> people are aware of the known vulnerabilities.
<drscream> -
<drscream> Our members monitor publicly available vulnerability feeds, mainly CVE.
<drscream> -
<drscream> We aggregate received advisories believed to impact pkgsrc into the pkgsrc
<drscream> vulnerability list. When time allows we try to notify individual package
<drscream> MAINTAINERS and locate, commit patches to fix the vulnerabilities.
<drscream> -
<drscream> Since 2021 our ticket handling crew is currently only 2 people, unfortunately
<drscream> pretty understaffed. We are looking and welcome people volunteering to join
<drscream> us!
<drscream> -
<drscream> Currently handling tickets are:
<drscream> - Leonardo Taccari <leot>
<drscream> - Thomas Merkel <tm>
<drscream> -
<drscream> The other current members of the team are:
<drscream> - Alistair G. Crooks <agc>
<drscream> - Daniel Horecki <morr>
<drscream> - Thomas Klausner <wiz>
<drscream> - Tobias Nygren <tnn>
<drscream> - Ryo ONODERA <ryoon>
<drscream> - Travis Paul <tpaul>
<drscream> - Fredrik Pettai <pettai>
<drscream> - Joerg Sonnenberger <joerg>
<drscream> - Tim Zingelman <tez>
<drscream> -
<drscream> The year in numbers:
<drscream> In 2022, the vulnerability list had 1378 lines added to it (692 less than last
<drscream> year) for a total of 26430 known vulnerabilities.
<drscream> In 2022, the ticket queue received 26430 new advisories (3974 more than last
<drscream> year). Of these 26430 new advisories:
<drscream> stalled: 1 (0.0%)
<drscream> resolved: 1899 (7.2%) (affecting pkgsrc packages)
<drscream> rejected: 24530 (92.8%) (no impact or duplicates)
<drscream> -
<drscream> The current count of vulnerable packages in pkgsrc-current is 740 (12 more
<drscream> than last year), in pkgsrc-stable is 750 (17 more than last year).
<drscream> See the periodic email to packages@NetBSD.org for the list. We can always
<drscream> use help locating and committing security patches, in particular for the
<drscream> many of these that are maintained by pkgsrc-users.
<drscream> -
<drscream> We encourage all developers to help us keep the vulnerability list up-to-date.
<drscream> If you become aware of a security issue or perform a security update in pkgsrc
<drscream> please edit the list. You don't need any special privilege for this.
<drscream> You'll find the list in localsrc CVS repository:
<drscream> localsrc/security/advisories/pkg-vulnerabilities
<drscream> The team periodically signs off and uploads new revisions to ftp.NetBSD.org.

```



```
<drscreeam> If you prefer, you can contact us to make the edits, just by emailing the
<drscreeam> info to pkgsrc-security@.
<drscreeam> -
<drscreeam> Please join the pkgsrc Security ticket handling crew, we're pretty understaffed
<drscreeam> at the moment! Feel free to get in touch with us for additional details or an
<drscreeam> introduction.
<drscreeam> -
<drscreeam> EOF
<leot> Thank you drscreeam!
```

---

## 16.10. GNATS Updates

---

```
<leot> dholland will updates us about GNATS, dholland, please go ahead!
<dholland> Here's the bug database report since the last AGM (12 months):
<dholland>
<dholland> GNATS statistics for 2022 (as of May 13 2023)
<dholland>
<dholland> New PRs this year: 559, of which 353 are still open.
<dholland> Closed PRs this year: 473. Net change: +86.
<dholland> Total PRs touched this year: 837.
<dholland> Oldest PR touched this year: 1677.
<dholland> Oldest open PR: 1677; PR ignored for the longest: 3019.
<dholland>
<dholland> Total number open: 6034
<dholland>
<dholland> This year we have finally slipped past 6000 open, probably alas
<dholland> for good until we can get some material changes to the way
<dholland> things are done. Not that 6000 is materially that much different
<dholland> from 5900, but it's been a psychological barrier for some
<dholland> time. This is the weekly plot:
<dholland>
<dholland>          ** 6100
<dholland>          * *****
<dholland>          * *****
<dholland>          ** *****
<dholland> * *****
<dholland> ** *****
<dholland> ***** 5920
<dholland>
<dholland> After making some progress around last year's AGM the count has
<dholland> basically been creeping steadily up all year. On a couple
<dholland> occasions we almost hit 6000, noticed in time, and closed a few,
<dholland> but the additional influx after branching -10 defeated that.
<dholland>
<dholland> Note that the variation shown in this graph is only around 3% of
<dholland> the total. If it used zero as the origin the limits of ASCII
<dholland> plots would leave the line entirely flat; so it could all be
<dholland> worse.
<dholland>
<dholland> Once again this year there are fewer new PRs than last
<dholland> year. This is, as always, a mixed blessing, because the influx
<dholland> also seems to be a measure of community engagement.
<dholland>
<dholland> If anyone was wondering, the oldest open PR (PR 1677) is about a
<dholland> panic in unionfs, which this year riasradh confirmed still
<dholland> happens, and the most untouched PR (PR 3019) is about NFS export
<dholland> permissions being per-volume rather than controllable on an
<dholland> individual subtree basis. Both of these are fairly intractable
<dholland> problems, as they have been the last several years, but it would
<dholland> certainly be nice to see either retired this coming year if
<dholland> anyone feels the urge.
<dholland> Because there's some question as to what's actually in this
<dholland> large backlog, this year I decided to sample it. I picked 200
<dholland> open PRs using shuffle(1), took the oldest 100 of them, and
<dholland> examined them all briefly, with the following results:
<dholland> - 8 feature requests, more than half with patches
<dholland> - 20 reports where nothing is currently broken, including 5
<dholland>   that had been reported fixed and never closed;
<dholland> - 10 reports of driver problems that stalled because the
<dholland>   hardware is needed to make progress;
<dholland> - 7 problems with pkgsrc on niche OSes where access is needed
```

<dholland> to make progress;  
<dholland> - 7 problems with troublesome subsystems (like unionfs) that  
<dholland> have been long-term issues in their own right;  
<dholland> - 25 fairly minor issues;  
<dholland> - 19 more substantial issues;  
<dholland> - 4 administrative issues and one best called "miscellaneous".  
<dholland>  
<dholland> Based on past experience, somewhere between 1/3 and 1/2 of the  
<dholland> issues (particularly the more substantial ones) will turn out to  
<dholland> be already fixed when checked more closely. This is because  
<dholland> often the same problems are seen repeatedly and the old reports  
<dholland> don't necessarily get found.  
<dholland>  
<dholland> It is still not good that 44 "real" issues have been left  
<dholland> hanging (and a disturbing number of them never received a single  
<dholland> response or followup), especially since the minor ones are ones  
<dholland> that can be readily fixed without putting in much time. The  
<dholland> reason they haven't been so far is that they are essentially  
<dholland> impossible to find in the database; that is why long-term plans  
<dholland> have been (and remain) about improving the indexing of the  
<dholland> database, by hand when needed. However, it's much better than  
<dholland> finding, say, 100 open reports about unsolved panics or file  
<dholland> system corruption.  
<dholland>  
<dholland> Note though that this is intentionally a sample of the oldest  
<dholland> open PRs, which skew towards hard or problematic (since those  
<dholland> are less likely to get handled when they're new) and away from  
<dholland> pkgsrc issues, which tend to get fixed sooner and go stale  
<dholland> faster. (It is interesting to note that pkgsrc represents about  
<dholland> 1/6 of the open but more than 1/3 of the total in the database.)  
<dholland> The newest of the ones I looked at was filed in 2013, ten years  
<dholland> ago. If you have questions about this data, feel free to talk to  
<dholland> me afterwards.  
<dholland>  
<dholland> Also on the plus side, doing this inspection resulted in closing  
<dholland> nine of the 100 immediately, and there's some likelihood of  
<dholland> getting most of the 25 minor issues cleaned up in the next week  
<dholland> or two.  
<dholland>  
<dholland> Anyhow, here are the people who've been fixing the most bugs, as  
<dholland> counted by commit messages found in PRs closed during the year.  
<dholland>  
<dholland> 18 gutteridge@netbsd.org  
<dholland> 18 riasradh@netbsd.org  
<dholland> 19 martin@netbsd.org  
<dholland> 23 dholland@netbsd.org  
<dholland> 23 christos@netbsd.org  
<dholland>  
<dholland> This list has a very long tail; there are 69 people who've fixed  
<dholland> or helped fix at least one bug report, which is up from last  
<dholland> year. Thanks to one and all.  
<dholland>  
<dholland> And here are those who've been processing pullups, according to  
<dholland> the same analysis:  
<dholland>  
<dholland> 1 jdc@netbsd.org (releng)  
<dholland> 1 riz@netbsd.org (releng)  
<dholland> 1 rtr@netbsd.org (releng)  
<dholland> 1 spz@netbsd.org (releng)  
<dholland> 4 snj@netbsd.org (releng)  
<dholland> 5 bsiegert@netbsd.org (releng)  
<dholland> 72 martin@netbsd.org (releng)  
<dholland>  
<dholland> Martin continues to do nearly all the work. Many, many thanks, Martin.  
<dholland>  
<dholland> <eot>  
<leot> Thank you very much dholland!

---

## 16.11. pkgsrc.se

---

```

<leot> It's drscream turn again that will updates us about pkgsrc.se, please go ahead drscream!
<drscream> Say hello to pkgsrc.se again!
<drscream> -
<drscream> pkgsrc.se was originally developed by Fredrik and Viktor from
<drscream> netbsd.se. At 2023-01-30 and after 20 years providing pkgsrc.se
<drscream> and other service they decided it was time to say goodbye.
<drscream> -
<drscream> Because it's such an awesome service it was not possible for the
<drscream> NetBSD and pkgsrc community to live without it. So the service will
<drscream> continue.
<drscream> -
<drscream> Technically pkgsrc.se is based on C++ code to parse CVS changes
<drscream> in the tree. Postfix and PHP to handle commit mails. And PHP to
<drscream> provide the classic web frontend. Additionally everything is stored
<drscream> in a PostgreSQL database with lot's of custom functions.
<drscream> -
<drscream> Whats next: PHP8.2 upgrade; improved web interface; maybe login
<drscream> and watching feature again.
<drscream> -
<drscream> Again I would like to thank Fredrik and Viktor for all their work
<drscream> providing pkgsrc.se as a real community service over the last 20
<drscream> years. It's still a great honour to continue the service in the
<drscream> same name.
<drscream> -
<drscream> EOF
<leot> Thank you drscream!

```

---

## 16.12. Q&A

---

```

* Cryo turns to the light up on the audience
<leot> It's now Q&A time! If you have any questions please msg me and I will give voice when it's your turn!
<Cryo> [Please note that some of the presenters couldn't make it due to the timezone differences and other obligations.]

```

---

### 16.12.1. Username formats

---

```

<PGoyette> Given email from wiz yestarday regarding username formats, etc,
<PGoyette> i was wonering what this status of hg conversion is?
<PGoyette> ?
<leot> Anyone around who can aswer? :) (feel free to /msg me for voice)
<Cryo> wiz couldn't make it, but it is progressing. The board repo has been hg for a while, and there is progress being mac
<Riastradh> Several people are working on different aspects of it.
<PGoyette> thanks
<nbjoerg> on the technical side: there is one extension (for audit trail handling) currently in review upstream
<Riastradh> Recent activity: https://wiki.netbsd.org/users/wiz/scm-migration/
<nbjoerg> that would replace the last non-trivial external code, so getting that out is important for maintainability
<nbjoerg> memory use and restrictions got a couple of fixes for anonhg
<nbjoerg> so if you run into problems with that, please tell me. ideally include your IP and time of access
<nbjoerg> we will hopefully soon find the time to do a clean slate installation for anonhg and hgmaster to get all of the do
<nbjoerg> pkgsrc side of things: see wiz's recent mail
<nbjoerg> src side of things: patch for RCS ID handling will go to the list soonish
<nbjoerg> build cluster: WIP
<nbjoerg> I don't think the automatic bisection has been ported yet and last time people looked at it, it was somewhat m
<nbjoerg> (wiz's mail re digest)
<Riastradh> https://mail-index.netbsd.org/tech-pkg/2023/05/13/msg027551.html
<nbjoerg> that's it from me
<dholland> what are the chances of being able to migrate one of the smaller repos soon? e.g. othersrc or htdocs
<Riastradh> dholland: wiz is working on that
<dholland> ok :-))
<nbjoerg> dholland: I haven't looked at either for prep work yet
<Riastradh> (for othersrc, mostly as a trial run; longer-term, it should just be split into repositories owned by individual de
<dholland> Maybe, but this isn't the time for that discussion :-))
<Riastradh> git mirror will continue to operate, of course

```

---

### 16.12.2. pkgsrc for NetBSD8

---

```

* leot gives voice to nbcharlotte
<nbcharlotte> Regarding netbsd-8 support falling behind in pkgsrc. Has this been a problem in the past? I'm inclined to be

```

<nbjoerg> yes  
 <Riastradh> pretty much  
 <Riastradh> Feels like toolchain churn has accelerated over the years too, but that's just a rough impression.  
 <dholland> It has been a problem in the past for other stable branches at a similar stage in their lifecycle.  
 <nbcharlotte> Awesome, thx

### 16.12.3. Overall performance

\* leot gives voice to JMoyer  
 <JMoyer> Overall perf on port vax has decreased over the years. Is there any plan to improve going forward?  
 <Riastradh> JMoyer: Well... Would you like to work on measuring performance issues?  
 <JMoyer> I have thought of compiling a list of boot times from the various releases, but I'm booked in projects for the next  
 <dholland> There has been some sign of interest in tackling the problem of a compiler for smaller ports  
 <Riastradh> I meant more like profiling to see where the bottlenecks are. If you want to make dtrace work on vax, for inste  
 <dholland> but like with everything else, it's a matter of people finding time to work on it  
 <JMoyer> With all the bounty work on the new GCC VAX backend, maybe we should wait and see post 10?  
 <JMoyer> Thank you.  
 <dholland> GCC is really too big to run \_on\_ a VAX and that's not likely to change  
 <Riastradh> Kernel performance work these days tends to focus on modern multicore hardware. We can work to accomm  
 <Riastradh> So someone has to do the work to measure, profile, and tweak.  
 \* leot removes voice from JMoyer  
 <Cryo> any other questions, please /msg leot  
 \* leot gives voice to mpeterma  
 <Riastradh> For a self-hosting toolchain, it's an even lower priority -- gcc and clang are obviously not going to optimize for  
 <Riastradh> (fin)

### 16.12.4. Legal entity or branch of the NetBSD Foundation in Europe

<mpeterma> Is there a legal entity or branch of the NetBSD Foundation in Europe? There is funding available at the Europ  
 <Riastradh> There was a while ago, but it went defunct. Last year, we were looking into reviving it. Not sure what happen  
 <Riastradh> khorben might know.  
 \* leot gives voice to khorben  
 <Riastradh> (not sure if khorben is awake right now)  
 <Cryo> We have had this discussion in the past, so it's definitely on our radar. We are certainly interested.  
 <Cryo> (I don't think he is)  
 <Cryo> (retracted)  
 <khorben> oops missed when I got voiced  
 <khorben> what I can say is that there was a NetBSD non-profit association in Germany, but it's not active anymore and I c  
 <khorben> on another note, I am there are other associations/non-profits which could collect donations if we coordinate  
 <khorben> I am also part of the French-speaking community of NetBSD, and we're trying to generate a more official group  
 <khorben> unfortunately so far it stops there on that front  
 <mpeterma> Is there a timeline for this or what could be done to address the issue? I also know about the association in G  
 <khorben> I am sure it is possible to make a new attempt, it just requires some volunteers  
 <Riastradh> mpeterma: I don't think there's a timeline but if you see opportunities where a US-based entity is a barrier, de  
 <Riastradh> I haven't seen the motivation for the extra administrative overhead, but I'm on the wrong side of the pond.  
 <leot> Any other questions?  
 \* leot removes voice from mpeterma

### 16.12.5. Closing

<leot> OK, that's it for Q&A! Thank you very much! Cryo, I think it's your turn again!  
 <Cryo> - submitted by billc for board:  
 <Cryo> -  
 <Cryo> The NetBSD Foundation thankyou:  
 <Cryo> -  
 <Cryo> Thanks to all the places that host our server machines and thanks to  
 <Cryo> all kind heroes who do hands-on work too on them!  
 <Cryo> -  
 <Cryo> Thanks to all the executive committees who do a lot of work behind the  
 <Cryo> scenes to keep everything running smoothly!  
 <Cryo> -  
 <Cryo> Thanks to everyone who is running our services, participating and  
 <Cryo> helping in mailing lists, chat and other communities and filling PRs!  
 <Cryo> -  
 <Cryo> -  
 <Cryo> -  
 <Cryo> Finally, thank you, for being part of this process today, fixing bugs,

<Cryo> committing new features and making NetBSD and pkgsrc the best operating  
<Cryo> system and packaging system!  
<Cryo> -  
<Cryo> We couldn't do it without you, and please keep up the excellent work!  
<Cryo> -  
<Cryo> Respectfully submitted on behalf of the Board of Directors  
<Cryo> .eof  
<khorben> thanks @all  
<Cryo> o/ Thank you all for coming  
<Cryo> We appreciate you taking time to come to our AGM  
<Cryo> We look forward to the NetBSD-10 release, and seeing you at the next AGM  
\* Cryo closes the curtains and gets the broom out for the popcorn on the floor... watch out for spilled drinks.  
<leot> Thank you!  
<Cryo> EOF

---



## nono 0.6.2 (2023/08/16)

nono は NetBSD とかで動作する OMRON LUNA-I/LUNA-88K (と SHARP X68030) のエミュレータです。 [nono is OMRON LUNA-I/LUNA-88K (and SHARP X68030) emulator runs on NetBSD and etc.]

### Index of this page:

- [1. ビルド方法 \[How to build\]](#)
- [2. 実行方法 \[How to execute\]](#)
- [3. 設定 \[Configuration\]](#)
- [4. VM について \[About VM\]](#)
- [5. 実行してみる \[Try it\]](#)
- [6. ホストネットワーク設定例 \[Example of host network setup\]](#)
- [7. 既知の問題 \[Known Issues\]](#)
- [8. 過去のバージョンからの移行方法 \[How to migrate from old versions\]](#)
- [9. 変更履歴 \[Changes\]](#)
- [10. 連絡先、ライセンス等 \[Contact, License, etc\]](#)

緑背景は新規または目立った更新のあった箇所です。 [Green Background is new or updated paragraph.]

### ▼ 1. ビルド方法 [How to build]

ビルドには以下が必要です。 [The followings are required for build.]

- make (BSD make, not GNU make)
- C/C++ compiler which supports -std=c++14.  
(For gcc, 7.4 or newer works at least. For clang, 7.0 - 15.0 works at least.)
- wxWidgets 3.2.x "stable" branch or 3.0.x "old stable" branch
- gettext

wxWidgets は NetBSD(pkgsrc) なら pkgsrc/x11/wxGTK32 (OPTIONS:gtk3 で動作確認) です。 [If you use NetBSD(pkgsrc), wxWidgets is pkgsrc/x11/wxGTK32 (OPTIONS:gtk3 is tested).]

(NetBSD 以外でのビルドはサポートしていませんが) Ubuntu 22.04 ではたぶん以下のパッケージが必要です。 [You may need the following packages on Ubuntu 22.04 (though we won't support non-NetBSD platform).]

- bmake build-essential gettext libbsd-dev libkqueue-dev libwxgtk3.0-gtk3-dev zlib1g-dev

nono のソースアーカイブを展開したら以下のようにビルドします。 `configure` には環境変数 `CC`、`CXX` でコンパイラを指定することが出来ます。また `wx-config` が標準的な名前では提供されていないために見付けられない場合には環境変数 `WX_CONFIG` にパスを指定することが出来ます。 [Extract the nono's source archive and build as following. You can specify C/C++ compiler using environment variable `CC` and `CXX` if `configure` cannot find standard name suitable compiler. Also, you can specify `wx-config` path using environment variable `WX_CONFIG` if `configure` cannot find `wx-config`.]

`-DNTEST` は開発者用のテストツールをビルドしないためのものです。 [With `-DNTEST`, the build excludes test tools which is needed for developers only.]

```
% ./configure
% make -DNTEST depend
% make -DNTEST
% su
# make install
```

2つの実行ファイルがインストールされます。 `nono` が GUI 版実行ファイル、 `nono-cli` がコマンドライン版です。 [Two executables will be installed. `nono` is the GUI executable and `nono-cli` is the command line executable.]

### ▼ 2. 実行方法 [How to execute]

`nono` は複数機種に対応しているため設定なしでは起動できません。設定は設定ファイルかコマンドラインオプションで指定します。詳細は以下の設定の章を参照してください。 [nono supports multiple architectures so that it needs configuration. See the following Configuration section for details.]

#### ▼ 2.1. コマンドラインオプション [Command Line Option]

`-c vmpath`

VM ディレクトリ/設定ファイルを指定します。 `vmpath` がディレクトリならそのディレクトリの中の `nono.cfg` を設定ファイルとします。 `vmpath` がファイルならそれを設定ファイルとします。そしていずれの場合も設定ファイルがあるディレクトリを VM ディレクトリとします。 `-c` オプションを省略すると `vmpath` をカレントディレクトリとします。 [Specifies the VM directory/configuration file. If `vmpath` is a directory, make `nono.cfg` in that directory a configuration file. Or if `vmpath` is a file, make the specified file a configuration file. And in both cases, make the directory where that file is located a VM directory. If `-c` option is omitted, `vmpath` is considered as the current directory.]

`--create-sram`

(X68030 Only) VM ディレクトリに X68030 用の SRAM.DAT がなければ初期状態で作成して終了します。 [ nono will create the initial SRAM.DAT for X68030 and exit, if there is no SRAM.DAT in the VM directory.]

- f 高速モードで起動します。 GUI なら起動後にもメニューから変更できますが、その初期値を変えるだけです。設定の `fast-mode=1` と等価です。 [Boot as the fast mode. You can change this mode on GUI menu after boot, and the option only changes its initial state. This option is equivalent to `fast-mode=1` in configuration.]
- fontsize height GUI 版のみ。全サブウィンドウの起動時のフォントサイズを指定します。起動後にメニューから変更できます。設定の `monitor-fontsize` と等価です。 [GUI Only. Specifies the initial fontsize of all sub windows. You can change this value on GUI menu after boot. This option is equivalent to `monitor-fontsize` in configuration.]
- s scale GUI 版のみ。メインウィンドウの起動時のスケールを実数で指定します。設定の `mainview-scale` と等価です。起動後はメニューからプリセットされた倍率と `mainview-scale` で指定された倍率には変更可能です。 [GUI Only. Specifies the initial main window scale in real number. This is equivalent to `mainview-scale` in configuration. You can change this scale on GUI menu after boot.]
- show-config 設定ファイルと `-v` オプションを読み込んだ結果を表示します。 [Shows the result of reading configuration file and parsing `-v` options.]
- v バージョンを表示します。 [Shows the version.]
- V name=value 設定ファイルで指定した `name=configvalue` の代わりにこのオプションの `name=value` を適用します。 `name` が正しくない場合はエラー終了します。 [Use this `name=value` instead of `name=configvalue` specified in configuration file. If `name` is not correct, it will exit on error.]
- X file ホストの `file` をロードして実行します。 `file` が相対パスの場合カレントディレクトリからのパスになります。ファイルが `gzip` 圧縮されていれば自動的に展開します。(展開後の) ファイル形式は以下の通りですが、実際にはブートローダとカーネル程度しか想定していません。また、いずれも起動元デバイスが取得できないなどの問題はあるかも知れません。 [Loads and executes host's `file`. If `file` is relative path, it is path from the current directory. If the file is `gzip'd`, it is automatically extracted. The supported file format (after extracting) is the following. Actually, it only assumes bootloaders or kernels. And note that it may not obtain some information that where did I boot from, for example.]
  - a.out (OMAGIC) 実行ファイル (おそらくブートローダのみサポート) [a.out (OMAGIC) executable (It probably supports bootloaders only)]
  - ELF 実行ファイル (おそらくカーネルのみサポート。 NetBSD の実行ファイルのようであれば、カーネルだと思っただけでシンボルテーブルも読み込みます) [ELF executable (It probably supports the kernel only. If the file is assumed to be NetBSD executable, it will also load symbol tables as the bootloader does to the kernel.)]
  - ELF object (Experimental)
  - Human68k .x executable (Experimental)
 LUNA では設定の `prom-image` (後述) によらず内蔵の互換 ROM で起動します。 `luna-dipsw1` の DIPSW 設定が `dipsw-autoboot=yes` 相当の状態ならそのまま直ちにホストファイルを実行し、そうでなければ互換 ROM のプロンプトで停止します。後者の場合でも LUNA-I なら "g" コマンド、LUNA-88K なら "b" コマンドによるロードはここで指定したホストファイルをロードします。 X68030 では、IPLROM 起動の後の起動デバイスに細工がしてあり、そこからホストファイルを実行します。 [ On LUNA, regardless of `prom-image` configuration (see below), it boots the internal emulated PROM. If `luna-dipsw1` configuration meets `dipsw-autoboot=yes`, it will immediately load and execute the host file. Otherwise, it will wait in prompt. Even in this case, "g" command (in LUNA-I) or "b" command (in LUNA-88K) will load the host file that is specified by this option. On X68030, nono hacks the boot device after normal boot from IPLROM, and loads and executes the host file.]

以下開発用。 [For developers:]

- b hexaddr[, skipcount] デバッガのブレークポイントを 16進数で指定します。
- C ログをコンソールにも出力します。通常はログウィンドウにだけ出力されます。
- d 起動時にデバッグプロンプトで停止します。
- D コンソールをデバッグとして使用します。過去との互換性のために存在していますが、 `-V debugger-driver=stdio` と等価です。
- L name1=level1[, name2=level2, ...] ログレベルを指定します。カンマで区切って複数指定することも出来ます。 `-Lhelp` で `name` の一覧を表示します。
- M name[, name2, ...] 起動時に表示するモニタウィンドウを指定します。カンマで区切って複数指定することも出来ます。 `-Mhelp` で `name` の一覧を表示します。

### ▼ 3. 設定 [Configuration]

nono の設定はいずれも以下の順序で適用されます。 [nono's configurations are always applied in the following order.]

1. デフォルト値 [Default value]
2. `~/nono.cfg` があればその内容 [Contents of `~/nono.cfg` if exists]
3. VM ディレクトリ内の `nono.cfg` (または `-c` で指定したファイル) があればその内容 [Contents of `nono.cfg` in the VM directory (or the file specified by `-c` option) if exists]
4. コマンドラインオプション [Command line option]

ファイルの書式はどちらも `key = value` 形式で1行1項目ずつです。 `key` と `value` の前後の空白は取り除かれます。また空行と `#` で始まる行は無視します。知らないキーは警告を出した上で無視します。同じキーが複数回現れた場合、上に列挙した順に後から書いたほうで上書きし、同じファイル内でも同様に後に書いたほうで上書きします。コマンドラインオプション `-v` 等はこれをさらに上書きします。コマンドラインオプションで同じキーが複数回現れた場合も後に書いたほうが上書きします。 [The syntax of both files is `key = value` format, one per line. White spaces before and after `key` and `value` are ignored. Blank lines, lines beginning with `#` are also ignored. The lines with unrecognized key are ignored with a warning. If the same key appears more than once, the latter overwrites the former in the above order. If the same key appears in a file, the latter overwrites the former in the same manner. Then, command line option `-v` etc. overwrites them. If the same key appears more than once in the command line option, do in the same manner.]

`vmtype` を除くすべての設定項目はそれぞれデフォルト値を持っています。つまり少なくとも `vmtype` だけは設定ファイルかコマンドラインオプションで指定する必要があります。 [All configuration items except `vmtype` have default value. It means, you must specify at least only `vmtype` by configuration file or commandline option.]

設定項目は次の通りです。 [The configuration items are:]

`vmtype = string`

VM 種別を以下のいずれかから指定します。省略不可です。 [Specifies the VM type from the following. This field is mandatory.]

```
luna ... LUNA-I
luna88k... LUNA-88K
x68030 ... X68030 (Experimental)
news ... NWS-1750 (Just a joke)
```

`cgrom-image = path`

(X68030 Only) X68030 の外部 CGROM イメージファイルのパスを指定します。CGROM は 768KB です。 `path` がファイル名のみなら VM ディレクトリとその親ディレクトリからこのファイル名を検索します。 `path` が相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります (現在のディレクトリからではありません)。空にすると nono 内蔵の互換 CGROM を使用します。デフォルトは空です。 [Specifies the X68030's external CGROM image file path. This CGROM is 768KB. If the `path` does not have any path delimiters, the VM directory and then its parent directory will be searched. If the `path` is a relative path, it will be path from the VM directory, not from the current directory. If the `path` is empty, nono's builtin compatible CGROM will be used. The default value is empty.]

`clock-sync = value`

仮想マシン内の時刻の同期方法を指定します。 `real` なら実時間に同期、 `virtual` なら仮想時間に同期します。デフォルトは `real` です。この機能は実験中のため将来予告なく仕様が変更になる可能性があります。 [Specifies how to synchronize the time in virtual machine. If `real`, synchronize with the real time; if `virtual`, synchronize with the virtual time. The default is `real`. This feature is under experimentation and may be changed in the future without notice.]

`debugger-driver = string`

デバッガのコンソールドライバを指定します。 `stdio`、 `tcp`、 `none` が選択可能です。 `stdio` は標準入出力を使用します。 `tcp` は TCP ポートで TELNET プロトコルで待ち受けします。 `none` ならホスト側とは一切通信を行いません。デフォルトは `none` です。 [Specifies console driver of the debugger. `stdio`, `tcp`, and `none` can be specified. `stdio` uses the standard input/output. `tcp` listens on TCP port using TELNET protocol. `none` doesn't make any communication with the host. The default is `none`.]

`debugger-tcp-port = integer`

デバッガのコンソールドライバが `tcp` の時の TCP 待ち受けポート番号を指定します。 [Specifies the TCP port number that debugger console driver listens.]

`dipsw-autoboot = yesno`

(LUNA and NEWS Only) 機種に依存せず DIPSW を自動起動に設定するかどうか指定します。 `"yes"` なら自動起動するように、 `"no"` なら自動起動しないように DIPSW 設定を上書きします。 `""` (空) なら何もしません。デフォルトは `""` です。このオプションは `luna-dipsw1` や `news-dipsw` の状態が設定ファイルやコマンドラインオプションによって確定した後に該当のスイッチだけを変更します。 [Specifies whether to configure DIPSW to boot automatically, regardless of the models. `"yes"` overwrites DIPSW, to boot automatically. `"no"` overwrites DIPSW, not to boot automatically. `""` (Empty) does nothing. The default value is `""`. This option only changes the appropriate switch(es) after the `luna-dipsw1` or `news-dipsw` configuration is determined by the configuration file or command line options.]

dipsw-serial = *yesno*

(LUNA and NEWS Only) 機種に依存せず DIPSW をシリアルコンソールを使うかどうか指定します。"yes" ならシリアルコンソールを使うように、"no" ならシリアルコンソールを使わないように DIPSW 設定を上書きします。"" (空) なら何もしません。デフォルトは "" です。luna-dipsw1 もしくは news-dipsw (機種による) の状態が設定ファイルやコマンドラインオプションによって確定した後このオプションによって該当のスイッチだけを変更します。NEWS でシリアルコンソールを使わないを選択した場合、SW1,2,3 は OFF, OFF, ON にセットされ、NWB-512 モノクロコンソール(未実装) が選択されます。[Specifies whether to configure DIPSW to use serial console, regardless of the models. "yes" overwrites DIPSW, to use serial console. "no" overwrites DIPSW, not to use serial console. "" (Empty) does nothing. The default value is "". This option only changes the appropriate switch(es) after the luna-dipsw1 OR news-dipsw configuration is determined by the configuration file or command line options. If you choose not to use serial console on NEWS, SW1,2,3 will be set OFF, OFF, ON respectively, and NWB-512 monochrome console (not implemented) will be chosen.]

ethernet-macaddr = *string*

ethernet*N*-macaddr = *string*

*N* 番目のイーサネットデバイスの仮想マシン側の MAC アドレスを指定します。xx:xx:xx:xx:xx:xx 形式で指定します。auto なら自動的に決定します。デフォルトは auto です。ethernet-macaddr は ethernet0-macaddr の別名です。

extram-size = *integer*

(X68030 Only) 拡張メモリのサイズを MB 単位で指定します。今の所以下だけが指定できます。[Specifies the extended RAM size in MB. For now, only the following can be specified.]

- 0 ... 拡張メモリを使用しません。デフォルトです。[No extended memory. It's default.]
- 16 ... TS-6BE16 互換モードで、アドレス \$0100'0000~\$01ff'ffff の 16MB です。[TS-6BE16 compatible mode. Its address is \$0100'0000~\$01ff'ffff and the size is 16MB.]
- 128/256 ... 060turbo 互換モードで、アドレス \$1000'0000~\$17ff'ffff/\$1fff'ffff の 128/256MB です。[060turbo compatible mode. Its address is \$1000'0000~\$17ff'ffff/\$1fff'ffff and the size is 128 or 256MB.]

fast-mode = *integer*

起動時の動作モードを指定します。0 なら通常モード、1 なら高速モードです。デフォルトは 0 です。コマンドラインオプション -f でも高速モードへのみ指定可能です。

fd-drive = *integer*

(X68030 Only) フロッピードライブの数を 0 から 4 で指定します。デフォルトは 2 です。[Specifies the number of floppy drives from 0 to 4. The default is 2.]

fd*N*-image = *path*

(X68030 Only) フロッピードライブ *N* に起動時に挿入するディスクイメージを指定します。イメージパスが相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります。起動後はメニューから操作できます。デフォルトは空です。[Specifies a diskimage to be inserted to floppy drive *N* at startup. If the *path* is relative path, it is from the VM directory. You can also operate them from menu after startup. The default is empty.]

fpu-type = *value*

(X68030 Only) FPU を装着するかどうか指定しています。none なら FPU を装着しません。68881 なら FPU として 68881 を装着します。現状 68882 はサポートしていません。また none の代わりに 0、68881 の代わりに 1 と書くこともできます。デフォルトは 68881 です。LUNA-I はたぶん 68881 搭載モデルのみのため設定できません。[Specifies whether to install FPU or not. If none, FPU is not installed. If 68881, 68881 FPU is installed. 68882 is not supported yet. And, none can also be written as 0, 68881 can also be written as 1. The default is 68881. This item cannot be specified on LUNA-I because (probably) all LUNA-I has 68881.]

hostcom-driver = *string*

シリアルポートのホスト側ドライバを指定します。stdio、tcp、none が選択可能です。stdio は標準入出力を使用します。tcp は TCP ポートで TELNET プロトコルで待ち受けます。none ならホスト側とは一切通信を行いません。デフォルトは none です。[Specifies the host driver of serial port. stdio, tcp, and none can be specified. stdio uses the standard input/output. tcp listens on TCP port using TELNET protocol. none doesn't make any communication with the host. The default is none.]

hostcom-tcp-port = *integer*

ホストドライバが tcp の時の TCP 待ち受けポート番号を指定します。[Specifies the TCP port number that host driver listens.]

hostcom-fallback = *integer*

hostcom-driver で指定したドライバが使用可能でなかった時、0 ならプロセスを終了します。1 なら none を選択して実行を継続します。デフォルトは 0 です。[Specifies the behavior when the driver which is selected by hostcom-driver is unusable; terminate the process if 0, or continue to run using the none driver if 1. The default is 0.]

hostkbd-input = *string*

(LUNA and X68030 only) ホストキーボードの入力モードを指定します。char ならキャラクタ入力モード、jp なら日本語キーボードモードです。デフォルトは char です。詳細は [VM について](#) の章を参照してください。[Specifies the input mode of the host keyboard. char means the character mode, jp means the Japanese keyboard mode. The default is char. See [About VM](#) for details.]

hostnet-driver = *string*



hostnet-afpacket-iframe = *iframe*  
 hostnet-bpf-iframe = *iframe*  
 hostnet-tap-devpath = *path*  
 hostnet-fallback = *integer*  
 それぞれ hostnet0-\* の別名です。

hostnet*N*-driver = *string*  
*N* 番目のイーサネットデバイスのホスト側ドライバを指定します。afpacket、bpf、tap のうちホスト OS がサポートしているものと auto、none が選択可能です。afpacket は Linux の AF\_PACKET ソケットを使用します。bpf は bpf(4) デバイスを使用します。tap は tap(4) インタフェースを使用します。none ならホスト側とは一切通信を行いません。auto ならホスト OS がサポートしているもののうち tap → afpacket → bpf を順に試します。hostnet0-driver のデフォルトは auto、hostnet1-driver のデフォルトは none です。[Specifies the host driver of *N*-th ethernet device. afpacket, bpf, and tap can be specified only if the host OS supports them. auto and none can always be specified. afpacket uses Linux's AF\_PACKET socket, bpf uses bpf(4) device, and tap uses tap(4) interface. none doesn't make any communication with the host. If auto is specified, it tries tap, afpacket, and bpf in that order (if the host OS supports them). The default of hostnet0-driver is auto, the default of hostnet1-driver is none.]

hostnet*N*-afpacket-iframe = *iframe*  
 ホストドライバが afpacket の時にバインドするインタフェースを1つ指定します。*iframe* が auto なら使用可能なインタフェースを1つ自動的に選択します。デフォルトは auto です。なお、このホストドライバではローカルホストとの通信は出来ません。[Specifies an interface name to bind to, when the host driver is afpacket. If auto is specified as *iframe*, it selects an usable interface automatically. The default is auto. Note that this host driver cannot communicate with the localhost.]

hostnet*N*-bpf-iframe = *iframe*  
 ホストドライバが bpf の時にバインドするインタフェースを1つ指定します。*iframe* が auto なら使用可能なインタフェースを1つ自動的に選択します。デフォルトは auto です。なお、このホストドライバではローカルホストとの通信は出来ません。[Specifies an interface name to bind to, when the host driver is bpf. If auto is specified as *iframe*, it selects an usable interface automatically. The default is auto. Note that this host driver cannot communicate with the localhost.]

hostnet*N*-tap-devpath = *path*  
 ホストドライバが tap の時に使用するデバイスを1つフルパスで指定します。デフォルトは auto で、この場合は自動的にデバイスを選択します。この時の探し方はホスト OS によって異なります。Linux なら /dev/net/tun を指定したのと同じです。OpenBSD なら /dev/tap0 から /dev/tap9 まで順番にオープンできるまで試します。NetBSD (と FreeBSD) ならまず /dev/tap でクローニングを試み、それが失敗すれば /dev/tap0 から /dev/tap9 までを順番にオープンできるまで試します。いずれの場合も VM ディレクトリかその親ディレクトリに nono-ifup, nono-ifdown という名前のシェルスクリプトが必要です。何もすることがない場合でも正常終了する空のシェルスクリプトを用意してください。[ Specifies a device pathname, when the host driver is tap. The default is auto. The behavior in this case depends on the host OS. On Linux, it's the same as /dev/net/tun. On OpenBSD, it will try from /dev/tap0 to /dev/tap9 until successful. On NetBSD (and FreeBSD), it will try cloning by /dev/tap first. If that fails, then try from /dev/tap0 to /dev/tap9 until successful. In all cases, you need to prepare two shell script files which names are nono-ifup and nono-ifdown in the VM directory or its parent directory. Even if you don't have anything to do in these scripts, you need to prepare empty scripts that will terminate successfully.]

hostnet*N*-fallback = *integer*  
 hostnet*N*-driver で指定したドライバが使用可能でなかった時、0 ならプロセスを終了します。1 なら none を選択して実行を継続します。デフォルトは 0 です。[Specifies the behavior when the driver which is selected by hostnet*N*-driver is unusable; terminate the process if 0, or continue to run using the none driver if 1. The default is 0.]

iplrom1-image = *path*  
 (X68030 Only) X68030 の外部 IPLROM イメージファイルのパスを指定します。こちらは 0xfe0000..0xfffff の 128KB の部分で、IPLROM30 と呼ばれているほうです。*path* がファイル名のみなら VM ディレクトリとその親ディレクトリからこのファイル名を検索します。*path* が相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります (現在のディレクトリからではありません)。空にすると無償配布されている IPLROM30 を使用します。デフォルトは空です。[Specifies the X68030's external IPLROM image file path. This one contains 128KB at 0xfe0000..0xfffff and is known as IPLROM30. If the *path* does not have any path delimiters, the VM directory and then its parent directory will be searched. If the *path* is a relative path, it will be path from the VM directory, not from the current directory. If the *path* is empty, the public released IPLROM30 will be used. The default value is empty.]

iplrom2-image = *path*  
 (X68030 Only) X68030 の外部 IPLROM イメージファイルのパスを指定します。こちらは 0xfc0000..0xfdffff の 128KB の部分で、ROM30 と呼ばれているほうです。*path* がファイル名のみなら VM ディレクトリとその親ディレクトリからこのファイル名を検索します。*path* が相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります (現在のディレクトリからではありません)。空にすると内蔵 ROM を使用します。内蔵 ROM は NetBSD/x68k が起動する程度の SCSI IOCS のみサポートしています。デフォルトは空です。[Specifies the X68030's external IPLROM image file path. This one contains 128KB at 0xfc0000..0xfdffff and is known as ROM30. If the *path* does not have any path delimiters, the VM directory and then its parent directory will be searched. If the *path* is a relative path, it will be path from the VM directory, not from the current directory. If the *path* is



empty, internal emulated ROM will be used. The ROM supports only enough SCSI IOCS to boot NetBSD/x68k. The default value is empty.]

keyboard-connect = *integer*

(LUNA and X68030 Only) 起動時にキーボードを本体に接続するかどうかを指定します。1 なら接続し、0 なら接続しません。デフォルトは 1 です。起動後はメニューから変更可能です。[Specifies whether to connect keyboard on boot. If 1, it is connected; if 0, it isn't connected. The default is 1. You can change it on GUI menu after boot.]

luna-adjust-misused-epoch = *integer*

(LUNA Only) LUNA で誤った RTC epoch を採用している OS 向けに RTC エミュレーションを補正するかどうかを指定します。0 なら補正をしません(実機と同じ動作)、1 なら補正します(現実世界と同じ動作)。デフォルトは 1 で、通常 1 のままで使用して問題ありません。[ Specifies whether nono corrects RTC emulation for OSes that adopts wrong RTC epoch on LUNA. 0 means making no correction (this is the same behavior as the actual machine). 1 means making correction (this is the same behavior as the real world). The default is 1. Normally, leave it 1.]

LUNA で採用している RTC (MK48T02) は2桁で保持している年の値が 4 で割り切れる年をうるう年とする仕様です。ところが NetBSD/luna68k、OpenBSD/luna88k などはこの RTC の年の値を 1970年からの経過年として使用しています。例えば1970年はうるう年ではないため 2月28日の翌日は 3月1日ですが、MK48T02 的には 00年であるためうるう年と認識し 2月28日の翌日が2月29日になります。このように、これらの OS を使っている場合実機の RTC は4年のうち約2年間、1日ずれた日付を指しているようです。しかしながら、RTC の時刻は OS 起動時に一度読んだ後は基本的に参照しない上、今時必要なら NTP で時間を合わせるため、実機でも問題が顕在化することはまずないと思います。nono の場合は実機と異なり、アプリケーション実行中しか RTC が進まないため、補正がない場合の動作が問題になるのは nono を起動したまま偶数年の2月末日から日付をまたいで、かつ nono を起動したまま OS を再起動して NTP などで時刻修正を行わなかった時だけだと思います。このオプションはほぼ開発者向けの動作確認用です。

luna-dipsw1 = *string*

(LUNA Only) 本体前面 DIPSW#1-1..#1-8 の内容を指定します。"0" を DOWN、"1" を UP として、これを8つ並べた形式で、前から順に #1..#8 に対応します。[Specifies status of the front panel DIPSW#1-1..#1-8 using 8 digits. "0" means DOWN and "1" means UP. The first character corresponds to #1 and the eighth character corresponds to #8.]

LUNA-I でのデフォルトは 11110111 です。各スイッチの内容は以下のリンクを参照してください。[On LUNA-I, the default value is 11110111. See the following link about DIPSW.]

→ [NetBSD/luna68k: Information](#)

LUNA-88K でのデフォルトは 11111111 です。各スイッチの内容は以下のリンクを参照してください。[On LUNA-88K, the default value is 11111111. See the following link about DIPSW.]

→ [OpenBSD manual pages: boot\\_luna88k\(8\)](#)

自動起動するかどうかとシリアルコンソールを使うかどうかを指定したい場合はこちらではなく [dipsw-autoboot\\_dipsw-serial](#) 設定を使うほうが便利です。[If you only want to specify whether to autoboot and/or to use serial console, [dipsw-autoboot](#), [dipsw-serial](#) configurations are useful.]

luna-dipsw2 = *string*

(LUNA Only) 本体前面 DIPSW#2-1..#2-8 の内容を指定します。書式は luna-dipsw1 と同じです。デフォルトは 11111111 です。[Specifies status of the front panel DIPSW#2-1..#2-8. The same syntax as luna-dipsw1 is used. The default value is 11111111.]

NetBSD/luna68k のブートローダは、DIPSW#2 が "11111111" なら自動的にカーネルをロードして実行し、どれかでも "0" にするとプロンプトで停止するようです。(本当は #8 だけで制御するつもりだったんじゃないかという気がします) [NetBSD/luna68k bootloader will automatically load and execute the kernel, if the DIPSW#2 is "11111111". Otherwise, the bootloader will enter interactive mode. (I doubt that they actually wanted to switch with only #8) ]

luna-video-plane = *integer*

(LUNA Only) LUNA のビデオボードのプレーン数を 1、4、8 から指定します。1 ならモノクロビデオボード、4 なら16色 (4bpp) ビデオボード、8 なら 256色 (8bpp) ビデオボードです。デフォルトは 4 です。[Specifies number of planes on LUNA video board. The valid values are 1, 4 or 8. 1 means a monochrome video board, 4 means 16-color (4bpp) video board, 8 means 256-color (8bpp) video board. The default value is 4.]

mainview-scale = *double*

メインウィンドウの起動時のスケールを実数で指定します。コマンドラインオプション `-s` で上書き可能です。起動後はメニューから、プリセットされた倍率とここで指定した倍率には変更可能です。デフォルトは 1.0 です。

monitor-fontsize = *integer*

テキスト系モニタとステータスパネルのフォントサイズを 12, 16, 24 から指定します。コマンドラインオプション `--fontsize` で上書き可能です。起動後はメニューから変更することができます。デフォルトは 12 です。

monitor-rate = *integer*

テキスト系モニタウィンドウの更新頻度を Hz 単位で指定します。1 から 60 までの間で指定でき、デフォルトは

20Hz です。起動後にメニューから、プリセットされた頻度とここで指定した頻度には変更可能です。 [Specifies refresh rate of all text monitor windows in Hz. It ranges from 1 to 60. The default is 20Hz. You can choose this value on GUI menu after boot, from preset rate or rate specified here.]

`mpu-clock = value`

MPU のクロック数を MHz 単位で指定します。デフォルトは LUNA-I なら 20MHz、LUNA-88K と X68030 なら 25MHz です。 [Specifies the MPU clock in MHz. The default value is 20MHz on LUNA-I, or 25MHz on LUNA-88K and X68030.]

`mpu-pseudo-stop = integer`

(LUNA-88K Only) `m88100` にて疑似 STOP 状態を有効にするかどうかを指定します。0 なら無効(実機と同じ動作)、1 なら有効で、デフォルトは 1 です。 `m88100` には、 `m68k` の STOP 命令 (割り込みが上がるまで何もせず待つ) に相当する命令がなく、大抵ビジーウェイトループで割り込みが上がるのを待つこととなります。これは実機では (消費電力を減らす手段がないという些細な問題以外には) 何のデメリットもないのですが、エミュレータで特に高速動作させている時には割り込みが上がるまで (例えば人間がキーを入力するまで) ホスト CPU パワーを使い潰してビジーウェイトループを実行し続けることになり、ホスト CPU があつつあつになります。それを防ぐための機能です。特徴的な命令列を検出して実現しているため、すべての状況で動作するわけではありません。

`nereid0-enable = integer`

`nereid1-enable = integer`

(X68030 Only) Nereid 拡張ボードを装着するかどうかを指定します。Nereid は同時に2枚まで使用することができます。値は 0 なら装着せず、1 なら装着します。デフォルトは 0 (装着しない) です。詳細は [4.6 Nereid の章](#) を参照してください。 [Specifies whether install Nereid expansion board or not. Up to two board can be operated at the same time. If 0, the board is not installed. If 1, the board is installed. The default value is 0. See also [Section 4.6 Nereid](#) below for details.]

`nereid0-net = integer`

`nereid1-net = integer`

(X68030 Only) Nereid ボードの NIC (RTL8019AS) のみを無効にすることが出来ます (実機では通常そのようなことは出来ません)。0 なら無効、1 なら有効です。デフォルトは 1 です。通常は 1 のまま使用してください。この設定は対応する `nereidW-enable` が 0 (ボードを装着しない) の場合は意味を持ちません。 [This can disable only NIC (RTL8019AS) of Nereid expansion board (although it's not possible normally in the real world). It's disabled if 0, or enabled if 1. The default is 1. Normally, leave it 1. This item will be ignored if the corresponding `nereidW-enable` is 0.]

`nereid0-ram-size = integer`

`nereid1-ram-size = integer`

(X68030 Only) Nereid ボードのバンクメモリのサイズを MB 単位で指定します。指定できるのは 0, 4, 16 です。0 を指定するとバンクメモリを無効にします。デフォルトは 16 です。この設定は対応する `nereidW-enable` が 0 (ボードを装着しない) の場合は意味を持ちません。 [Specifies bank memory size in MB of Nereid expansion board. The valid values are 0, 4 or 16. If 0, disable the bank memory. The default is 16. This item will be ignored if the corresponding `nereidW-enable` is 0.]

また通常は必要ありませんが -4 または -16 を指定すると、バンクメモリは無効にした上で Nereid 制御ポートのビット6の読み出し値 (バンクメモリの容量) を再現することが出来ます。-4 ならビット6は 0 (4MB)、0 か -16 なら 1 (16MB) が読み出せます。

`news-dipsw = string`

(NEWS Only) DIPSW の内容を指定します。"0" を OFF、"1" を ON として、これを8つ並べた形式で、前から順に SW1..SW8 に対応します。デフォルトは 00001000 です。 [Specifies status of the DIPSW using 8 digits. "0" means OFF and "1" is ON. The first character corresponds to SW1 and the eighth character corresponds to SW8. The default value is 00001000.]

各スイッチの内容は以下のリンクを参照してください。 [See the following link about DIPSW.]

→ [NetBSD/news68k Frequently Asked Questions](#)

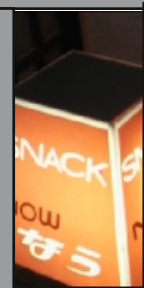
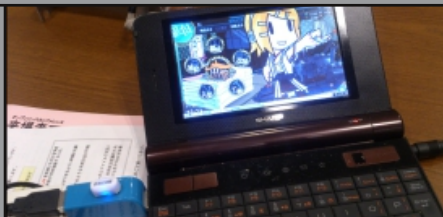
自動起動するかどうかとシリアルコンソールを使うかどうかを指定したい場合はこちらではなく [dipsw-autoboot](#)、[dipsw-serial](#) 設定を使うほうが便利です。 [If you only want to specify whether to autoboot and/or to use serial console, [dipsw-autoboot](#), [dipsw-serial](#) configurations are useful.]

`prom-image = path`

(LUNA Only) LUNA-I/LUNA-88K の外部 ROM イメージファイルのパスを指定します。 `path` がファイル名のみなら VM ディレクトリとその親ディレクトリからこのファイル名を検索します。 `path` が相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります (現在のディレクトリからではありません)。空にすると内蔵 ROM を使用します。デフォルトは空です。 [Specifies the LUNA-I/LUNA-88K's external ROM image file path. If the `path` does not have any path delimiters, the VM directory and then its parent directory will be searched. If the `path` is a relative path, it will be path from the VM directory, not from the current directory. If the `path` is empty, internal emulated ROM will be used. The default value is empty.]

実機を持っていない場合はこの値を空 (= デフォルトのままに) しておくと、nono 内蔵のなんちゃって下位互換 ROM で起動します。 [If you does not have the real LUNA machines, you can boot with nono's internal downward compatible emulated ROM if you set this field empty (or leave it as the default).]

LUNA-I 実機を持っている場合は ROM ファイルを指定することで実機 ROM で起動できます。ROM ファイルは実



Issue: 195  
2023/12/09

contact: jun@soum.co.jp twitter: @ebijun  
backnumber: github.com/ebijun/osc-demo/  
facebook.com/NetBSD.jp

